

# 支え合いのまちづくり

## 小地域福祉ネットワーク

### 活動推進事業

#### 平成30年度実施地区報告集



## はじめに

今、地域では、少子高齢化の急速な進行や家族形態の変化により、ひとり暮らしの高齢者や周囲との交流が少なく孤立して暮らす方が増えており、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、住民同士がお互いに気にかけて見守り支え合う関係を日頃からつくっていくことが求められています。

このような状況のなか、本会では、小地域における福祉ネットワークづくりの充実と福祉委員活動の展開を側面から援助させていただくことを目的に、小地域福祉ネットワーク活動推進事業を実施しております。

本事業は、ひとり暮らし高齢者や高齢者を介護する家族、障がい者や子育て家庭等に対する支援活動や活動の啓発、普及にかかわる実践活動を対象とし、平成 30 年度は、市内 147 町内（自治・連合）会のうち 93 の地区において、延べ 509 事業に取り組み、地域の実情を反映した創意あふれる活動が展開されました。

本実施報告集は、各地域における実践活動についてまとめた報告集となっておりますので、今後の小地域福祉ネットワーク活動に資するひとつの参考としていただければ幸いです。

令和2年1月

社会福祉法人千歳市社会福祉協議会

会長 力示 武文

# 小地域福祉ネットワーク活動推進事業

平成 30 年度の実施状況

## 1 小地域福祉ネットワーク活動推進事業とは

高齢化、核家族化などの進行による地域福祉の充実強化が重要視され、特に小地域における自主的な民間福祉活動の展開が急務となってきています。

小地域福祉ネットワーク活動推進事業は、その具体的なひとつの手だてとして小地域における福祉活動の協力者となる「福祉委員」制度を展開し、より一層小地域の特性を生かした福祉ネットワークづくりの充実と福祉委員活動の展開を側面的に援助させていただくことを目的に実施します。

事業を実施する町内（自治）会には、活動費として世帯数や福祉委員人数に応じて助成金を交付させていただきます。

## 2 平成 30 年度は 93 町内会に助成し、事業数は延べ 509 事業に取り組まれました

平成 30 年度は、新たに 2 ヶ所の町内会が本事業の取り組みを始め、市内 147 町内会のうち 93 町内会において、啓発活動、調査活動、交流活動、在宅福祉サービス活動の四分野にわたり、延べ 509 事業に取り組まれました。

事業をスタートさせた平成 6 年度からの実施地区数は次のとおりです。

これまでの実践地区（町内会）数

年度	H 6	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
地区	23	30	33	37	48	51	61	67	67	67	71

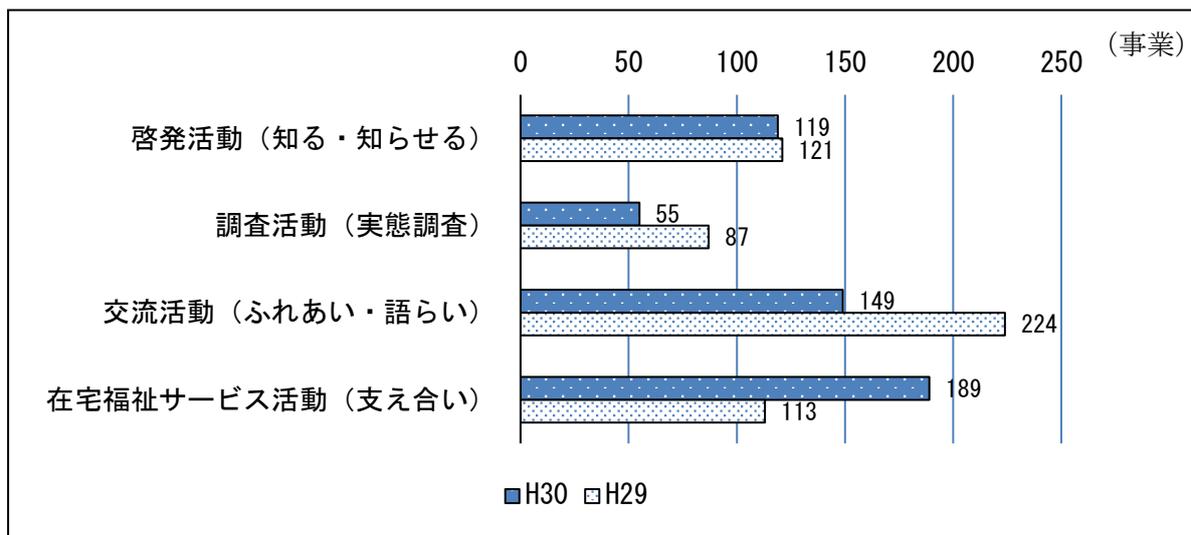
年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
地区	70	74	76	77	80	84	85	87	85	88	86

年度	H28	H29	H30
地区	89	91	93

### 3 平成 30 年度の取り組み状況

平成 30 年度の取り組み状況を「啓発活動（知る・知らせる）」「調査活動（実態調査）」「交流活動（ふれあい・語らい）」「在宅福祉サービス活動（支え合い）」の分野別に分類し集計した結果は、見守りや声かけ等の「在宅福祉サービス活動（支え合い）」が 189 事業と最も多く取り組まれ、前年度と比べて約 1.7 倍と大きく増えています。

図 1 活動種類別と事業数



### 4 平成 30 年度に町内会で取り組まれた主な事業（上位 10 事業）

平成 30 年度に町内会で取り組まれた主な事業は、1 位が「各種行事を通じた交流」で 80 町内会、2 位が「訪問活動」で 74 町内会、続いて 3 位が「会議・福祉委員会」で 60 町内会となっています。

平成 30 年度全体の事業は、次項の「平成 30 年度事業一覧」のとおりです。

順位	事業名	町内会数	活動分野
1 位	各種行事を通じた交流	80	交流活動
2 位	訪問活動	74	在宅福祉サービス活動
3 位	会議・福祉委員会	60	啓発活動
4 位	見守り声かけ活動	57	在宅福祉サービス活動
5 位	ふれあいサロン活動	41	交流活動
6 位	除雪支援活動	30	在宅福祉サービス活動
7 位	世帯名簿作成・更新	28	調査活動
8 位	研修会参加・施設見学	27	啓発活動
	世帯調査・福祉マップ	27	調査活動
10 位	日帰り旅行	19	交流活動

## 平成 30 年度事業一覧

※147 町内会中の割合

活動の種類	事業名	町内会数	% ※
啓発活動 (知る・知らせる)	会議・福祉委員会	60	40.8%
	福祉懇談会	3	2.0%
	福祉だよりの発行	15	10.2%
	研修会参加・施設見学	27	18.4%
	勉強会・研修会の実施	9	6.1%
	声かけ推進	5	3.4%
調査活動 (実態調査)	世帯調査・福祉マップの作成	27	18.4%
	世帯名簿作成・更新	28	19.0%
交流活動 (ふれあい・語り)	各種行事を通じた交流	80	54.4%
	ふれあいサロン活動	41	27.9%
	日帰り旅行	19	12.9%
	会食会等	6	4.1%
在宅福祉 サービス活動 (支え合い)	見守り・声かけ活動	57	38.8%
	訪問活動	74	50.3%
	除雪支援活動	30	20.4%
	緊急時・災害時の支援活動	14	9.5%
	日常生活支援活動	13	8.8%
	子育て支援	1	0.7%

# 小地域福祉ネットワーク活動推進事業 平成30年度実施地区一覧

(順不同)

1	本町自治会	・ ・ P 7～8	52	富丘 1 丁目町内会	・ ・ P 51
2	本町南自治会	・ ・ P 8～9	53	富丘 2 丁目町内会	・ ・ P 51～53
3	朝日町西自治会	・ ・ P 9	54	富丘 3 丁目南町内会	・ ・ P 53～54
4	朝日町東自治会	・ ・ P 10	55	富丘 3 丁目北町内会	・ ・ P 54
5	若草町内会	・ ・ P 11	56	富丘 4 丁目東町内会	・ ・ P 54～56
6	里美町内会	・ ・ P 12～13	57	富丘西町内会	・ ・ P 56～57
7	白樺町内会	・ ・ P 13	58	末広東町内会	・ ・ P 57～58
8	柏陽町内会	・ ・ P 13～14	59	末広中区町内会	・ ・ P 58
9	福住町内会	・ ・ P 14～15	60	花園町内会	・ ・ P 58～59
10	文京町内会	・ ・ P 16	61	高台町内会	・ ・ P 59～60
11	錦町 3 丁目町内会	・ ・ P 17	62	東高台町内会	・ ・ P 60
12	清水町 3 丁目町内会	・ ・ P 17～18	63	稲穂町内会	・ ・ P 60～61
13	清水町 5 丁目町内会	・ ・ P 18	64	清流町内会	・ ・ P 61～62
14～19	幸町連合会 ( 1 ～ 6 丁目 )	・ P 18～19	65	青葉 2 丁目町内会	・ ・ P 62
20	栄町西区町内会	・ ・ P 19～20	66	青葉 3 丁目町内会	・ ・ P 63
21	栄町東町内会	・ ・ P 20	67	青葉 4 丁目町内会	・ ・ P 63～64
22	春日町 2 丁目町内会	・ ・ P 20～22	68	青葉 5 丁目町内会	・ ・ P 64
23	春日町 3 丁目町内会	・ ・ P 22～23	69	青葉 6 丁目町内会	・ ・ P 65
24	大和 2 丁目町内会	・ ・ P 23	70	青葉丘町内会	・ ・ P 65～66
25	桂木 1 ・ 2 丁目町内会	・ ・ P 23～24	71	住吉 2 丁目町内会	・ ・ P 66～67
26	桂木 3 ・ 4 丁目町内会	・ ・ P 24～25	72	住吉北町内会	・ ・ P 68～69
27	桂木 5 ・ 6 丁目町内会	・ ・ P 25～26	73	住吉 4 丁目町内会	・ ・ P 69～70
28	新星町内会	・ ・ P 26～27	74	住吉 5 丁目町内会	・ ・ P 70～72
29	北斗南町内会	・ ・ P 27	75	東郊町内会	・ ・ P 72～73
30	北斗 2 丁目自治会	・ ・ P 27～28	76	豊里町内会	・ ・ P 73
31	北斗 3 丁目町内会	・ ・ P 28	77	あけぼの団地町内会	・ ・ P 74～75
32	北斗西町内会	・ ・ P 29～30	78	日の出東町内会	・ ・ P 75～76
33	北斗北町内会	・ ・ P 30～31	79	日の出北町内会	・ ・ P 76～77
34	自由ヶ丘町内会	・ ・ P 31	80	梅ヶ丘 1 丁目町内会	・ ・ P 77
35	桜木町内会	・ ・ P 31～32	81	旭ヶ丘町内会	・ ・ P 78～79
36	北栄南町内会	・ ・ P 32～34	82	弥生町内会	・ ・ P 79～80
37	北栄東町内会	・ ・ P 34～35	83	寿町内会	・ ・ P 80～81
38	新富西町内会	・ ・ P 35～36	84	幌加連合会	・ ・ P 82
39	新富東町内会	・ ・ P 36～37	85	協和連合会	・ ・ P 82
40	新富中町内会	・ ・ P 37～38	86	新川連合会	・ ・ P 82
41	新富北町内会	・ ・ P 38～39	87	東丘連合会	・ ・ P 83
42	信濃 1 丁目町内会	・ ・ P 39～40	88	支笏湖自治振興会	・ ・ P 83～84
43	信濃 2 丁目町内会	・ ・ P 40～41	89	ゆうまい町内会	・ ・ P 84～85
44	信濃 3 丁目町内会	・ ・ P 41～43	90	北陽北町内会	・ ・ P 85
45	信濃 4 丁目町内会	・ ・ P 43～45	91	みどり団地 1 号棟自治会	・ ・ P 85～86
46	富士町内会	・ ・ P 45～46		資 料	
47	長都駅前町内会	・ ・ P 46～47		千歳市内ふれあいサロンマップ	・ ・ P 88
48	静和町内会	・ ・ P 47～48		小地域ネットワーク活動推進事業 ( 小地域	
49	おさつ団地町内会	・ ・ P 48～50		たすけあい活動 ) 実施要項	・ ・ P 89～91
50	あずさ町内会	・ ・ P 50		※No.14～19幸町連合会は、幸町 1 丁目町内会～幸町	
51	富丘 1 丁目南町内会	・ ・ P 51		6 丁目町内会の実施報告を集約して掲載しています。	

# 本町自治会

福祉委員人数	7人	世帯数	115
--------	----	-----	-----

## 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 3回
- 対象者 自治会長・福祉委員  
民生委員児童委員、防災委員  
(対象者数 14人)
- 目的 福祉委員活動における委員間の  
情報交換・共有・資質の向上
- 実施事業
  - ・H30年6月15日 第1回福祉委員会  
30年度地域ネットワーク事業の概要説明並びに自治会内高齢者の名簿及び要支援世帯の把握と地区割りを行い担当委員も決めて、情報交換をした。防災委員から災害対策用の本町自治会住宅地図の説明を受け、有効活用について話し合いを行った。救急カード改訂版を安否確認も兼ねて会員世帯に配布することを決定した。  
(7月中に実施)
  - ・H30年11月2日 第2回福祉委員会  
30年度除雪支援世帯の確認、独居高齢者へのお餅配り(12/17)の確認。救急カード配布時に作成した会員家族調書の確認。地域ケア会議(8/22)参加委員から報告を受け、研修した。  
会長から9/6胆振東部地震の自主防災会の対応報告を受け、避難行動要支援者の担当割りを行った。
  - ・H31年3月20日 第3回福祉委員会  
各委員から要支援世帯の状況報告があり、意見交換をした。地域ケア会議「フレイルって何？」(2/19)の参加委員から報告を受け研修をした。
- 連携・協力機関及び団体  
民生委員児童委員・地域包括支援センター  
その他(除雪支援員、防火委員)
- 事業成果  
福祉委員会の定期開催により、要支援世帯に対する見守り、声かけ、支援がスムーズにできた。

町内会員に福祉委員の活動を理解してもらえ、地域会員の方から情報を頂けることもありました。

## 2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 福祉マップ更新、救急カード確認
- 対象者 全世帯
- 目的 町内世帯の把握
- 実施事業
  - ・福祉マップの更新  
一人暮らし高齢者、支援を必要とする高齢者世帯に対する担当福祉委員の色分けマップの更新。
  - ・救急カード改訂版の全会員世帯への配布  
福祉委員が担当地域の対象世帯を訪問し、カード保管用のジップロックを添えて配布した。  
世帯訪問に併せて会員世帯名簿を作成した。  
今後の諸活動に生かす。
- 連携・協力機関及び団体  
民生委員児童委員
- 事業成果  
訪問によるカード確認により、安否確認ができた。

## 3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 2回
- 対象者 町内会員・高齢者・子ども
- 目的 地域のつながりづくり
- 実施事業
  - ・ふれあい盆踊り大会  
H30年8月10日(金)・11日(土)町内会館及び会館横空地。2日間で75人参加。子供達、高齢者を含む町内会員の参加で盆踊り大会を行う。  
女性部自慢の手料理に舌鼓、子供達も夏休みに練習した太鼓を元気に叩き、おじいちゃん、おばあちゃんも孫達と踊り、夏の夜の楽しいひと時を過ごしました。
  - ・ふれあい餅つき大会  
H30年12月15日(土)町内会館(54人参加)。  
高齢者、子どもたちを招き餅つき大会を行う。

お雑煮をはじめ、餅料理に満腹。楽しい交流ができました。

#### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

#### ●事業成果

参加者の交流により繋がりもでき、情報も得ることができ、安否確認もできました。

## 4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 ひとり暮らし高齢者・高齢者等世帯(対象者数50人)

●目的 見守り・声かけ活動で安否確認

#### ●実施事業

・見守り、声かけ活動

一人暮らし高齢者、支援を必要とする高齢者世帯等に担当福祉委員が声かけ訪問を行い、安否確認をしました。

・お餅等のお届け活動

ふれあい餅つき大会に併せ、千歳小学校仲良し会の役員等の協力を得て、ひとり暮らし高齢者世帯7世帯につきたてのお餅とお土産を届けた。この活動は14年間継続している。

・敬老記念品の配付

敬老の日に自治会長、副会長、福祉部役員で75歳以上の高齢者のいる会員宅を訪問し、敬老祝い品をお届けし、併せて安否確認や生活状況の把握を行った。(対象:35世帯48人)

#### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・その他(千歳小学校仲良し会)

#### ●事業成果

一時ではあるが、一人暮らし高齢者の方と子どもたちの交流ができました。子どもの訪問には、高齢者の笑顔が違いました。



# 本町南自治会

福祉委員人数	7人	世帯数	370
--------	----	-----	-----

## 1 啓発活動(知る・知らせる)

●実施回数 4回

●対象者 町内会長・役員・福祉委員  
民生委員児童委員  
(対象者数10人)

●目的 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有、資質の向上

#### ●実施事業

・福祉委員会

年2回実施。福祉活動の協議、検討、見守り世帯の実態等に関する情報の共有を行った。

・情報交換

情報交換等により守秘義務を厳守、日常生活特に9月6日に発生した北海道胆振東部地震災害時の安否確認等必要に応じて見守り、声かけを実施。

#### ●事業成果

福祉委員、民生委員及び児童委員同士の連携が取れ、福祉の地域における活動の円滑化につながった。

## 2 交流活動(ふれあい・語らい)

●実施回数 4回

●対象者 自治会会員(60歳以上)  
対象者40人

●目的 引きこもり防止

#### ●実施事業

・茶話会、食事会

おしゃべり、自治会員の親睦交流(茶話会4回)

・高齢者対象の温泉一泊旅行(1回)

日頃顔合わせる機会の少ない自治会会員の皆さんに、語らいの場を温泉宿に移してもらい心身ともにリラックスさせ、食事・お話等を通じて自治会員間の親睦を図った。

#### ●事業成果

茶話会を4回計画、自宅の外に出て外の空気を感じ日頃顔合わせの少ない方々との会話等により「新鮮味のあるふれあい」につなげることができた。今まで1度も参加したことがない方々が、2名も参加されたことは大変な成果であった。

また温泉旅行では1泊2日の限られた時間を有効に使い、気分転換ができる温泉宿という特別な場所を借り、心身ともにリラックスさせる雰囲気の中、食事・お話等を通じて自治会員間の親睦を図ることができた。

### 3 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- 実施回数 年1回(9月)
- 対象者 自治会員・70歳以上の高齢者  
(対象者数30人)
- 目的 町内高齢者の安否確認・健康状態の把握及び交流。

#### ●実施事業

- ・見守り、声かけ訪問活動

一人暮らしのお年寄りの自宅訪問による声かけ、茶話会、食事会の場で会話等。(年1回)

特異事項として9月6日に発生した北海道胆振東部地震災害の安否、健康状態の確認を各団体等と連携しながら行った。

#### ●事業成果

一人暮らし高齢者の安否、健康状態の確認及び日頃気になっていること等、町内一丸となって把握に努めた。

高齢者宅の訪問、声かけにより、「閉じこもり」の解消に微力ながら尽力することができた。

## 朝日町西自治会

福祉委員人数	9人	世帯数	200
--------	----	-----	-----

### 1 啓発活動(知る・知らせる)

- 実施回数 年4回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員・民生委員(対象者数10人)
- 目的 福祉活動における役員間の情報

### 交換

#### ●実施事業

- ・福祉委員会

福祉活動の協議、検討及び見守り世帯等に関する情報交換と課題の共有。3ヶ月に1回実施

- ・福祉懇談会

町内会役員全員と懇談し、見守り、支援についての意見交換。

#### ●連携・協力機関及び団体

- 民生委員児童委員・老人クラブ

#### ●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められた。

### 2 交流活動(ふれあい・語らい)

- 実施回数 年26回
- 対象者 高齢者・子ども・会員  
(対象者数120人)

#### ●実施事業

- ・ふれあいサロン

おしゃべり、レクリエーション、健康体操、カラオケ等 回数20回(毎月第1木曜日)

- ・朝日町西町内会夏祭り

子どもたちの夏休みに合わせて高齢者と子ども、会員との交流会を実施。

- ・ふれあい日帰り旅行

果物狩り、温泉施設の利用 回数年1回

- ・誕生会

3ヶ月に1回開催して高齢者同士の交流と親睦を図る。

- ・女性部日帰り研修

年に一度、施設見学をし見聞を広げる。

#### ●事業成果

一人暮らしの高齢者の安否確認、心配ごとの把握につながった。

高齢者の閉じこもり防止につながりました。

参加者同士の交流により近隣のつながりづくりになりました。

# 朝日町東自治会

福祉委員人数	4人	世帯数	59
--------	----	-----	----

## 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 15回
- 対象者 町内会役員・町内会会員・福祉委員
- 目的 福祉活動における役員間の情報交換、研修会等のお知らせ

### ●実施事業

町内会会員に「会館開放サロン」開催を知らせる回覧を作成し配布をしました。9回、月1回実施（8月1月2月は休みです）

#### ・福祉委員会

「会館開放サロン」終了後に実施しました。見守り世帯（75歳以上）の情報交換、福祉活動の内容と反省点について話をしました。

#### ・出前講座

9月21日千歳学出前講座「いきいき百歳体操」を実施しました。

#### ・千歳市、各団体の研修会

千歳市や各団体における福祉研修会への案内を知らせ、出席いたしました。

### ●事業成果

福祉委員だけでなく町内会役員も福祉活動に協力して下さり大変助かりました。

## 2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 75歳以上高齢者・障がい者（対象者32人）
- 目的 対象者会員の状況を調べる

### ●実施事業

・平成30年度対象者名簿、地図等の作成と訂正をしました。

・訪問、声かけを実施し対象者の様子を見てまわりました。デイサービスに参加されている方は楽しくすごしていますとの声が多かったです。

### ●事業成果

名簿作成、地図により訪問、声かけ、見守りが円滑にでき対象者の健康状態等を知ることができました。

## 3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 9回
- 対象者 町内会会員（対象者65人）
- 目的 会員同士の交流、親睦、閉じこもり防止

### ●実施事業

・会館開放サロン

内容～茶話会・食事会・カラオケ・折り紙等を実施いたしました。

・お楽しみ交流会

12月16日 11:30～

会員家族対象です。餅つきをして楽しみました。餡もち・雑煮

・ラジオ体操

7月30日から8月8日まで10日間実施しました。高齢者の会員が参加して下さいました。

### ●事業成果

会員同士仲良く過ごすことができました。話をすることで、ストレスの解消にもなったと思います。

## 4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 75歳以上高齢者・障がい者
- 目的 地域の支え合い、安否確認

### ●実施事業

・訪問活動

定期的に声掛け、見守りを実施し安否確認をしました。

・5月5日こどもの日におやつを配りました。

### ●事業成果

高齢者の多い町内会ですが、隣近所同士気をつけて、安否確認等に協力していただきました。福祉委員としてとても心強く思いました。

# 若草町内会

福祉委員人数	27人	世帯数	823
--------	-----	-----	-----

## 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 19回
- 対象者 福祉活動：高齢者世帯、一人暮らし世帯など（75歳以上256名）  
新救急カード：全世帯
- 目的 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有・活動の向上  
新救急カードの配布による世帯人数の把握をする。

### ●実施事業

- ・福祉委員会（6回）福祉部会（13回）  
町内を5ブロックに分け、民生委員児童委員を中心に“知る”“知らせる”等の活動を定期的に実施し、その結果を委員会で情報共有を図る。
- ・研修会の参加  
支えあいを広げる地域づくり交流会、新任福祉委員研修会、千歳地域SOSネットワーク研修会
- ・新救急カードの一斉配布  
全世帯を対象に新救急カードを配布、世帯人数の把握（1,758名）。
- ・地域包括支援センターからの高齢化に伴う様々な課題について。

### ●事業成果

民生委員児童委員と福祉委員との連携が強化され、研修会では新情報を収集し、新救急カードにより住民との対話が強化された。

## 2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 1回
- 対象者 町内会住民
- 目的 世代間を通じた交流や75歳以上の高齢者との親睦を図る
- 実施事業  
・敬老会（75歳以上高齢者256名）

参加者全員で合唱や近況情報を語らい高齢者同士や役員との親睦を図った。9/6胆振東部地震により昼食会として宴席は中止した。

### ・餅つき大会

45kgのもち米を参加者でつき、納豆餅、大根おろし餅など料理し参加者との親睦を図った。

一人暮らし高齢者やグループホームに赤飯を配布。参加住民125名。

### ・ひな人形の展示

町内会員から寄付を受けた「ひな人形」を町内会館に展示し、ふれあい交流を図った。「紙によるカケコプター、オセロなどのゲーム」で楽しんだ。参加者61名。（子供30名）

### ●事業成果

町内に住む子供やお年寄りとの交流や近隣同士のつながりが深まった。また、高齢者の閉じこもり防止につながった。

## 3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 延576回
- 対象者 除雪・避難困難者
- 目的 近隣同士のつながりや孤立防止を図るための支え合いの地域づくりを目指す
- 実施事業  
・除雪支援  
除雪困難世帯を対象に町内会員による除雪支援を実施した。  
対象者世帯23世帯、除雪ボランティア26人、支援回数575回、派遣延人数650人
- ・災害時要援護者避難支援活動（対象者23名）  
支援活動の実施方法など検討中。
- 事業成果  
近隣同士のつながりの一助や高齢者の閉じこもり防止につながった。



# 里美町内会

福祉委員人数	10人	世帯数	324
--------	-----	-----	-----

## 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 6回
- 対象者 町内会副会長・民生児童委員・福祉委員（対象者数14人）
- 目的 福祉委員活動における役員間の情報交換の共有・資質向上
- 実施事業
  - ・福祉委員会  
福祉活動の協議・検討及び見守り世帯に関する情報交換、課題の共有を行った。
  - ・「福祉だより」の発行（年2回発行）  
5月：福祉委員・民生児童委員紹介・福祉関連の情報伝達など  
10月：検討中
  - ・福祉研修会への参加  
社協等の研修会に参加した。
- 連携・協力機関及び団体  
民生委員児童委員
- 事業成果  
福祉委員同士及び民生児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められた。

## 2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者70歳以上（対象者数163人）
- 目的 世帯の状況把握
- 実施事業
  - ・高齢者名簿作成・更新（65歳以上）  
今後の高齢者を把握するため65歳以上の方も把握し、名簿を同時に作成している。  
また、必要に応じて見守り・声かけを行った。
- 事業成果  
高齢者と委員との交流ができた。また、災害時等の備えにもつながっている。

## 3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 お祝い1回  
ふれあいサロン2回
- 対象者 古希70歳以上の方18名、75歳以上70世帯、ふれあいサロン39名
- 目的 健康と長寿をお祝いし、また、地域のつながり。
- 実施事業
  - ・健康と長寿をお祝いし古希（70歳）と75歳以上の世帯にお祝いをお届けすることと、地域のつながりづくりと交流等を図った。
  - ・ふれあいサロンについては参加者が（年齢制限なし）体操、脳トレ、食事を通じて地域のつながりと交流を図った。
- 事業成果
  - ・古希、75歳以上の世帯にお祝いをお届けについては喜びの声と笑顔、また、現状把握等を再確認することができた。
  - ・ふれあいサロンについては参加者の笑顔及び食事会で楽しい交流ができた。

## 4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者（対象者163人）
- 目的 地域の支え合い・連帯意識の醸成を図り、孤立防止につなげる
- 実施事業
  - ・見守り、声かけ訪問活動
  - ・ひとり暮らし高齢者へのお赤飯の配布（12/2）  
町内会の餅つきに合わせ、お赤飯を配布した。
  - ・救急カードの取組  
福祉だよりに掲載。
  - ・除雪支援活動（12/1～3/31）  
民生委員児童委員の調査と同時に町内会支援協力者（ボランティア）を回覧にて募集し、11月に会議を開き要支援世帯ごとに近隣で担当体制を組み支援を実施した。
- 連携・協力機関及び団体  
民生委員児童委員
- 事業成果

安心して生活できる環境づくりに少しでも役に立つことができた。

## 白樺町内会

福祉委員人数	20人	世帯数	591
--------	-----	-----	-----

### 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 月1回
- 対象者 町内会役員・福祉委員・民生委員児童委員（対象者数30人）
- 目的 役員間の情報交換
- 実施事業

- ・福祉委員会（月1回）

各福祉委員から担当地区の福祉に関する情報を発表交換し、多くの方が内容の承知をでき、今後の福祉活動の資するところは大きかった。

- 連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・地域包括支援センター  
社会福祉協議会

- 事業成果

地域包括支援センター、民生委員、社協（生活支援コーディネーター）にも参加いただき現状等のお話ができ、意義あるサロン活動ができた。

### 2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 年1回 月1回
- 対象者 高齢者・障がい者・子育て中の小学生
- 目的 親睦、引きこもり防止
- 実施事業

- ・昼食会（年1回 高齢者対象）

町内の福祉委員の手作り料理を皆さんで食し、歌やゲームで楽しみ親睦を図ることができました。

- ・明日への幸せ「ふれあいサロン白樺」の実施（月1回実施 高齢者、身体障害者、子育て）

毎月試行を凝らした行事を行い、楽しんでいただき元気を与えられたものと思います。

- ・茶いる童（月1回 子育て中、小中学生対象）

新しい取り組みであり、若い世代の方が会館に集まり活動する様は今まで町内ではなかった活動で今後の進展が楽しみです。

- 連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員、社会福祉協議会、地域包括支援センター

- 事業成果

地域包括支援センター、民生委員、社協（生活支援コーディネーター）にも参加していただき現状等のお話ができ、意義あるサロン活動ができた。

## 柏陽町内会

福祉委員人数	19人	世帯数	440
--------	-----	-----	-----

### 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 12回
- 対象者 福祉委員・民生委員児童委員町内会長（対象者数21人）
- 目的 情報交換、共有。事業計画実施要領の確認

- ・福祉委員会及び事務局会議

情報交換、課題を共有する。委員間の交流を深めるために2ヶ月ごとに実施。活動内容の計画、分担。また、町内会との連携も取るため。

- ・「福祉だより」の発行

福祉委員、民生委員児童委員の周知とサロン活動等の案内。

- ・委員研修

「やまとの里」、「ふくろうの杜」を見学

- 連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

- 事業成果

委員同士の交流、連携はできているし、町内会とも連携することにより活動はスムーズに進む。施設件見学は福祉委員の意識向上になるので継続したい。

### 2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施

- 対象者 高齢者世帯・独居世帯（対象世帯数 95 世帯）
- 目的 対象者世帯の実態把握
- 実施事業
  - ・高齢者名簿作り
 

毎年名簿作成（更新）する為、高齢者世帯、独居世帯の把握、確認を町内会、民生委員さんとともに行動している。新たな支援が必要な世帯があれば対応できるようにしている。
- 連携・協力機関及び団体
 

民生委員児童委員

- 連携・協力機関及び団体
 

民生委員児童委員
- 事業成果
 

各自担当班は意識して見守りをしているので、町内会、民生委員とすぐにつながる体制になっている。

## 福住町内会

福祉委員人数	12 人	世帯数	285
--------	------	-----	-----

### 3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 7回
- 対象者 町内会全世帯（対象者数 440 世帯）
- 目的 地域のつながり、高齢者の孤立、引きこもり防止。
- 実施事業
  - ・サロン活動（6回）
 

町内会館を利用し地域にある病院の先生による「健康講話」
  - ・終活セミナー ・防災訓練 ・小物作り等
  - ・日帰りバス旅行
 

福祉バスを利用し、果物狩りを実施
- 連携・協力機関及び団体
 

民生委員児童委員・老人クラブ
- 事業成果
 

平日の昼のため、参加者を集めるのが大変だがサロンも定着し新しい参加者も少し増えている。

### 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 3回
- 対象者 町内会長・福祉委員・民生委員児童委員（対象者 18 人）
- 目的 福祉委員活動及び福祉委員会における役員間の情報交換、共有、委員の資質向上
- 実施事業
  - ・福祉委員会
 

本年度から福祉委員の設置及び委員会を発足し、今後の活動内容、役割分担、委員間の意思の疎通や情報交換、要領の共有を図った。また、社会福祉協議会及び地域包括支援センターにも参加をいただき、意見交換を図ることができた。
  - ・福祉研修会への参加
 

新任福祉委員研修会に 3 名が参加し、福祉委員についてし識能の向上を図ることができた。

### 4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 75 歳以上高齢者世帯・独居世帯（対象者数 95 人）
- 目的 生活状況等の現状把握
- 実施事業
  - ・対象者世帯への訪問活動
 

年末に福祉委員が各自担当班の対象者世帯へ粗品を持って訪問。
  - ・見守り、声かけ活動
 

日常的に見守り、声かけ等を意識している。

- 連携・協力機関及び団体
 

民生委員児童委員・社会福祉協議会・地域包括支援センター
- 事業成果
 

町内会及び社会福祉協議会の協力により、福住町内会においても福祉委員の配置及び委員会を発足できた。福祉委員、役員、民生委員との意見交換、連携が強化できた。福祉活動に対する関心が高まり、委員の資質向上につながった。

### 2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者・一人世帯  
(対象世帯数 134 世帯)
- 目的 要支援世帯、一人世帯の状況を把握し地域の支え合い、助け合いの醸成を図り孤立防止につなげる。

#### ●実施事業

- ・高齢者世帯、障がい者世帯、一人世帯のマップの作成(更新)

支援が必要な世帯のマップの更新や、必要に応じて見守りや声かけを行いました。

日常的な見守りや声かけ、訪問を積極的に行うとともに 80 歳以上のお祝い対象者の把握に努めた。

#### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・市役所

#### ●事業成果

町内における要支援対象世帯の把握等、委員同士の共有を図ることができた。各委員の知識向上と能力を高揚することができた

### 3 交流活動(ふれあい・語らい)

- 実施回数 年間を通して実施
- 対象者 高齢者・町内会員・障がい者  
児童(対象者 町内会全世帯)
- 目的 町内会員と高齢者のふれあい、孤立防止と仲間づくり、地域のつながりづくり及び子供たちとのふれあい交流。

#### ●実施事業

- ・介護予防サロン

いきいき百歳体操、健康体操、脳トレ運動や各種レクリエーション及びゲーム。

回数：毎週金曜日(月3～4回)年間39回

参加人数延べ538人

- ・ふれあい交流会

餅つき交流会を実施し町内会員、高齢者及び子供たちとのふれあい、親睦を図った。回数1回(1月27日約60名参加)

- ・天体観測交流会

町内会員及び子供たちが参加をし、秋の天体

観測を通じ星座の名称、月の観測を実施し交流と天体の知識を深めた。(年1回 30名参加)

#### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター

#### ●事業成果

高齢者の健康増進、体力維持を図ることができた。また、友達づくりや地域の絆づくりに貢献できた。餅つきや天体観測を実施し、町内会員と高齢者、子供たちとのふれあいや世代間の交流を通じ絆も深めることができた。

### 4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 80歳以上の高齢者世帯  
(対象者数 50人)
- 目的 80歳以上の高齢者世帯に対し、町内からのお祝い品の配布と生活状況の把握。

#### ●実施事業

- ・敬老の日 お祝い品の配付

町内80歳以上の対象世帯に対し福祉委員及び民生委員により敬老のお祝い品をお届けし併せて安否確認や生活状況の把握を行った。

(対象：42世帯50人)

- ・近隣住民支援によるボランティア除雪の実施

高齢者、障がい者、一人暮らし世帯に対し住民支援によるボランティア除雪の実施や併せて安否確認、生活状況の把握に努めた。ボランティア支援人数10名 対象世帯8世帯

延べ支援回数：142回 延べ支援人数：130人

#### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会

#### ●事業成果

高齢者世帯の安否確認や生活状況の把握と長寿のお祝い品を手渡しすることにより健康状態を確認できた。近隣住民の協力により、高齢者への支援活動と安否確認及び孤立防止につながり安心した生活できる環境づくりに貢献できた。要除雪養護者から大変感謝された。

# 文京町内会

福祉委員人数	8人	世帯数	573
--------	----	-----	-----

## 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 5回
- 対象者 福祉委員・民生委員児童委員  
(対象者9人)
- 目的 福祉委員活動での情報・意見交換
- 実施事業
  - ・福祉委員会（2回）  
福祉活動の進め方と問題点や新しい事業の内容について話し合った。
  - ・各種研修会（3回）
- 連携・協力機関及び団体  
民生委員児童委員・地域包括支援センター  
社会福祉協議会・泉沢向陽台町内会連合会
- 事業成果  
社会福祉協議会、地域包括支援センター、福祉委員の三者の立場から自由に話し合うことにより、問題点や情報交換及び情報の共有ができた。

## 2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 町内会員・高齢者
- 目的 要支援世帯の把握
- 実施事業
  - ・福祉マップの作成  
町内会行事で情報を集めた。  
地震発生後の見守りや声かけでは被害も無く安堵した。
- 連携・協力機関及び団体  
民生委員児童委員・老人クラブ。
- 事業成果  
福祉マップは作成途中で情報が未記入の世帯もあり、要支援世帯だけでなく災害時要配慮者の把握も必要と感じた。

## 3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 42回

- 対象者 高齢者・町内会員
- 目的 町内会員の交流と仲間づくり
- 実施事業
  - ・介護予防サロン(ぶんぶん健康サロン)(37回)  
生き生き百歳体操など健康運動を行い、親睦を深めた。
  - ・交流サロン（1回）  
向陽台ファミリークリニックの中島徹院長に「予防医療」の講話をしていただきました。
  - ・交流カフェ 2回（新規）  
誰でも自由に参加できる仲間づくりやおしゃべりの場として交流を図った。
  - ・町内会主催行事の支援 2回  
夏まつり、年末餅つき
- 連携・協力機関及び団体  
民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・介護予防センター・ふまねっとサポーター  
向陽台ファミリークリニック
- 事業成果  
介護予防サロンでは、新規参加者が増えたものの全体の参加者が減るなど活動内容の見直しが必要。

## 4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者
- 目的 地域の支え合いを通して相互理解を深め、孤立防止につなげる。
- 実施事業
  - ・見守り、声かけ訪問活動  
安否確認と世帯状況の把握に努めた。
- 連携・協力機関及び団体  
民生委員児童委員
- 事業成果  
福祉委員が全員仕事に就いていて、活動が土曜・日曜になってしまっている。平日の昼間に見守り活動ができる体制を考え孤立防止に努めたい。

## 錦町3丁目町内会

福祉委員人数	2人	世帯数	12
--------	----	-----	----

### 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 4回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員  
(対象者6人)
- 目的 福祉委員と役員との合同会議
- 実施事業
  - ・町内会員と福祉委員、民生委員との情報交換
  - ・各部の活動状況の意見交換及び問題点の意見交換
- 連携・協力機関及び団体  
民生委員児童委員

### 2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 通年を通じて実施
- 対象者 高齢者（対象者数：7人）
- 目的 要支援世帯の状況把握
- 実施事業
  - ・日常的な支援が必要な高齢者の状況を把握する。  
また、回覧板等の配布の際に対象者の健康状態や近況を伺い確認した。町内会行事の案内をし必ず声かけをする。
- 連携・協力機関及び団体  
民生委員児童委員

### 3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 3回
- 対象者 町内会全員、高齢者  
(対象者数14人)
- 目的 町内会員の親睦を図る
- 実施事業
  - 1月：新年交礼会及び総会を実施した。
  - 5月：観桜会を町内会館で実施した。
  - 10月：観楓会を町内会館で実施した。
- 連携・協力機関及び団体  
老人クラブ・社会福祉協議会

### 4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 11月～3月
- 対象者 高齢者世帯（対象者4人）
- 目的 冬期間の除雪及び排雪の支援
- 実施事業
  - ・高齢者世帯の除雪、排雪の支援
  - ・除排雪時に健康状態や近況を聞いた。
- 連携・協力機関及び団体  
民生委員児童委員
- 事業成果  
平成30年度は比較的雪も少なめで、雪解けも早かったのが助かった。

## 清水町3丁目町内会

福祉委員人数	2人	世帯数	40
--------	----	-----	----

### 1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 1回
- 対象者 町内在住者（対象者数40人）
- 目的 町内清掃後の食事・懇談、地域のつながりづくり
- 実施事業
  - 歩道、空き地ほか町内一円の清掃後に食事、懇談を実施した。
- 事業成果  
参加者同士の交流により、近隣のつながりづくりにつながった。

### 2 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 3回
- 対象者 ひとり暮らし高齢者  
(対象者数3人)
- 目的 地域の支え合い、孤立防止につなげる
- 実施事業
  - ・声かけ訪問活動
    - 声かけをして暮らしに変わらないか確かめた。

- ・一人暮らし高齢者への長寿祝い品配付  
長寿祝い品を届けし、安否確認、生活状況等の把握を行った。

●**連携・協力機関及び団体**

民生委員児童委員

●**事業成果**

地域のつながりづくりと一人暮らし高齢者の孤立防止につながった。

## 清水町5丁目町内会

福祉委員人数	1人	世帯数	33
--------	----	-----	----

### 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数** 3回
- 対象者** 町内会役員（対象者数11人）
- 目的** 町内の福祉活動情報の共有化
- 実施事業**

町内役員会において、高齢者世帯等の状況の把握をはじめ、福祉活動についての情報交換等を行い、認識を共有する。

●**事業成果**

町内会役員が情報を共有化することにより、個人情報に配慮しながら、高齢者等の支援が図られた。

### 2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数** 2回
- 対象者** 町内会全員（対象者数33世帯）
- 目的** 会員相互の親睦と交流
- 実施事業**

・懇親会

食事会を実施し楽しい時間を過ごしました。

・忘年会

一年の締めくくりに忘年会を開催し、ゲーム等を行い、楽しい時間を過ごし会員相互の親睦と交流を図った。

●**事業成果**

町内会全体での交流活動は、地域の連携と絆が一層強くなる良い機会となっている。

### 3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数** 通年実施
- 対象者** ひとり暮らし高齢者  
(対象者数3人)
- 目的** ひとり暮らし高齢者等の安否確認とコミュニケーションを図る

●**実施事業**

・訪問活動

一人暮らし高齢者を訪問し、面談のうえ安否確認と状況把握を行った。

・声かけ、見守り活動

日頃から近くの役員による声かけ、見守りを実施した。

●**事業成果**

面談をすることで健康状態や生活状況を把握することができ、コミュニケーションが図られた。

## 幸町連合会

福祉委員人数	6人	世帯数	193
--------	----	-----	-----

### 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数** 8回
- 対象者** 町内会長・役員・福祉委員  
民生委員（対象者数23名）
- 目的** 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有

●**実施事業**

・福祉委員会（2ヶ月に1回）

福祉活動の協議、検討及び見守り世帯等に関する情報交換。

・福祉だよりの発行（年3回発行）

福祉委員、民生委員児童委員の周知、福祉イベントの案内や福祉情報を掲載しました。

・福祉研修会の実施

市の出前講座を利用し介護予防や健康維持に関する研修会を行い、地域福祉に関する各種研修会への参加。（2回）

●**連携・協力機関及び団体**

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

参加者が一定し人数の減少がみられる。

## 2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者  
(対象者数 18 人)

●目的 要支援世帯等の状況把握

●実施事業

・要支援世帯台帳の作成

日常的な支援が必要な高齢者世帯等の状況を把握するため要支援世帯の台帳を作成し必要に応じて見守りや声かけを行います。

・福祉マップの作成

高齢者世帯や障がい者世帯の状況を把握し日常の見守りや非常時に備えて、福祉マップを作成しました。

●連携・協力機関及び団体

地域包括支援センター

## 3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 6 回

●対象者 高齢者・障がい者、子供  
(対象者数 28 人)

●目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり、地域のつながりづくり

●実施事業

・ふれあいサロン

毎月第 1 水曜日、町内会館を利用してお喋り、食事やレクレーションなどを行い高齢者との交流を図りました。(12 回実施)

・ひとり暮らし高齢者との食事会

高齢者を招き食事会をし、コミュニケーションを通じて楽しく過ごしてもらいました。(1 回)

・お楽しみ交流会 (年 2 回)

子どもたちの夏休み・冬休みに合わせて高齢者との交流会を実施。ゲーム、レクリエーションを通じて地域のふれあいを図りました。

・ふれあい日帰り旅行

婦人部として 2 回実施。

●連携・協力機関及び団体

老人クラブ

●事業成果

参加者が少ないのが実情です。

# 栄町西区町内会

福祉委員人数	7 人	世帯数	194
--------	-----	-----	-----

## 1 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通して開催

●対象者 高齢者・障がい者  
(対象者数 84 人)

●目的 要支援世帯の状況把握

●実施事業

・世帯カードの更新を実施し、要介護者等について最新の情報を得た。

・救急カードの更新については実施できなかったため、次年度実施する。

●事業成果

調査活動については理解されたと思われるが、個人情報や他人に託すことにはためらいを感じる会員がいるので、引き続き訪問活動を通じて更なる PR に繋げていきたい。

## 2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 3 回

●対象者 高齢者 (対象 286 人)

●目的 高齢者を囲んでの食事会、懇親会の実施

●実施事業

・7 月 29 日に福祉部による講師を招いての笑いヨガを開催し、高齢者の方々に大きな笑いでもストレス解消と生活の活性化を図るとともに相互交流の時間を過ごしていただいた。

・9 月 30 日に町内会主催の敬老会を実施して 75 歳以上の高齢者を招待し (参加者 40 名) 町内の女性役員、福祉委員による手作り料理でお祝いした。

・12月12日に高齢者等とのふれあい昼食会を市内の飲食店において実施し（参加者24名）招待された高齢者に楽しい昼食を満喫していただいた。

●事業成果

各種行事への参加に消極的な高齢者に根気よく参加を呼びかけ、多くの高齢者の方々が参加して下さいました。また、昨年に引き続き老人クラブへの加入にもつながった。

## 栄町東町内会

福祉委員人数	3人	世帯数	170
--------	----	-----	-----

### 1 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者（対象者40人）
- 目的 要支援世帯等の状況把握
- 実施事業
  - ・高齢社宅を全件訪問。全員面接を目標に実施日常生活等の状況を把握
- 連携・協力機関及び団体 民生委員児童委員
- 事業成果 全員に面接ができました。

### 2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 2回
- 対象者 高齢者・子供（対象者数50人）
- 目的 地域の仲間づくり、地域のつながりづくり
- 実施事業
  - ・ふれあいサロン  
自己紹介等おしゃべり。千歳の歴史の紙芝居。オレオレ詐欺の実態等 滑舌体操 レクリエーション
  - ・夏休みふれあい交流会  
ラジオ体操 1週間  
料理教室は子供たちが調理する
- 事業成果

参加者に大変好評でした。サロンの内容は出席者に決めていただきました。

## 春日町2丁目町内会

福祉委員人数	9人	世帯数	180
--------	----	-----	-----

### 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 7回
- 対象者 町内会員・役員・福祉委員 民生委員児童委員（対象者24人）
- 目的 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有及び知識・能力向上
- 実施事業
  - ・福祉委員会  
福祉活動の協議、検討及び見守りや声かけを実施しました。また避難行動支援者に対する相互の情報交換、課題の共有を行いました。
  - ・福祉研修会・講習会等への参加
    1. 平成30年5月 平成30年度支えあいを広げる地域作り交流会（2名参加）
    2. 平成30年8月 「これからの住まいを考えてみよう」（4名参加）
    3. 平成30年9月 平成30年度行方不明高齢者捜索模擬訓練の実施（4名参加）
  - ・全期間  
高齢独居者等の見守りや声かけ活動を行いました。  
救急カード設置と更新の推進を行いました。  
避難行動支援者登録の推進を行いました。
- 連携・協力機関及び団体 民生委員児童委員・社会福祉協議会
- 事業成果 福祉関係者の連携を強化し、地域福祉活動を円滑に進めることができた。  
各種研修会、講習会等に参加することにより福祉関係者の識能が向上し、福祉活動に対する関心を高めることができた。

## 2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢独居者世帯及び障がい者  
(対象者数 54 人)
- 目的 地域の互助の支え合いによる高  
齢者等の孤立防止、要支援者世帯  
の状況把握

### ●実施事業

- ・見守り・声かけ訪問活動  
避難行動支援者が中心になり高齢独居者等  
に対して、日常的な見守りや声かけ訪問を行い、  
安全確認と生活状況の把握に努めました。
- ・高齢者への赤飯等の配付（平成 30 年 10 月）  
餅つき大会に参加できなかった高齢者に対  
して、見守りや声かけ担当者が赤飯をお届けし、  
併せて健康状況等の現状把握を行いました。
- ・高齢独居者への年末贈答品の贈呈  
(平成 30 年 12 月：12 名)  
見守り、声かけ担当者が恒例の年末贈答品  
(ギフト券)を高齡独居者宅に持参し、その機  
会に状況把握や救急カードの確認を行いました。
- ・高齢者独居者宅の除雪支援  
除雪支援の担当者を配置して、除雪を行うと  
ともに現況把握も行いました。

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・市役所

### ●事業成果

避難行動支援者を対象とした見守り・声かけ担  
当者の努力により、地域の絆に基づく互助態勢が  
強化され、高齢独居者の孤立防止等を図ることが  
できました。

見守り・声かけ担当者が各種の機会を有効活用  
して、現況等の把握に努めることにより、高齢独  
居者・要支援者世帯等が安心して生活できる環境  
を向上させることができました。

## 3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 4 回
- 対象者 町内会員（対象者数 280 人）
- 目的 町内会員の親睦・交流の機会を活

### ●実施事業

- ・福祉バス旅行（平成 30 年 7 月 参加者 26 人、  
子供 4 人参加）  
小樽・祝津方面 小樽貴賓館・かま栄工場を  
巡り、高齢者をはじめ町内会員同士の交流を深  
めることができ、高齢者が屋外で活動する良い  
機会となりました。
- ・子供神輿（平成 30 年 9 月 子供 21 名参加 御  
座所、神輿巡行の参加者 104 名）
- ・餅つき大会（平成 30 年 10 月 大人 47 名 子  
供 21 名参加）子供をはじめ、三世代が参加を  
して餅つきを行いました。また、青少年部がチ  
ョコバナナ、キャラメルシュガー、綿あめ等を  
作り好評でした。
- ・新年交礼会（平成 31 年 1 月、参加者 27 人内子  
供 9 名参加）  
千歳市内の宴会場で新年を祝い、町内会員の  
親睦と世代間交流を深めることができました。

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

### ●事業成果

世代間の交流により、町内会員の結束が強くな  
り、福祉活動への理解が高まりました。  
高齢者等の現状把握ができるとともに、福祉関  
係者の情報交換の機会にもなりました。  
どの世代の参加者もいきいきと活動し、特に高  
齢者等には自宅外での活動する機会を提供する  
ことができました。

## 4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢独居世帯（対象者数 12 人）
- 目的 地域の絆に基づき相互体制を強  
化して独居防止等を図る

### ●実施事業

- ・見守り、声かけ訪問活動  
避難行動支援者が中心になって高齢独居者  
等に対して日常的な見守りや声かけ訪問を行  
い、安否確認と生活状況の把握に努めました。

また、要支援者予備軍 70 歳以上の高齢者に関する現状把握を行い、基礎資料としました。

●緊急、不測事態に備えた情報収集

高齢独居者の緊急不測事態に備え、的確に対応ができるよう、必要と思われる各種情報（固定電話、携帯電話、緊急連絡先等）を日頃から収集しました。また、救急カードの設置の有無、や設置場所の更新状況を確認し、最新のものが利用できる状態にしました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

避難行動支援者を主とした見守り・声かけ担当者の努力により、地域の絆に基づく互助態勢が強化され、高齢者等の孤立防止を図ることができました。

見守り、声かけ担当者が各種の機会を有効に活用して状況把握に努めることにより、高齢者等が安心して生活できる環境を向上させることができました。

## 春日町 3 丁目町内会

福祉委員人数	3 人	世帯数	95
--------	-----	-----	----

### 1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 年 4 回

●対象者 町内会長・役員・福祉委員  
民生委員児童委員  
(対象者数 12 人)

●目的 福祉委員活動における役員間の  
情報交換・共有・資質向上

●実施事業

・福祉委員会

町内会の役員会に合わせて、福祉活動の協議検討及び見守り世帯等に関する情報交換、課題の共有を行いました。毎期 1 回実施

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員及び老人クラブとの連帯強化につながり、地域福祉活動が円滑に遂行できた。

福祉活動に関する関心が高まり、福祉委員等の資質向上につながりました。

### 2 調査活動（実態把握）

●実施回数 2 回

●対象者 高齢者・子ども・その他  
(対象者数町内会員約 250 人)

●目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり  
地域のつながりづくり

●実施事業

・町内会声かけ運動

町内の全世帯を対象に総務部、福祉委員、民生委員が 2 名 1 組で訪問し町内会活動の紹介チラシとティッシュを手渡しました。2 回  
(9/22、2/17)

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

一人暮らし高齢者等の安否確認や健康状態、心配事の把握につながりました。

### 3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 17 回

●対象者 高齢者・子供・その他  
(対象者：町内会員約 250 名)

●目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり  
地域のつながりづくり

●実施事業

・ふれあいサロン

町内集会室でお菓子や果物を食べながらおしゃべりをして会員の交流を図った。

回数～12 回（毎月第 2 木曜日 13 時～15 時実施、各回 10 名～15 名参加、主として女性）

・夕方サロン

町内集会室で夕方にお酒を楽しみながらおしゃべりをして会員の交流を図った。

回数～4 回（5 月、8 月、12 月、2 月 18 時～20 時、各回 10 名程度参加、会費制、主として

男性)

- ・ふれあいパークゴルフ大会

10月7日に予定していたが台風25号のため中止

- ・敬老の日行事（75歳以上の方34名に記念品を贈呈）

町内75歳以上の方34名（男性13名女性21名）に記念品を贈呈

●**連携・協力機関及び団体**

民生委員児童委員・老人クラブ

●**事業成果**

一人暮らし高齢者等の安否確認や健康状態、心配ごとの把握につながりました。

参加者同士の交流により近隣のつながりづくりにつながりました。

高齢者の閉じこもり防止につながった。

## 大和2丁目町内会

福祉委員人数	3人	世帯数	45
--------	----	-----	----

### 1 交流活動（ふれあい・語らい）

●**実施回数** 2回

●**対象者** 高齢者等（対象者数28人）

●**目的** 高齢者・ひとり暮らし高齢者の孤立防止及び健康状態等の把握

●**実施事業**

- ・町内レクリエーション事業

食事会：最近の天候・気温及び国政選挙等を勘案し「新春の集い」にあわせて実施することにより行事を延期した。

年忘れビンゴ大会：冬季における道路事情があるため、今後の開催を取りやめることにした。

- ・新春の集い事業

食事会、ゲーム（ビンゴゲーム等）を中心に平成31年3月24日に実施する予定でしたが、会長の義母（行年106歳）の死去により中止した。

●**連携・協力機関及び団体**

民生委員児童委員・老人クラブ

●**事業成果**

上記事情により行事を実施することができなかったが、会員相互の親睦を深めるために、普段の活動を通じて情報収集に当たったことにより今後の高齢者の福祉対策の方向性の一助となるよう努力しました。

## 2 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●**実施回数** 2回

●**対象者** 高齢者

●**目的** 高齢者の長寿の祝いと健康状態の確認

●**実施事業**

- ・敬老会

75歳以上の高齢者（23名）へ記念品を贈呈。（平成30年9月24日）

- ・おせち配布事業

一人暮らし高齢者（5名）へ商品券を贈呈。（平成30年12月16日）

●**連携・協力機関及び団体**

民生委員児童委員・老人クラブ。

●**事業成果**

対象者宅を訪問し、健康状態等を再確認することができた。

## 桂木1・2丁目町内会

福祉委員人数	6人	世帯数	147
--------	----	-----	-----

### 1 啓発活動（知る・知らせる）

●**実施回数** 7回

●**対象者** 町内会役員・福祉委員・民生委員児童委員（対象者数20人）

●**目的** 福祉活動における役員間の情報交換・共有と資質向上を目指す

●**実施事業**

- ・福祉委員会の開催

福祉活動の協議・検討および見守り世帯等に関する情報交換と課題の共有を行う。

- ・福祉関連研修会への参加

地域福祉に関する各種研修会へ積極的に参加をし、委員会を通じて共有する。

- ・救急カード事業の推進

回覧、訪問で救急カードの普及と推進を行う。

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

### ●事業成果

福祉委員同士のみならず町内会役員、民生委員児童委員との連携が強化され、地域福祉活動が円滑に且つ積極的に進められた。

福祉活動に対する関心が高まり、福祉委員の資質向上につながった。

## 2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 6回

- 対象者 町内会員全員（対象者数 240 人）

- 目的 高齢者の孤立防止と世代間交流で地域のつながりづくり

### ●実施事業

- ・いきいきサロンの開催（主に高齢者対象）

9月22日 認知症予防の体操

10月12日 ちぎり絵講習会

11月22日 認知症予防のゲーム

2月16日 頭の体操

3月2日 ひな祭りと懐かしの遊び

- ・餅つきとお楽しみ交流会（12月14日）

餅つき大会で世代を超えた交流会で地域のつながりづくりを図る。

### ●事業成果

高齢者の孤立防止につながった。

参加者同士の世代を超えた交流が深まり、近隣のつながり作りになった。

## 3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施

- 対象者 高齢者（対象者数 80 人）

- 目的 地域の支え合い、連帯意識の醸成を図り孤立を防止する。

### ●実施事業

- ・見守り、声かけ、定期的な訪問活動の実施

一人暮らし及び高齢者世帯に対して、日常的

な見守りや定期的な声かけ訪問を実施し、安否確認と世帯の状況把握に努めた。

- ・独居高齢者へ給食配布（3人）

年末にお弁当とともにサロンで作成した干支のちぎり絵をお届けし、合わせて安否確認や生活状況の把握に努めた。

### ●事業成果

ご近所同士のつながりを強くし、一人暮らし高齢者の安否確認と生活状況の把握につながった。

## 桂木3・4丁目町内会

福祉委員人数	5人	世帯数	210
--------	----	-----	-----

## 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 11回

- 対象者 町内会長・役員・福祉委員・民生委員児童委員（対象者数 18 人）

- 目的 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有

### ●実施事業

- ・福祉委員会

福祉活動の協議・検討及び見守り世帯等に関する情報交換、課題の共有を行った。隔月に実施。

- ・各種福祉研修会に参加

①平成30年度千歳地域SOSネットワーク研修会

②平成30年度行方不明高齢者等搜索模擬訓練

③暮らしのちょっと応援サービス事業説明会

④平成30年度ちとせ地域福祉フォーラム

- ・救急カード（改定版）を全戸に配布

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・市役所

### ●事業成果

福祉委員及び民生委員児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動を円滑に進めることができた。

福祉活動に対する関心が高まり、福祉委員等の資質向上につながった。

## 2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 7回
- 対象者 高齢者・障がい者・子ども  
(対象者数 100人)
- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり、  
地域のつながりづくり
- 実施事業
  - ・歩こう、パークゴルフ大会  
指宿公園までゆっくり歩きパークゴルフを楽しんだ。年3回実施。
  - ・お楽しみ交流会  
高齢者と子どもたちとの交流会を実施した。  
夏～ゲーム&お食事会  
冬～餅つき大会  
年2回実施
  - ・ふれあい日帰り旅行（年1回）  
温泉施設の利用。
  - ・出前講座の開催（年1回）  
市の出前講座「カローリング」を開催した。
- 連携・協力機関及び団体  
民生委員児童委員・社会福祉協議会・市役所
- 事業成果  
参加者同士の交流により、近隣のつながりづくりにつながりました。  
高齢者の閉じこもり防止につながった。

## 3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 11回
- 対象者 高齢者・障がい者（対象者数 51人）
- 目的 地域の支え合い、連帯意識の醸成を図り、孤立防止につなげる
- 実施事業
  - ・見守り、声かけ訪問活動（年10回）  
一人暮らし高齢者世帯に対して、日常的な見守りや定期的な声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。
  - ・「敬老の日」粗品配付  
高齢者に永年の苦勞を謝し粗品を届け、併せて安否確認や生活状況の把握を行った。

- ・除雪支援活動（年11回）  
一人暮らしの高齢者世帯の状況把握に努め、冬期間の除雪支援を行った。
- 連携・協力機関及び団体  
民生委員児童委員・社会福祉協議会
- 事業成果  
一人暮らし高齢者等の安否確認、心配ごとの把握につながった。  
地域のつながりづくりと一人暮らし高齢者等の孤立防止につながった。

## 桂木5・6丁目町内会

福祉委員人数	4人	世帯数	133
--------	----	-----	-----

### 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 16回
- 対象者 町内会長・民生委員児童委員・役員・福祉委員（対象者数 10人）
- 目的 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有
- 実施事業
  - ・町内会役員会  
福祉活動に関する情報交換、共有を行いました。（11回）
  - ・民生委員児童委員との情報交換（1回）  
福祉対象世帯の情報交換、共有を行いました。
  - ・福祉委員会  
福祉活動の協議、検討及び見守り世帯に関する情報交換、課題の共有を行いました。（3回）
  - ・福祉研修会の参加  
小地域福祉活動研修会に福祉委員2名、町内会長が参加をしました。（1回）
- 連携・協力機関及び団体  
民生委員児童委員
- 事業成果  
福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携、町内会長・役員との連携が円滑に進められた。

### 2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者(対象者数 100人)

●目的 実態把握

●実施事業

- ・福祉台帳の更新  
高齢者世帯等の状況を把握するため台帳を更新し、町内のマップを活用して、日常の見守りや声かけを行った。

●連携・協力機関及び団体

町内会長

●事業成果

福祉委員全員が、台帳に基づいて全体の把握、共有ができた。

### 3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 15回

●対象者 高齢者（対象者 100人）

●目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり、地域とのつながりづくり

●実施事業

- ・日帰り温泉（1回）  
支笏湖休暇村で紅葉、温泉、カラオケ、おしゃべりを楽しんだ。（20名）
- ・敬老会（1回）  
対象者全員に手配りで案内状を届け出欠確認し、欠席の方には記念品を届けた。（40名）
- ・親睦会（1回）  
町内会館で手作りのお昼ご飯、カラオケ、おしゃべりを楽しんだ。（27名）
- ・ふれあいサロン（12回）  
頭や指を動かし、認知症防止によいと人気の健康麻雀を月に1回開催した。（105名）
- ・健康サロン（27回）  
7月から3月末まで、町内会館でラジオ体操やストレッチを毎週月曜日に開催。（118名）

●連携・協力機関及び団体

町内会文化部・総務部・女性部

●事業成果

高齢者の健康状態、心配ごとなどを把握することができた。

参加者同士の交流の場となり、楽しく会話がはずみ、元気になることができた。  
引きこもり防止につながった。

### 4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 5回

●対象者 高齢者（対象者数 100人）

●目的 地域の支え合い、孤立防止につなげる

●実施事業

- ・「福祉委員便り」の発行  
福祉委員の周知、福祉イベントの案内、敬老会の案内を福祉対象者全戸訪問で実施した（4回）
- ・生活支援サービスの実施  
訪問活動の際、千歳市指定のゴミ袋、箱ティッシュを福祉対象者全戸配布した。（1回）

●事業成果

地域の高齢者、障がい者と福祉委員との信頼関係が深まり、一人暮らしや高齢者世帯等の対話が円滑になり、生活上の困りごとに対する相談や地域のつながりづくりなど孤立防止につながっている。

## 新星町内会

福祉委員人数	1人	世帯数	65
--------	----	-----	----

### 1 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 1回

●対象者 高齢者・こども

●目的 新星町は比較的若い世帯が多く平均年齢も40代となっているが在住する小学生以下30名と65歳以上30名の方がともに楽しめる場を提供する。

●実施事業

- ・クリスマス会（青少年部・福祉部合同のクリスマス会・敬老会）  
当町では夏祭りクリスマス会を町内交流

の行事としています。夏祭りは全住民を対象としているため特に子供会と敬老会に限った世代の場としてクリスマス会が重要なものとなっています。(ゲーム・カラオケ・ビンゴ大会)

### ●事業成果

敬老会のみでは得られない子供たちとの交流で元気がもらえているのではないかと感じます。

## 北斗南町内会

福祉委員人数	6人	世帯数	155
--------	----	-----	-----

### 1 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 町内会会員
- 目的 町内会の活動及び運営を円滑に行うために、町内会名簿の作成に取り組む。

### ●実施事業

1. 個人情報（保護法）についての考え方、作成については多様な意見があるだけに、日頃の活動や組織の中で名簿の必要性について、年間を通して十分に時間をかけて取り組むことが肝要である。
2. 役員会、作業部会において熟考を重ね、審議経過等についてはその都度、町内会だよりで情報提供をさせて頂いた。
3. 千歳市総務部総務課の担当者による出前講座を開催した。テーマは「町内会における個人情報の取扱いについて！」町内会館で35名の参加者を得ることができた。

### ●事業成果

31年度定期総会の議案として採決していただき、過半数以上の賛成を得ることができた。現在、町内会会員名簿の作成に取り組んでいます。

### 2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 1回
- 対象者 80歳以上の高齢者及び町内会会員（対象者 高齢者12人）

- 目的 「敬老の日」にちなんで、80歳以上の高齢者を招待し町内会員とともに長寿を祝う。

### ●実施事業

1. 100歳以上の高齢者を招待して長寿を祝い、祝い品を贈呈し、町内会員とともに、益々の長寿を祈念し交流祝賀会を実施した。
2. 招待状は、福祉委員が各人に配布し出欠を伺う。
3. 招待者を中心にして祝賀会を盛り上げることができた。

### ●事業成果

招待者の高齢者（90歳以上）の出席が減っていますが、当年80歳になられた方は喜んで出席して下さいました。祝賀会はお食事、おしゃべりや工夫された余興等により大いに盛り上がりました。

## 北斗2丁目自治会

福祉委員人数	2人	世帯数	95
--------	----	-----	----

### 1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 2回
- 対象者 高齢者（単身）世帯（対象者60名）
- 目的 高齢者相互間の親睦・交流を図り、支え合い助け合いのこころを醸成するとともに良好な人間関係を確立する。

### ●実施事業

1. 「自治会福祉懇談会・ふれあいサロン」  
平成30年6月24日（日）11:00~13:30  
参加者37名  
(1) 出前講座「役に立つゴミの分け方・出し方」11:00~12:00  
担当：市民環境部廃棄物対策課  
内容：家庭のゴミの分別・排出方法  
(2) 会食・懇談 12:10~13:30  
女性部の手作り料理による会食

会食後、会長の進行により自治会に対する要望（事業、道路等の補修、高齢世帯への対応等）及び質疑応答

## 2. 「自治会福祉懇談会」

平成30年11月24日（日）11:00～13:30

参加者30名

（1）懇談会：「自治会の現状とこれからの自治会のあり方」11:00～12:00

内容：①自治会の現状（少子高齢化、高齢単身世帯の増加、行事参加者の高齢化、高齢者支援体制の未完

②今後自治会の課題（高齢者・高齢単身世帯の支援体制をどうするのか、役員の後継者育成、参加者数の向上等

（2）会食・懇談 12:10～13:30

会食：女性部の手作り料理による会食

懇談等：自由懇談方式によりテーブル毎、会食をしながら交流を深めた。

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・市役所

### ●事業成果

年度計画通り2回実施し、第1回の出前講座「ゴミの分別・出し方」については環境衛生、資源回収の観点から認識を新たにす成果を得た。第2回の福祉懇談会「自治会の現状とこれからの自治会のあり方」については、現状を説明した結果認識を新たにするとともに当面の課題は理解するも具体的方策については結論が出ず、引き続き検討課題となった。

## 北斗3丁目自治会

福祉委員人数	6人	世帯数	174
--------	----	-----	-----

## 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 10回
- 対象者 福祉委員（対象者数6人）
- 目的 情報の交換と確認
- 実施事業

町内会役員会後に定例福祉委員会を開催することで参加率が上がった。

町内会を3ブロックに分けて担当しているので、各ブロックの情報を共有し確認しあっている。

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・町内会女性部

### ●事業成果

参加率が良いので、今後も継続していきたい。

## 2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 1回（8月4日（土））
- 対象者 後期高齢者家庭（対象者62名）
- 目的 後期高齢者の健康状態を確認
- 実施事業

平成30年内に75歳以上の家庭へ町内会開催の夏祭りへの招待券を配付し、会場となる町内会館前駐車場まで出向いてもらい歩行状態を見て健康状態を確認できた。

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・町内会夏祭り実行委員会

### ●事業成果

74世帯に招待券を配布。54世帯の方が出向いてくれた。参加率54/72で75%でした。今後も継続していきたい。

## 3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 1回（12月31日）
- 対象者 寡婦または75歳以上の独居の方（対象者数16人）
- 目的 新年を迎える一助になれば
- 実施事業

町内会女性部と共催で、独居老人へおせち料理を配付して、新年を迎える一助にしてもらった。

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・町内会女性部

### ●事業成果

今年3名増加。今後も継続していきたい。

# 北斗西町内会

福祉委員人数	10人	世帯数	130
--------	-----	-----	-----

## 1 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年2回
- 対象者 福祉委員長・福祉委員  
民生委員児童委員  
(対象者数 11人)
- 目的 地域福祉ネットワーク活動計画  
の策定、情報・意見交換

### ●実施事業

1. 平成30年度活動状況の報告及び事後の活動の打ち合わせ、一人暮らしの高齢者方々の現状確認。各種行事での成果報告および今後の行事参加者の向上について分析検討を実施し、ダイレクトメールを活用等。
2. 福祉委員間の頻繁な情報交換と対処要領について
3. 町内会年末の餅つき計画について検討
4. 一人暮らし世帯の除雪支援情報確認実施について
5. ふれあいサロンの計画と方向性の検討
6. 年末の独居老人に対する宅配支援計画と予算について

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

### ●事業成果

地区担当福祉委員が戸別訪問等を実施し、近況を把握することができ効果があった。また、町内行事と一体化し円滑かつ効果的に事業ができた。

## 2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 3回
- 対象者 独居老人等、町内会全員  
(対象者数 51人)
- 目的 各種行事を通じて交流を実施し親睦を深める。  
高齢者の地域に対するニーズの把握及び交流ふれあいの強化。

### ●実施事業

- ・夏祭り会場にて、高齢者と福祉委員が面談を行い心情の把握を行うとともに他の町内会員との交流を深めたのはよかった。
- ・町内会餅つき、子どもお楽しみ会行事を活用し、餅つき、ビンゴゲーム及び会食を行い、なごやかに三世代にわたる交流ができたのは良好な事業となった。
- ・懇談会、会食、親睦を深め民生委員とも交流を深め、心情の把握にも効果があり有意義なふれあいサロンになった。
- ・近況把握に効果があったのは良好であった。来年度についても実施していき、心情把握に努める。
- ・警察署からの支援を受け、詐欺の手口等の説明を詳しく受け又町内会に不審なはがきが送付されていることが確認できた。

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・千歳警察署

### ●事業成果

夏祭りは多数の町内会会員が参加し盛大になり情報交換と近況把握ができ、良好な状態であった。

餅つきについては、冬季ということもあり若干参加が少なかった。来年度は、検討を実施し向上に努める。

対象者の出席が警察の協力を得て、近況の詐欺等の説明を受け犯罪に対しての意識向上を図れ、町内会の近況把握について効果があったため、継続的にふれあいサロンを実施していく必要がある。

## 3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 1回 除雪は92回
- 対象者 ひとり暮らし高齢者  
(対象者数 11人)
- 目的 ひとり暮らし高齢者へのおせち料理等宅配と除雪支援
- 実施事業
  - ・おせち料理などの宅配を実施し、世間話などを行い直接近況の把握に努め、健康状態を把握し

直接確認できたのは良好であった。

- ・福祉委員会において引き続き独居老人に対する声かけを積極的に行うことを確認し、町内会役員等に働きかけることを確認した。
- ・一人暮らしの高齢者6世帯に対して、町内会の支援を受け、延べ86回の除雪支援を行い、生活・緊急避難経路を確保できた。また、委嘱除雪ボランティアの6名で除雪支援組織を確立し、さらに福祉委員及び町内会役員が更なる支援を実施するとともに、近況把握に努めることができた。

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

### ●事業成果

対象高齢者宅を直接訪問したが、健康状態も良好であり、元気に正月を迎えられそうであった。

おせちを宅配された高齢者は喜んでいたりであり来年度も実施していきたい。

今年度は、若干雪が少なかったものの集中的な降雪があり除雪支援は困難であったが、委嘱ボランティアの方々は、献身的に実施してくれて問題なく行われた。来年度もよく計画し積極的に支援を実施していきたい。

## 北斗北町内会

福祉委員人数	5人	世帯数	153
--------	----	-----	-----

## 1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 4回
- 対象者 高齢者、子供、町内会員  
(対象者：103人)
- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり  
地域のつながりづくり
- 実施事業
  - ・町内親睦パークゴルフ大会  
パークゴルフを通じ、会員の親睦・交流を実施。年2回実施（春・秋）
  - ・夏祭り  
子供達の夏休みに合わせて、高齢者や地域の

会員との交流会を実施。

バーベキュー、ゲーム、おやつ配付、抽選会、花火、盆踊り。年1回実施

### ・敬老会

祝賀会、食事会、歓談、余興等。年1回実施

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

### ●事業成果

一人暮らし高齢者等の安否確認や健康状態、心配ごとの把握につながりました。

参加者同士の交流により、近隣のつながりづくりになりました。

高齢者の閉じこもり防止につながりました。

## 2 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 216回
- 対象者 病弱・高齢者・独居者  
(対象者数103名)
- 目的 地域の支え合い、連帯意識の醸成を図り孤立防止につなげる
- 実施事業
  - ・除雪支援活動事業  
一人暮らし高齢者世帯に対して、生活道路と安否確認のための除雪を行いました。  
7世帯、214回、延べ251人で実施。
  - ・75歳以上の一人暮らし高齢者へ「お祭りチケット」の配布事業  
夏祭りの行事に合わせて、「お祭りチケット（1,000円相当）」をお届けし、参加の呼びかけと併せて安否確認や生活状況の確認を行いました。年1回実施
  - ・一人暮らし高齢者ぶらぶら巡り旅事業  
一人暮らし高齢者世帯の状況把握に努め、近隣へのぶらぶら旅と買い物などの支援を行いました。年1回実施。
- 連携・協力機関及び団体  
民生委員児童委員・老人クラブ・福祉委員
- 事業成果  
近隣住民にも協力をいただき、地域のつながりづくりと一人暮らし高齢者の孤立防止につながりました。

生活上の困りごとに対する相談や細やかな支援により、安心して生活できる環境づくりにつながりました。

## 自由ヶ丘町内会

福祉委員人数	59人	世帯数	1287
--------	-----	-----	------

### 1 調査活動（実態把握）

- 実施回数 1回
- 対象者 65歳以上
- 目的 年長者名簿の作成と敬老会対象者（75歳以上）の掌握

#### ●実施事業

- ・年長者名簿の作成  
町内会在住の65歳以上の年長者名簿の作成  
年1回調査実施（5月）
- ・各区長と福祉委員との連携による会員名簿の更新と状況の確認。

#### ●事業成果

1. 65歳以上年長者を掌握
2. 敬老会・桜寿会への参加・入会の促進
3. 家庭環境・家族構成・健康状態の把握

### 2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 13回
- 対象者 高齢者・福祉委員・役員  
民生委員（高齢者数約500人）
- 目的 相互の親睦を図り、地域の仲間づくりと引きこもりの防止

#### ●実施事業

1. パークゴルフ大会  
高齢者と地域住民との交流を行った。  
（回数1回：6区）
2. お楽しみ交流会
  - (1) 焼肉：4回（1区・2区・3区・5区）
  - (2) お楽しみ会：2回（4区・6区）
  - (3) そば打ち・流しソーメン：3回（3区・4区・6区）
  - (4) 新年交流会：2回（1区・2区）

- 3 敬老会  
台風接近で危うかったが強行。  
対象者（75歳以上）

#### ●事業成果

毎年同じ状況ではあるが限られた予算の中で区長との連携等工夫を凝らし、多くの参加を呼びかけ、高齢者・若者・地域住民との交流に力を入れた。敬老会については、年々対象者が増える中約37%から40%の出席率をキープしている。今後将来の悩みは会場の確保。

## 桜木町内会

福祉委員人数	22人	世帯数	660
--------	-----	-----	-----

### 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 8回
- 対象者 福祉委員・民生委員児童委員  
（対象者：22人）
- 目的 福祉委員が連携して高齢者宅を訪問（75歳以上240人）

#### ●実施事業

- ・福祉委員会  
福祉活動の年間計画検討及び見守りに関する情報交換など（2ヶ月に1回）
- ・福祉だより「桜木ふれあいだより」発行。今年は年1回の発行に終わりました。振込み詐欺等への注意喚起や地域の活動案内など
- ・地域活動への支援の打合せ等（主要行事前）
- ・サロン活動の案内、出前講座の案内等町内全体に行いました。（サロンは月2回、映画の集い1回、子供と餅つきの案内1回）

#### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

#### ●事業成果

町内にどんなニーズがあるのか今後何が必要なのかを見つけながら、隣近所との付き合いはどうかを見ていくことができるようになった。

### 2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者 70 歳以上（対象者数 320 人）
- 目的 要支援の状況把握
- 実施事業
  - ・高齢者世帯（70 歳以上）の台帳作成（更新）  
必要に応じて見守り声かけを行い、特に行事への参加の案内を行いました。
  - ・福祉マップの作成 それぞれの福祉委員が対象世帯を見回り地図上に色分けで作成しました。（一人世帯、日中一人世帯、高齢世帯、同居世帯等）
  - ・救急カードが新しくなったので全戸へ福祉委員が届けました。約 1800 人分
- 連携・協力機関及び団体  
民生委員児童委員・社会福祉協議会
- 事業成果  
同居世帯、一人世帯を含めて声かけが必要な世帯を知ることができた。9/6、9/7 の災害時にも主な世帯を声かけすることができた。

### 3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 6 回
- 対象者 高齢者・子供・町内会員
- 目的 地域のつながりづくりと世代をこえて交流。
- 実施事業
  - ・サロン
    - いきいき百歳体操は月 2 回実施  
（別途事業報告 毎回 20 人程参加）
    - 映画の集い「人生いろいろ」1 回 25 人参加
    - 出前講座 4 回実施 各 20～25 人参加
  - ・敬老会
    - 10 月 14 日実施 86 名参加
  - ・子供餅つき大会支援（12 月 24 日）  
町内青少年部と共催 75 歳以上の一人暮らし 31 名中 2 名参加。今年初めて挑戦。
- 連携・協力機関及び団体  
民生委員児童委員
- 事業成果  
いろいろと実施しながら 5 地域の顔が見える

手伝いをしていけたら良いと思う。

### 4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 通年を通じて実施
- 対象者 主に高齢者
- 実施事業
  - ・見守り声かけ訪問活動
  - ・東胆振地震、台風時に声掛け安否確認を行った。  
（町内会長と連携）
  - ・除雪支援活動（別途事業報告）対象者 14 名
- 連携・協力機関及び団体  
民生委員児童委員
- 事業成果  
近隣の方々の協力をいただき安否確認を進めることができた。今後については「暮らしのちょっと応援サービス」なども含めた活動が必要になってくる。また町内に暮らす障がい者同居世帯への取り組みなど考えていきたい。

## 北栄南町内会

福祉委員人数	11 人	世帯数	387
--------	------	-----	-----

### 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 18 回
- 対象者 町内会長・福祉委員・民生委員児童委員（対象者数 10 人）
- 目的 福祉活動における情報交換を行い、問題の早期解決に努めるとともに、委員の資質向上を図る
- 実施事業
  1. 福祉委員会（3 回）  
定期的な会合を開き、福祉事業の実施及び町内会・コミ協行事への協力・参加要領を協議・調整した。また要配慮者の情報交換、課題の共有に努めた。
  2. 「町内会だより」の発行及び福祉委員の訪問等によるイベントの案内及び「救急カード」、「災害時避難行動要支援者個別計画」の推進（8 回）特に各種の機会を捉えて「救急カード」

の周知・活用上の注意喚起を行うとともに、新「救急カード」を全世帯約400世帯に配布した。また千歳市と連携して「災害時避難行動要支援者個別計画」の台帳整備を行った。

### 3. 北栄・新富福祉委員会の役員会・研修会への参加（5回）

北栄・新富の6町内会合同で福祉活動の協議・検討を行うとともに、合同研修会により民生・児童委員と交流し、情報の共有を図った。

### 4. 福祉研修会への参加（7回）

市町連、社協及び西区地域包括支援センターの研修会に参加をして、福祉の現状・問題点、その解決法を学習した。

#### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター・市役所

#### ●事業成果

福祉事業に対する地域の理解を深め、福祉委員及び民生委員児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動が概ね円滑に進められた。また、福祉委員の資質向上を概ね図ることができた。

## 2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者特に独居者・障がい者  
児童（対象者数250人）

●目的 要支援配慮世帯の状況把握

#### ●実施事業

##### 1. 高齢者名簿の更新

日常の声かけ、訪問活動により高齢者世帯特に独居高齢者世帯や障がい者世帯の実態を把握して、高齢者名簿を整備した。

##### 2. 災害福祉マップの更新

特に独居高齢者、障がい者世帯等の現況を把握し、災害時の避難誘導に備えた福祉マップを整備した。

##### 3. 災害時避難行動要支援者個別計画による実態把握の実施

希望された対象者の個別計画申請手続き業務の実施を通じて、市と連携して災害時の要支援世帯の状況を把握した。（対象者17名）

##### 4. 独居高齢者等の除雪支援者の選考調査

今年度の除雪支援対象者の選考のため、訪問等により調査を実施した。（支援対象者6名）

#### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・市役所

#### ●事業成果

要支援世帯の状況把握により、日常の見守りや声かけ訪問が効果的に行われるとともに、災害時等の備えにもつながっている。

## 3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 町内会員特に高齢者・障がい者・子ども等（対象者数300人）

●目的 高齢者、特に独居高齢者の孤立防止と地域のつながりづくり

#### ●実施事業

##### 1. 介護予防サロン（月4回、46回）

介護予防体操、おしゃべり、食事会（第2・4火曜日）を実施し毎回20名以上が参加し、交流を深めるとともに、健康管理に努めた。

##### 2. ふれあいサロン（10/20）（参加者37名）

65歳以上の高齢者を対象に、食事会、ゲーム、歌声喫茶、ビンゴ大会を実施し交流を深めた。

##### 3. お楽しみ会（6/16）

北栄・新富6町内会福祉委員合同による高齢者の交流を実施し、余興、食事会、抽選会等で盛況であった。町内からは、高齢者20名福祉委員5名が参加した。

##### 4. 三世代交流餅つき大会（4/28）

親子、孫、役員が一体となり餅つきを体験させ、終了後雑煮等で会食を行うとともに、一人暮らしの高齢者には福祉委員が安否確認を兼ねて「餅パック」を35名に宅配した。

##### 5. 町内会敬老会（9/24）

75歳以上の高齢者に対し、福祉委員が案内して参加者を掌握、当日の不参加者50名に安否確認を兼ねて「記念品」を宅配した。

#### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議

会・地域包括支援センター

### ●事業成果

一人暮らし高齢者等の安否確認や健康状態の把握が概ねできた。

また、福祉委員や高齢者間の交流ができ、地域のつながりに役立った。

## 4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

### ●実施回数

年間を通じて実施

### ●対象者

高齢者特に独居者・障がい者  
(対象者数 200 人)

### ●目的

高齢者特に独居高齢者の孤立防止と地域のつながりづくり

### ●実施事業

#### 1. 見守り・声かけ訪問活動

一人暮らし高齢者世帯等に対して、日常的な見守りや声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。

#### 2. 一人暮らし高齢者等へのお餅セットや記念品宅配(2回)

三世代交流餅つき大会で独居者に対し、お餅パックを 35 名に宅配した。また、町内の敬老会への不参加者の高齢者 50 名に記念品を宅配した。

#### 3. 独居高齢者等の除雪支援活動

独居高齢者及び障がい者の 6 世帯を厳選して、福祉委員 4 名により除雪支援を実施した。

#### 4. 災害時避難行動要支援者の個別計画の推進

市と連携し、申請希望者の手続き業務を行う等により、要支援世帯の状況を把握した。

(対象者 17 名)

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・市役所

### ●事業成果

特に一人暮らし高齢者等の孤立死を未然に防止でき、安心・安全な地域づくりに役立った。

# 北栄東町内会

福祉委員人数	9人	世帯数	235
--------	----	-----	-----

## 1 啓発活動(知る・知らせる)

### ●実施回数

10回

### ●対象者

福祉委員・民生委員児童委員  
(対象者数 12 人)

### ●目的

福祉委員の資質の向上、委員間の情報交換

### ●実施事業

・福祉委員会(民生委員を含む)

各委員の担当地区の状況を委員間で情報交換し、必要により対応、処置を講じた。

・福祉部が行う行事

一人暮らし高齢者の交流会・敬老会を行った。北新コミュニティ等の機関・団体等の行う事業に積極的に参加、福祉に関する知識及び能力の向上に努めた。

### ●事業成果

委員の知識向上と能力を高揚することができた。

## 2 調査活動(実態把握)

### ●実施回数

年度初めに 1 回、変更が 5 回

### ●対象者

高齢者 150 名・単身者 50 名

### ●目的

高齢者の把握

### ●実施事業

・高齢者名簿の作成

年度初めに 65 歳以上の高齢者の地区別に区分したものを作成し、委員活動の資とした。

・一人暮らし、高齢者名簿の作成

高齢者の中で、一人暮らしの方の名簿を作成し重点指向の資とした。

・高齢者住居の地図作成

訪問を容易にするために作成した。変更があれば委員会で説明した。

### ●事業成果

委員の知識向上と能力を高揚することができた。

### 3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 48回
- 対象者 高齢者・子ども（親）  
（対象者数110人）
- 目的 相互に親交深め、孤独感の解消
- 実施事業
  - ・一人暮らし高齢者交流会  
一人暮らし高齢者を招いて、食事をしながら、唄い、会話をし余興を楽しんだ。
  - ・敬老会  
70歳以上の高齢者を招いて、食事を提供し、余興、カラオケを楽しみカラオケを唄って互いの交流を深めた。
  - ・カラオケサロン（毎週水曜日）  
13時から15時の2時間お茶を飲みながら、カラオケを楽しんだ。
  - ・餅つき  
三世代交流に成果があった。
- 事業成果  
交流を深め、孤独感の解消に成果があった。

### 4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通して実施
- 対象者 高齢者・障がい者
- 目的 孤立の防止
- 実施事業
  - ・見守り、声かけ訪問  
日常的に生活状況を把握し、その状況によって訪問し安否の確認を行った。
- 事業成果  
孤独死の防止に役立った。

## 新富西町内会

福祉委員人数	5人	世帯数	180
--------	----	-----	-----

### 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 1回
- 対象者 町内会員全員

- 目的 救急カード事業の普及を図る
- 実施事業
  - ・町内会全世帯に新救急カードを配布。内容と保管場所の再確認をした。
- 連携・協力機関及び団体  
民生委員児童委員・社会福祉協議会・町内会役員

### 2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 1回
- 対象者 敬老会70歳以上
- 目的 各催しがあり町内会近隣の方との交流活動の活性化
- 実施事業
  - 北新コミセン主催（お楽しみ会）への参加とゲーム・クイズ・歌・食事・団らんで楽しんだ。  
70歳以上の方、独居者は65歳以上の方が対象。  
年1回今年6月の第3土曜日に実施。町内では福祉委員で手分けをし各戸へ案内をした。
- 連携・協力機関及び団体  
民生委員児童委員・老人クラブ・町内会役員
- 事業成果  
お楽しみ会はコミセンまで出向くのが大変との声が出ています。

### 3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通して実施
- 対象者 独居者・高齢者
- 目的 孤立防止と安否確認
- 実施事業
  - 町内在住の一人暮らし世帯、高齢者世帯に対し定期的に声かけや安否確認の把握に努めています。2ヶ月に1回の役員会には必ず会長及び民生委員より高齢者の見守り、子供の虐待等の話題が上がります。（振込み詐欺や防災の注意、郵便受けの溜まりに注意）各班長さんにも注意して見守るよう声かけをしています。
- 連携・協力機関及び団体  
民生委員児童委員・老人クラブ・町内会役員  
地域包括支援センター
- 事業成果

見守り声かけにより支援世帯の状況がわかるようになった。

## 新富東町内会

福祉委員人数	14人	世帯数	240
--------	-----	-----	-----

### 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 6回
- 対象者 福祉委員・民生委員児童委員・町内会役員等（対象者数32人）
- 目的 福祉委員活動における民児協委員また役員間の情報交換・共有・資質向上
- 実施事業
  - ・町内会役員会・福祉委員会
  - 福祉活動の協議、検討及び見守り世帯等に関する情報交換、課題の共有を行いました。（2ヶ月に1回実施）
- 連携・協力機関及び団体 民生委員児童委員・社会福祉協議会
- 事業成果 福祉活動に関心が高まり福祉委員同士の連携強化につながりました。

### 2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 一人暮らし・高齢者・障がい者（対象者 100人）
- 目的 新たに高齢対象になった方の実態把握及び要支援世帯の状況把握
- 実施事業
  - ・高齢者世帯台帳の作成
  - 見守りが必要な高齢者世帯、一人暮らし世帯の状況を把握するため必要に応じて声かけを行いながら台帳更新を行いました。
- 連携・協力機関及び団体 民生委員児童委員・市役所
- 事業成果

新たな高齢者、一人暮らし世帯の状況把握により声かけ訪問が行われ、町内会事業の参加にもつながっている。

### 3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 10回
- 対象者 一人暮らしの方・高齢者・障がい者等の方（対象者数約100人）
- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり、地域のつながりづくり
- 実施事業
  - ・ふれあいサロン
  - おしゃべり、食事会、レクリエーション、健康体操カラオケ等（8回）
  - ・日帰りバス旅行
  - 施設見学、食事会、レクリエーション等（年1回実施）
  - ・敬老会
  - 食事会、ゲーム、余興、レクリエーション等（年1回実施）
- 連携・協力機関及び団体 民生委員児童委員・社会福祉協議会
- 事業成果 ひとり暮らしの方を含む高齢者等の参加者同士の交流、健康状態の把握にもつながりました。

### 4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者、一人暮らし、障がい者（対象約100人）
- 目的 地域の支え合い、連帯意識の醸成を図り孤立防止につなげる
- 実施事業
  - ・見守り、声かけ訪問活動。
  - 一人暮らしを含む高齢者世帯に対し、定期的に町内会行事の案内等声かけ訪問を行い、安否確認や生活状況の把握に努めました。
  - ・一人暮らし高齢者への歳末訪問活動
  - 年末に軽食等をお届けし、合わせて安否や状況確認を行いました。
- 連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

### ●事業成果

地域での交流ある環境づくりと、一人暮らし高齢者等の孤立防止につながりました。

## 新富中町内会

福祉委員人数	13人	世帯数	305
--------	-----	-----	-----

### 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 7回
- 対象者 福祉委員・民生委員児童委員  
(対象者数 14名)
- 目的 救急カード設置、更新状況の確認、福祉委員活動、計画の立案

#### ●実施事業

- ・福祉委員、民生委員児童委員合同会議（7回）
- ・「サロン」「小地域福祉ネットワーク活動推進事業」開催前に打ち合わせ会議を3回実施。
- ・介護予防サロン「いきいき百歳体操」の計画及び実施。基本的には毎週水曜日 10:00~12:00 毎月最終日には茶話会を実施。
- ・救急カード設置状況の把握・更新の推進  
「サロン」開催。案内文書配布時に2名1組で戸別訪問を行い把握及び更新の推進。（災害時に緊急に連絡が取れる身内の電話番号も聞き取り調査もしている）
- ・千歳市社会福祉協議会等の各種研修会、講習会に参加し知識の習得、能力の向上を図る。
- ・北新コミュニティ協議会、出前講座に参加し6町内会福祉部との連携を図った。

#### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・北新コミュニティ協議会

#### ●事業成果

訪問活動時に複数で訪問することにより相手に安心感を与え、効果は大きかった。

複数回の会議開催により、目的の共有ができ、事業等の運営がスムーズに進んだ。

研修会・講習会で得た知識を会議で報告し、全

体のスキルアップにつながった。

### 2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 町内会全世帯  
(対象者数 305 世帯以上)
- 目的 要配慮者世帯（者）の把握  
災害時及び緊急時対応

#### ●実施事業

- ・「救急カード」「要配慮者」「町内会全世帯台帳」更新、確認及び緊急時の連絡先を聞き取り調査、「サロン」3回「お楽しみ会」1回の開催案内時に聞き取り調査、確認をする。
- ・「災害時要配慮者」の避難方法「地域支援者」の確保と把握  
町内会防災部と連携して防災設備、避難経路の確認
- ・防災講習会に参加し知識を取得  
窓口センターによる防災訓練にも40名参加する。

#### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・窓口センター・防災センター

#### ●事業成果

「サロン」のとき福祉委員、民生委員児童委員が訪問してお喋りしながら和気あいあいと聞き取り調査をした。防災訓練は消火器を使う練習をした。

### 3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 サロン3回・お楽しみ会1回・介護予防体操50回
- 対象者 町内会会員高齢者全員  
(対象者 120人)
- 目的 高齢者の孤立防止  
高齢者の体力づくり

#### ●実施事業

- ・「サロン」（3回）（小地域福祉ネットワーク活動推進事業含む）  
午前は出前講座など外部の支援を受け、福祉委員手作りの昼食、午後は参加者が自由にお喋

り、将棋、囲碁などを楽しむ。また、福祉委員の手作りゲームで楽しんだ。

- ・お楽しみ会（北新コミュニティ福祉部主催1回開催）

福祉委員・民生委員児童委員が戸別訪問し参加の呼びかけをし状況を確認する。

- ・介護予防サロン・いきいき百歳体操の実施  
毎週水曜日 10:00~12:00、年 50 回実施  
月末は茶話会を開き親睦を深めた。コグニサイズのトレーニングを実施。

#### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・北新コミュニティ

#### ●事業成果

戸別訪問時、複数人での活動は安心感を与え円滑な活動ができ、今後も続行する。

「サロン」開催時のゲームは皆さん積極的にまた真剣に参加していた。

出前講座などの外部支援の導入により、楽しさが増えたと好評でした。



## 4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者、障がい者（対象者 100 人）
- 目的 地域の支え合い、孤立防止につながる

#### ●実施事業

- ・生活支援活動

一人暮らしの高齢者及び障がい者世帯の状況把握に努め買物支援の手続き、また、送迎を行った。灯油ストーブの点検、換気口清掃を行

った。（一人暮らしの高齢者宅の灯油の買出し）

年末には、車椅子の家庭の大掃除（福祉委員 2 名）

#### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

#### ●事業成果

高齢者の孤立防止につながった。

安心して生活できる環境づくりにつながった。

## 新富北町内会

福祉委員人数	16 人	世帯数	474
--------	------	-----	-----

### 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 5 回
- 対象者 福祉委員・民生委員児童委員・町内会役員（対象者数 30 人）
- 目的 福祉委員活動に資する情報の共有

#### ●実施事業

- ・福祉委員会

福祉活動に関する福祉委員相互の意思の疎通を図り、事業の円滑な実施に資すると共に、要援護者の生活環境に関する情報を交換し、特定の要援護者の見守り継続と福祉情報を共有した。

#### ●事業成果

福祉委員相互の認識をそろえ円滑な事業推進に資するとともに、町内要援護者に関する情報を共有するなか行動の変化から認知症疑いの高齢者 1 名を確認し、日頃の見守りについて福祉委員間で意識統一を図った。

### 2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者、障がい者（対象者数 225 人）
- 目的 要支援世帯の状況把握
- 実施事業  
・高齢者名簿、特定要援護者の災害誘導「サポー

ト」等現況早見表の作成（更新）

独居高齢者、特定要援護者世帯等の恒常的支援が必要な状況を把握するため、高齢者名簿、特定要援護者の災害誘導「サポート」等現況早見表を作成（更新）し、福祉委員による見守りや声かけに活用した。

#### ●事業成果

定期的な更新を実施し、福祉委員による見守り活動等に資するとともに災害発生時の特定要援護者を民生委員からの情報により市役所福祉課に1件追加申請した。

### 3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 101回

●対象者 高齢者（対象者数184人）

●目的 高齢者の交流機会の継続的促進

#### ●実施事業

・敬老感謝のつどい

80歳以上の高齢者に記念品を贈呈するとともに会食余興で親睦を深めた。

・一人暮らし高齢者交流会

独居高齢者の交流機会をつくり女性部の手作り料理で健康と長寿を祝った。

・ふれあいサロン（6回）

カラオケ以外の懇談・囲碁・将棋等で親交を深めた。

・いきいき百歳体操（93回）

虚弱にならない、元気になる、自立できるを目標に月平均7回実施し、延べ1,081人が体力の維持・回復を図った。

#### ●事業成果

閉じこもりがちな高齢者に外出の機会を与え、他の高齢者と交流し孤立を防止するとともに相互の親交を深めることができた。

### 4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 32回

●対象者 除雪困難世帯（3世帯）

●目的 除雪困難世帯の日常生活支援

#### ●実施事業

・除雪困難世帯・指定避難所の除雪作業支援

民生委員からの情報及び高齢者名簿から除雪困難者を調査し、町内会有志（主として町内会役員）で、除雪困難世帯・指定避難所の除雪を支援した。

#### ●事業成果

今年度も小雪、暖冬で例年に比して作業回数は少なかったが対象世帯から支援人員に対する多くの謝意を得るとともに民生委員及び町内会員からの情報に基づき社協申請者以外に町内会独自で2世帯の除雪を支援した。

## 信濃1丁目町内会

福祉委員人数	5人	世帯数	106
--------	----	-----	-----

### 1 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 2回

●対象者 町内会会員

●目的 親睦交流会

#### ●実施事業

1. 日帰り研修

9月2日（日曜日）20名参加。平取温泉で入浴、食事会を実施し交流を深めた。

2. 交流会・敬老会

10月14日（日曜日）信濃町内会館。大人30名子供7名、合計37名参加。

女性部の協力を得て、信濃町内会館において高齢者から子供までクイズ、ビンゴゲーム、カラオケ等し、交流会及び敬老会を実施して、町内会員相互の交流を図った。

#### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・地域包括支援センター

#### ●事業成果

敬老会を含めているため、一人暮らしの高齢者の参加があり、また、子供の参加により世代間の交流が見られるなど、親睦が図ることができた。

### 4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 16回（12月から3月までの除雪）

- 対象者 一人暮らし高齢者・高齢者世帯  
(対象者数4人)
- 目的 地域の支え合い
- 実施事業
  - ・一人暮らし高齢者、高齢者世帯等に対して、生活道路確保と安否確認のため町内会長、福祉委員を中心に支援者が除雪を行い、生活道路を確保した。
  - ・一人暮らし高齢者、高齢者世帯に対して日常的な見守りや健康状態等の声かけを行い安否の確認に努めた。また災害発生時の安否の確認も行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・地域包括支援センター

●事業成果

各4戸の独居世帯に対し、12月3回、1月8回、2月4回、3月1回 除雪を実施し生活道路の確保に努めた。

支援者も高齢化してきており、平日は若い世帯の方からの支援が勤務の関係上、難しく負担が増してきている。一人暮らし高齢者及び高齢者世帯に対して安否の確認を行うことが出来た。

## 信濃2丁目町内会

福祉委員人数	12人	世帯数	523
--------	-----	-----	-----

### 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 7回
- 対象者 会長・町内会役員・福祉委員  
民生委員児童委員（対象40人）
- 目的 役員相互の情報交換、課題等の共有・資質向上

●実施事業

・福祉委員会（年7回）  
福祉活動の協議・検討、情報交換を密にして課題等の共有を行った。特に単身高齢者が長期間留守にする際は隣人、民生委員、担当地区福祉委員等にその旨知らせるよう勧めました。

- ・各種福祉研修会に参加  
知見を深め、資質向上に努めました。
- ・出前講座の開催  
今年は6月15日のふれあい交流会の1回だけでした。(救急カードについて)

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・市民病院地域連携課

●事業成果

福祉委員をはじめ、役員間の連携が深まり福祉活動が円滑に進められました。

高齢化に伴い福祉活動に対する関心が高まり、任務の重要性を共有し資質向上につながりました。

### 2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 通年
- 対象者 高齢者・障がい者（対象120人）
- 目的 要支援世帯・単身高齢者の状況把握

●実施事業

・要支援世帯台帳の作成（更新）  
要支援高齢者、単身高齢者、障がい者の状況把握のため情報交換を行いながら「要支援世帯台帳」を作成した。作成には常に最新の状況に努めた。

・75歳以上全員の台帳作成（更新）  
現状把握を容易にするため、75歳以上全世帯の台帳を作成し、日常的な活動に活用し異変の早期発見に努めた。特に健康状態・困りごとに気を配りました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

担当地区福祉委員と住民間に信頼感が深まり、情報が有効に活用されるなど福祉活動が円滑に進められました。

### 3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 3回（ふれあい交流会2回・敬老会）

- 対象者 ふれあい交流会（会員）（対象者 260人）
- 目的 仲間づくり、引きこもり防止、地域づくり

●実施事業

1. ふれあい交流会（前段1時間：出前講座、後段1時間：懇親会）
  - ・1回目 6/15（金）参加者60人  
出前講座（救急カードについて）
  - ・2回目 11/23（金）参加者57人  
出前講座（高橋紗里様の歌謡曲）
2. 敬老会  
開催に備え準備中であったが、9月6日の胆振東部地震発生と余震のため急きょ中止しました。

●連携・協力機関及び団体

社会福祉協議会

●事業成果

2回目ふれあい交流会では、町内会長の講話時間を設定し町内会の現況と近い将来を見据えた貴重な話をされました。町内会の防災、減災について会員加入率の低さの問題点、町内活動への積極的な参加、円滑な世代交代、町内活動の振興などについて話されました。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 通年
- 対象者 要支援高齢者/障がい者（対象者 30人）
- 目的 支え合い・見守り合い

●実施事業

- ・見守り、声かけ訪問  
福祉委員は担当地区の高齢者、要支援者、単身高齢者に対しては日常的な見守り、声かけ訪問を行い現状の把握に努めました。
- ・救急カード普及活動  
福祉委員は担当地区世帯ごとに必要数の救急カードを配りながら救急カードの意義、記入内容、119番への通報要領の指導又後日救急カードの設置を確認するなど徹底を図りました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・市民病院地域連携課

●事業成果

見守り声かけ訪問を行い孤立しない、させないを目指した環境づくりにつながりました。  
救急カードの効果及び必要性、重要性について理解を深めることができました。

信濃3丁目町内会

福祉委員人数	13人	世帯数	305
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 3回
- 対象者 福祉委員（対象者数15人）
- 目的 独居高齢者の近況（現況）の把握
- 実施事業

1. 福祉委員会：年3回実施（対番訪問者による近況情報の報告）
  - (1) 避難行動要支援者名簿確認、地域支援者16名
  - (2) 災害時避難行動要支援者名簿、個別計画推進16名（2名登録抹消）
  - (3) 福祉委員会にて計画  
除雪支援は滞りなく終了した。30年度7名支援者：11名、活動回数134回、延べ人数172名
2. 救急カード整備
  - (1) 福祉部・福祉委員が主体となり、会員・家族の60歳以上を対象に実施した。30年度：9名（転入者：1）対象 30年5月7日完了
  - (2) 記入後は、所定のケースに入れて玄関など見やすい場所に設置
  - (3) 個人情報の漏洩防止
- 連携・協力機関及び団体  
民生委員・社会福祉協議会・市役所
- 事業成果
  1. 福祉委員会の情報交換、福祉マップの修正
  2. 避難行動要支援者名簿、該当者：名簿の修正 死去2名、施設入居者1名。30年度12月市福祉課にて更新。現在：16名
  3. 救急カード賛同者は276名。30年度：9名

31年度は新規様式にて実施する。

#### 4. 除雪支援は喜ばれた

## 2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 2回（10月26日）
- 対象者 15名
- 目的 独居高齢者の近況（現況）の把握
- 実施事業

調査活動（実態調査）

1. 福祉委員会における、情報の共有、民生・児童委員参加
  - (1)各委員による対象者の近況発表、情報の共有
  - (2)対象者名簿の見直し
  - (3)避難行動要援護者名簿作成 修正・更新12月2名削除（死去に伴う）
  - (4)除雪支援の調査・計画7世帯に対し実施、民生委員を含め対象者を選定
  - (5)救急カード整備プランの計画・実施（60歳以上）新規登録者：9名
  - (6)胆振東部地震（2回）独居高齢者等の状況を戸別訪問して安全を確認した。

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・市役所

### ●事業成果

1. 対象者の近況を把握した
2. 除雪支援は感謝された
3. 救急カード整備は、今年度60歳以上9名該当した。（毎年度：60歳以上実施）
4. 「個別計画台帳」修正2名登録抹消された

## 3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 町内会行事による
- 対象者 招待者134名
- 目的 祝賀会（長寿を祝う会として）
- 実施事業 交流活動（ふれあい・かたらい）

1. 敬老会（9月18日）
  - (1)町内会高齢者（75歳以上）に招待状を121名に配布 参加者：44名
  - (2)芸能会・カラオケ・ビンゴゲーム等を実施
  - (3)女性役員等の手作り料理でもてなす
  - (4)参加できない招待者にお祝いの「赤飯」を配

付（77名）

#### 2. ふれあい餅つき大会（12月16日）

- (1)お年寄り・子供を対象（クリスマス会を兼ねて）
- (2)参加者67名（児童：23名、千子連：3名、父兄：14名、会員役員：27名）
- (3)クリスマス会、餅つき体験等盛大に実施。

#### 3. おたのしみサロン（年3回）出前講座、カラオケ

- (1)町内会自前サロン（カラオケ、各種ゲーム、麻雀、カード遊び）等
- (2)出前サロン（赤十字芸能団、スポーツ振興会）
- (3)各サロンには軽食（昼食）を準備した。

#### 4. パークゴルフ

5月、6月、7月、9月、の4回実施し平均13名参加 延べ52名参加

### ●連携・協力機関及び団体

千子連・振興会

### ●事業成果

1. 敬老会参加者：135名中44名が参加して、盛大に終了
2. ふれあい餅つき・子供クリスマス会は、大勢（67名）の参加で賑わった。
3. おたのしみサロンは町内の恒例となり、参加者は毎回楽しみにしている。
4. 出前講座「カラオケ」好評 次回も要望有り「赤十字芸能団」の支援受け
5. パークゴルフは月1回であったが、参加者は楽しみにしている。

## 4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 19回（除雪支援・降雪時を基準）
- 対象者 7名
- 目的 特に高齢者の災害時等避難経路確保・見守り

### ●実施事業

1. 独居高齢者宅の把握（見守り・防災・安全・その他）
  - (1)独居高齢者宅（障がい者を含む）の要除雪援護調査（民生委員）
  - (2)除雪支援計画：降雪時（11月下旬～3月）

- (3)降雪時（11月下旬～3月）の通路確保  
7世帯に対して、11名の協力者が実施した。  
（見守りを兼ねて）延べ134回、172人実施

## 2. 情報収集

- (1)除雪実施時に近況の掌握  
(2)日常の見守りの声かけ運動

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

### ●事業成果

1. 要除雪援護者7名への除雪支援  
支援者11による支援（延べ134回実施）
2. 要除雪援護者から感謝された。

# 信濃4丁目町内会

福祉委員人数	10人	世帯数	547
--------	-----	-----	-----

## 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 福祉部会同16回研修会1回
- 対象者 町内会役員・福祉委員  
民生児童委員（対象者数10人）
- 目的 福祉委員活動における役員の情報交換、共有、能力向上

### ●実施事業

- ・福祉委員（部）会同16回実施しました  
高齢者の実態把握と問題点の解明を図った。福祉活動の協議・検討及び高齢者世帯に対する情報の交換、課題の共有を行った。連絡事項、町内行事の先取りにより円滑化を図った。
- ・福祉研修会（1回）  
地域福祉の研修会に出席し、福祉活動に対する関心が高まった。  
※福祉委員の担い手がない。今後の活動に支障をきたすとともに、1人の活動に負担がかかる。（行事・福祉活動を削減するか）今後の大きな課題である。

### ●事業成果

- ・福祉委員同士の連携強化と情報の共有、福祉活動が円滑に進められました。
- ・福祉に関する知識の向上を図った。

- ・福祉便りを「サロン便り」で情報の提供を図りました。

## 2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者
- 目的 要支援世帯の状況把握
- 実施事業

- ・要支援台帳の作成

日常的な支援が必要な高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握するため、要支援者世帯台帳を作成し、台帳に基づき9月6日の地震時に見守りや声かけを行った。

- ・福祉マップの作成（更新）

高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握し、日常の見守りや非常時に備えた福祉マップを更新した。

- ・救急カード交付台帳の作成（更新）

町内会未加入の高齢者を、加入促進させるのが今後の課題である。

- ・避難カードの確認（避難行動要支援者名簿の共有）当初26名、現在12名 昨年14名

年々減少していく名簿を今後どのような形で維持、管理するか検討する必要有り。

### ●事業成果

要支援台帳、福祉マップ、救急カード等の更新により日常生活の見守りや声かけ訪問が円滑に行われるようになったとともに、災害時の備えにもつながっている。

## 3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 5月～10月まで毎日
- 対象者 町内在住者全員
- 目的 高齢者と子供の交流機会を提供する。継続的な健康づくりと地域のつながり。

### ●実施事業

- ・ラジオ体操（信濃第2公園）5月1日～10月31日。

健康づくり及び地域のつながり。

毎日実施、平均参加25名、中学生には町内

会長から感謝状と景品。

最高年齢 90 歳で元気貰います。子供を除く平均年齢は 79 歳。

夏休み期間中の子供ラジオ体操参加者が少なく平均 7 名、出席率の向上に工夫する。新 1 年生 3 名に対して皆勤賞として、町内会長から表彰と景品を渡した。

4 月 6 日（入学式）～5 月 12 日（町内花見）鯉のぼりを掲揚し、その下で実施するラジオ体操が好評である。最終日甘酒で次年度も元気で再会を誓い乾杯をした。

ラジオ体操以外にも体力増進の運動を考案し、参加者の健康管理に寄与したい。健康管理ばかりでなく、どのようにして楽しくできるか社協等の協力を得たい。

#### ・陽だまりサロン

毎月第 1・3 火曜日 個人宅を開放し実施。（担当 米満玲子）茶話会を中心としたゲーム、健康づくり、食事会、研修旅行等、サロン便りを 3 回発行した。

5 月 13 日：バス研修旅行～道の駅、サケふ化場（23 名参加）

陽だまりサロン 18 回実施、延べ参加人数 295 人

信濃 4 丁目の特性として、連合会館まで遠くかつ中央大通りを渡るので、皆躊躇する。特に高齢者は冬の横断は難儀のようである。今後、高齢者が増加するので、現在の状況では個人宅が限度である。連合会館で実施する場合、どのように対応するか検討すべきである。個人宅ということで、水道・光熱費等の維持管理負担が大である。

#### ・カラオケ同好会

歌を中心としたゲーム、食事会等

毎月第 2・第 4 火曜日、23 回実施した。延べ参加人数 345 人。連合会館で実施、嬉しいことに参加者が増えてきている。会館まで高齢者（足の不自由）の送迎を実施している。

#### ・さわやかパークゴルフ

健康と仲間づくりを行った。町内大会 2 回実施 36 名参加。同好会 6 回実施延べ 73 名参加。

移動手段（保険）を考慮すると、町内会会員の参加は限定される。心身ともにリフレッシュし、心地よい疲労感で大満足ですが参加者が限定されるのが悩みである。今後、他の地域の取組みを参考にしたい。

#### ・七夕まつり

7 月 7 日（土）信濃第 2 公園 60 名参加  
七夕の意味について

サロンの参加者に七夕の短冊、飾りを作成していただき子供達に喜んでいただいた。見守り隊の皆さん、子供達、保護者で短冊に願いを込めて飾りました。最後に花火を実施。お菓子のプレゼント。町内の児童（保護者）も参加してくれるので顔見知りになる。

#### ・クリスマスの集い

12 月 15 日（土）連合会館で実施。子供 24 名、大人 15 名参加。

見守り隊、子供、保護者によるクリスマスリース作り、ゲームで楽しんだ。大人も子供も物作りに夢中になり大好評で引続き実施したい。サンタからのプレゼントで解散。

#### ・高齢者の集い

10 月 13 日（土）64 名参加。食事会、余興、ゲームなど。手作り料理やなべを囲み皆さん大いに喜んでいただいた。案内状を担当者が安否確認をかねて 1 人 1 人声かけ、手渡した。

足の悪い人 7 名を送迎し参加の増加を図った。65 歳以上の方々に案内状を出しているが、毎年約 65 名前後であり参加者が限定されている。

#### ・日帰り旅行

7 月 21 日（日）岩見沢方面、大人 21 名、子供 3 名参加。バラ園、小林酒造、車中でゲーム  
次回は果物狩りを計画

#### ・対面式（子供と見守り隊の感謝の食事会）

3 月 9 日（土）連合会館で参加者 40 名

#### ・子供みこし

8 月 26 日（日）雨のため順延

#### ・鯉のぼり掲揚

4 月 6 日～5 月 12 日

### ●事業成果

健康増進と地域の絆作りに貢献した。

夏休み期間中は高齢者と子供たちの絆を深めました。高齢者の孤立防止につながった。参加者同士の交流になった。



#### 4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者・高齢者を介護する家族
- 目的 コミュニケーションを図り逐次会話を通じ生活環境、健康状態を把握するとともに要援護者の精神的空洞化を防止する
- 実施事業
  - ・一人暮らし高齢者  
一人暮らし高齢者世帯に対して、日常的な見守りや声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めるとともに除雪支援を実施した。
  - ・80歳以上の高齢者(プレゼント)  
毎月第一土曜日に福祉部全員でメッセージカードを添えて訪問。誕生プレゼント(82名)実施。安否確認や心配事の相談に努めました。
  - ・高齢者(入院を含む)を介護する家族(通年)  
家族との会話を重点に生活状況の相談を行った。
- 事業成果  
逐次会話を通じ生活環境・健康状況を確認する

とともに高齢者の孤立防止に努めた。

参加者同士の交流により近所づきあいのつながりに貢献しました。

プレゼントを楽しみに待っていてくれるので、福祉部員も大きな励みとなっている。

## 富士町内会

福祉委員人数	25人	世帯数	505
--------	-----	-----	-----

### 1 調査活動(実態把握)

- 実施回数 10回、(4月～3月)
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員・民生委員・老人クラブ役員
- 目的 福祉委員活動と役員間の情報共有、資質向上
- 実施事業
  - ・福祉委員会(年6回)  
福祉活動の協議、検討及び見守り世帯の情報交換、課題の共有。
  - ・介護研修会の実施  
認知症講座、介護予防、健康維持に関する研修会の実施。老人クラブと緊密にし研究会を実施。地域福祉に関する各研修会へ参加。

### 2 交流活動(ふれあい・語らい)

- 実施回数 7回
- 対象者 高齢者・子供と両親・老人クラブ
- 目的 連帯意識の醸成、町内会員の交流
- 実施事業
  - ・敬老会(1回)9月  
食事130食やイベント(北斗中リコーダー部・中野みどり社中日本舞踊)を実施し、福祉部等役員が送迎車両を5台手配し参加者の支援を行った。
  - ・ふれあい交流会(1回)10月2日  
日帰りバス旅行でばらと公園散策。49名参加
  - ・文化芸能発表会、10月21日  
カラオケ女性25名男子13名参加  
ハワイアンダンス、踊り、詩吟、特別出演「テ

ィチャーズ」、作詞家菊池勝氏で大変盛り上がった。

・餅つき交流会、12月16日（参加95名）

参加者97名のうち、子供の参加が55名、高齢者15名、その他25名。子供たちも餅をついた。餡餅を自分たちで包みお土産に渡し、雑煮をみんなで頂いた。

・芋植え収穫祭

5月4日に106名で芋の植え付けを行った。

9月30日に110名で収穫を行った。カレーライスを作り食事をし、子供たちは自分で収穫した芋をおみやげに持ち帰った。

・温もり弁当

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会

●事業成果

収穫祭や餅つき大会は、会員や子どもの参加も多く世代交流ができた。

すべてが会員に喜ばれ、待たれる事業となっている。

### 3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 10回、6月～3月

●対象者 独居32名・老世帯34名  
障がい者13名（対象者数124名）

●目的 要支援者の状況把握と安否確認

●実施事業

・安否確認訪問

福祉部主管（含民生児童委員）と福祉委員全員で支援の必要な高齢者世帯、障がい者の状況把握を行い、問題があれば会長へ連絡。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会

●事業成果

つくたての餅の配布は大好評であった。

## 長都駅前町内会

福祉委員人数	10人	世帯数	446
--------	-----	-----	-----

### 1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 12回

●対象者 町内会役員・福祉委員  
民生委員児童委員  
（対象者数25人）

●目的 福祉委員活動における役員間の  
情報交換・共有及び資質向上

●実施事業

・福祉委員会（毎月1回）

福祉活動について検討及び見守り世帯等に関する情報交換を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携強化につながり地域福祉活動が円滑に進められた。

### 2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者  
（対象者数55人）

●目的 要支援世帯の状況把握

●実施事業

・要支援世帯台帳の作成（更新）

日常的な支援が必要な高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握するため要支援世帯台帳を作成（更新）し必要に応じて見守りや声かけを行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

要支援世帯の状況把握により、日常の見守りや声かけ訪問が円滑に行われるようになったほか、災害時の備えにもつながっている。

### 3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 3回
- 対象者 高齢者・障がい者・子ども  
(対象者数 80人)
- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり、地域のつながりづくり

#### ●実施事業

- ・ふれあい日帰り旅行（年1回）  
福祉バスを利用して札幌円山動物園に行き高齢者と町内会員同士の交流を図った。
- ・夏祭り交流会（年1回）  
町内会の夏祭りに合わせて、町内会員、高齢者と子どもとの交流会を実施して地域のふれあいを図った。
- ・茶話会（年1回）  
町内会館を利用して食事会やゲーム等行いレクレーションを通じて地域のふれあいを図りました。

#### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会

#### ●事業成果

一人暮らし高齢者等の安否確認や健康状態、心配事の把握につながった。参加者同士の交流により近隣のつながりづくりになった。

### 4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者  
(対象者数 80人)
- 目的 地域の支え合い、連携意識の醸成を図り孤立防止につなげる。

#### ●実施事業

- ・見守り、声かけ訪問活動  
一人暮らし高齢者・障がい者世帯に対して、日常的な見守りや定期的な見守りや声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。
- ・生活支援活動  
一人暮らし高齢者及び障がい者世帯の状況把握に努め、買物や庭木の剪定などの生活支援

を行った。

#### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

#### ●事業成果

近隣住民にも協力をいただき、地域のつながりづくりと一人暮らし高齢者等の孤立防止につながった。

## 静和町内会

福祉委員人数	5人	世帯数	102
--------	----	-----	-----

### 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 12回
- 対象者 福祉委員・民生委員児童委員  
(対象者数 5人)
- 目的 福祉委員活動における情報交換・共有
- 実施事業
  - ・福祉委員会  
福祉活動の協議・検討及び情報交換を行った。
  - ・福祉通信「元気会だより」の発行  
福祉委員・民生委員児童委員の紹介、福祉情報・行事等のスナップ写真を掲載し周知を図った。
  - ・千歳市社会福祉大会参加

#### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

#### ●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携強化となり、福祉活動がスムーズに進められ、福祉活動に対する意識向上につながった。

### 2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 65歳以上の高齢者  
(対象者数 80人)
- 目的 高齢者世帯の状況把握
- 実施事業
  - ・高齢者名簿の作成

65 歳以上の高齢者世帯を把握して必要に応じて見守りや声かけを行った。

・救急カード設置確認

救急カードの備えをしているか再度声かけを行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

高齢者世帯の状況把握により見守りや声かけ訪問が円滑に行われるようになった。

### 3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 4回

●対象者 65 歳以上の高齢者(対象者 80 人)

●目的 孤立防止のための親睦と交流  
地域のつながりづくり

●実施事業

・日帰りバス旅行

当別町北欧の風道の駅、石狩市佐藤水産サーモンファクトリー、小樽市金融資料館、田中酒造本店等の見学を行った。

・秋のお楽しみ会

昨年に続き「静和おとなの学校」と銘打って北海道財務局より講師を招いて「金融犯罪被害にあわないために」の講義を受け、百歳体操、百人一首、合唱などを行った。

・町内合同による新年会

・春のお楽しみ会

ボウリング大会を実施し、ゲーム後は会館で会食を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・北海道財務局

●事業成果

財務局の講義は最近の犯罪テロや実際の犯人グループの録音テープを聞かせてもらい大変ためになる内容で、関心を努めた。参加人数が少ない行事でも遠出できない人が参加してくれるので良かった。

### 4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 65 歳以上の高齢者  
(対象者数 80 人)

●目的 安否確認と孤立防止

●実施事業

・見守り、声かけ訪問活動

年間を通じて行事案内、記念品等の配布時に訪問し安否確認と世帯状況の把握に努めた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

会話を通じ健康状況等を確認ができ、孤立防止につながった。

## おさつ団地町内会

福祉委員人数	10 人	世帯数	813
--------	------	-----	-----

### 1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 10 回

●対象者 町内会長・福祉委員・民生委員児童委員 (対象者数 16 人)

●目的 福祉委員活動における情報交換・共有事業の計画及び反省、学習会、福祉便りの発行。学習会、見学会を地域に知らせるとともに参加を促す。

●実施事業

1. 福祉部会

・福祉委員会と民生委員児童委員合同で事業の計画を協議・検討し当日の分担準備と事後の反省。年 6 回実施

・1 年間の活動を振り返って、来年度のより良い活動を考える。

2. 福祉だよりの発行

・行事を案内し参加を促す意図で発行する。部員の手配りも併用する。年 4 回

3. 学習会

・「認知症で困った時」脳の病気であること、予防のためのポイント。認知症の人への接し方、

状態にあわせた対応等を学びました。

#### 4. 見学会

- ・高齢者の福祉施設について 現地に行き「話を聞き、目で見て学ぶ」。グループホーム「かつらぎ」と介護老人施設「クリアコート」を見学。

#### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

#### ●事業成果

福祉委員と民生委員児童委員で活動の計画・協議をすることで理解が深まるとともに連携強化につながった。

行事参加依頼のために案内お便りを手渡すことで関係ができてきた。

## 2 調査活動（実態把握）

●実施回数 4回

●対象者 一人暮らし高齢者

●目的 高齢者名簿の作成、健康状態の確認

#### ●実施事業

- ・ひとり世帯・高齢者世帯の名簿作成

昨年四つの行事に参加した名簿をもとに今年度は更新し把握に努めた。

- ・各担当区の委員は名簿を整理、見守りをするこ

とで情報を記録した。

#### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

#### ●事業成果

行事参加で顔を合わせ、会話をすることが見守りや訪問することにもつながり関係が密になってきた。

## 3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 3回

●対象者 高齢者・老人クラブ・町内会役員（対象者100人）

●目的 福祉委員、民生委員児童委員と高齢者が触れ合うことでつながりづくり

#### ●実施事業

1. お楽しみ会

スコップをかき鳴らして唄い踊る「スコップ三味線」を見て聞いて楽しむ。演奏を聴くとともに歌を唄い楽しむ。

#### 2. いきいきライブ

マジックショー・懐かしい歌を鑑賞、軽食とおしゃべり、ビンゴゲームで触れ合いをもつ。（足の弱っている方はタクシーで送迎）

#### 3. もちつき

町内会の四つの部（福祉部含む）合同で年末餅つき大会をする。幼児から高齢者まで参加し昔ながらの餅つきを体験する。できあがった餅はみんなで食事会をし三世代交流を図る。

#### ●連携・協力機関及び団体

町内会役員・老人クラブ・子供と保護者

#### ●事業成果

役員間の協力、子供の餅つき、餅丸め体験、高齢者の昔培った技が発揮された。

タクシーを利用することで足の弱っている方も参加できた。

## 4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 数回

●対象者 高齢者・障がい者・ひとり世帯（対象者数100人）

●目的 孤立防止、声かけ訪問による見守り

#### ●実施事業

- ・孤立防止

一人暮らし、病気がち高齢者には気をつけて時おり見守り

- ・声かけ訪問による見守り

夫婦世帯でも片方が病気がちや、ともに弱ってきている家庭もあるので注意して見守りをする。

四つの事業に参加した方の名簿をもとに声かけ訪問を行う。その際町内で作成したポケットティッシュ、または名札、PRチラシ等を渡してコミュニケーションを図った。

#### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・介護予防体操参加者

## ●事業成果

毎週土曜日の介護予防体操に参加する方、協力する方なども含めて高齢者の体や心の変化が判るようになった。

# あずさ町内会

福祉委員人数	8人	世帯数	720
--------	----	-----	-----

## 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 4回
- 対象者 町内会長・福祉委員・民生委員児童委員（対象者数30人）
- 目的 福祉活動における情報交換と共有

### ●実施事業

- ・介護予防サロン

介護予防センターの指導で年2回の体力測定と体操指導の実施。週4回の体操、ウォーキング実施。

- ・福祉研修会

地域包括支援センターの協力で活動内容等の説明。

### ●連携・協力機関及び団体

老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター

### ●事業成果

地域福祉活動が円滑になり活動に関する関心が高まった。

## 2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者
- 目的 要支援世帯の状況把握

### ●実施事業

- ・日常的な支援が必要な世帯や障がい者の把握  
個人情報もありなかなか情報の収集が困難な状況である。
- ・高齢者世帯や障がい者の住居把握  
概ね掌握できたが新転入者においては不明

な点が多い。

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員、老人クラブ

### ●事業成果

個人情報保護のため全部の住人に対する調査はできなかった。

## 3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 各1回
- 対象者 町内会員（対象者数100人）
- 目的 町内会員の親睦と高齢者と町内会役員との交流

### ●実施事業

- ・敬老会（年1回）

町内会館で高齢者42名、スタッフ4名参加  
会食後ビンゴゲーム・カラオケ・大正琴コンサート等で楽しんだ。また地域包括支援センターの担当者からセンターの広報を実施。

- ・パークゴルフ大会

市内パークゴルフ場にて21名（男性15名女性6名）で実施。

- ・ボウリング大会

市内フジボウルにおいて37名（大人26名子供11名）で実施。

- ・オープンカフェ

9月に発生した地震により担当者不在となり中止

### ●連携・協力機関及び団体

老人クラブ・地域包括支援センター

### ●事業成果

高齢者同士や町内会員同士との交流ができ近隣のつながりになった。



## 富丘1丁目南町内会

福祉委員人数	2人	世帯数	86
--------	----	-----	----

### 1 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者(対象者数13人)
- 目的 被支援者との日常の意思疎通及び信頼関係の保持

#### ●実施事業

1. ひとり暮らし高齢者との会食の機会提供や給食提供による交流を3回実施した。
2. ひとり暮らし高齢者・障がい者への声かけと安否確認を月に2回実施した。
3. 氷柱などの危害予防の気配りでは月に数度町内の危険箇所の発見と対処をしました。
4. 冬期間避難経路維持のため、除雪支援6軒の実施及び支援担当者を確保した。
5. 高齢者世帯の実態調査を実施し、次年度に支援が必要と思われる会員を11人とした。

#### ●事業成果

民生委員、福祉部及び女性部の委員が定期的に被支援者を訪問した。

また、「いきいき100歳体操教室」を月に2回開催し高齢者を含み毎回12人程度の参加者があり盛況であった。「敬老会」は盛況に推移し問題なく終了した。今年度は特に大きな問題もなく順調に推移した。

## 富丘1丁目町内会

福祉委員人数	8人	世帯数	280
--------	----	-----	-----

### 1 調査活動(実態把握)

- 実施回数 該当者に対して年2～3回
- 対象者 ひとり暮らし高齢者  
障がい者世帯(対象数25世帯)
- 目的 該当世帯の把握と支援

#### ●実施事業

- ・訪問、調査

福祉委員が該当世帯を随時訪問し、異常の有無を把握した。また、非常時に備えて救助マップを作成した。

#### ●連携・協力機関及び団体

老人クラブ

#### ●事業成果

独居者、高齢者に特に重点を置き実施し把握ができた。

### 2 交流活動(ふれあい・語らい)

- 実施回数 各対象者に対して1回

- 対象者 60歳以上 231人  
75歳以上 94人  
80歳以上 11人

- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり  
長寿のお祝いと近況把握

#### ●実施事業

- ・日帰り旅行

高齢者を一日温泉旅行に招待し食事、温泉、カラオケ、ゲーム等を実施。

- ・敬老会

75歳以上の高齢者を敬老会に招待して祝った。

#### ●事業成果

孤立防止のため年1回の温泉旅行で楽しんでもらいました。また高齢者の近況を把握できた。

## 富丘2丁目町内会

福祉委員人数	9人	世帯数	240
--------	----	-----	-----

### 1 啓発活動(知る・知らせる)

- 実施回数 8回
- 対象者 町内会長・福祉関係役員・福祉委員・民生委員児童委員  
(対象者数12人)
- 目的 福祉委員間における情報交換・共有・資質向上等

## ●実施事業

### ・福祉委員会

福祉活動、事業等の協議、検討による計画の作成、日常活動における対象者世帯の情報を共有、活動上の課題等の情報交換による活動を容易にしています。

### ・福祉関連行事の広報

対象者宅を訪問し見守り、声かけによる現況把握と行事案内による参加の呼びかけを行っています。また「町内会だより」に福祉関連行事並びに町内会行事の案内、実施結果を広報しています。

### ・研修会等参加

福祉に関する研修会に参加を奨励し資質の向上に努めています。

## ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会

## ●事業成果

年間を通じて地域福祉活動を円滑に実践するために、福祉委員会の果たす役割は大きい。町内会・老人クラブとの連携に努めて行事等の共同開催や支援を行い地域に居住する人達とのつながりを深めることができました。

## 2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 ひとり暮らし高齢者  
(対象者数 27 人)

●目的 対象世帯等の状況把握

## ●実施事業

### ・要支援世帯一覧表の更新

一人暮らし高齢者等の転居、親族等の同居、新たな対象者世帯等の状況を把握して一覧表を修正して福祉委員等に情報の提供をし日常の見守り、声かけ等の活動を容易にしています。また対象者世帯の身边に変化が発生した場合は福祉委員会開催時に情報として共有されません。

### ・福祉マップの更新

一人暮らし高齢者、障がい者及び高齢者世帯

等の避難行動要支援者を含む対象とした展開図を修正し、福祉委員会を構成する町内会関係役員、民生委員児童委員、福祉委員に配布し、日常の活動に活用しています。

## ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・地域支援包括センター・市役所

## ●事業成果

年間を通じて対象世帯等の状況把握が容易となり、日常の見守りや地域近隣住人からの協力を得やすい環境づくりに努めました。福祉マップは災害時における備えとしています。

## 3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 11 回

●対象者 高齢者・児童及び家族、町内会員  
(対象者 100 人)

●目的 一人暮らし高齢者等の孤立防止と仲間づくり、地域のつながりづくりを深める。

## ●実施事業

### ・ふれあいサロン

千歳学出前講座受講：「カラーリング」高齢者及び会員（年 1 回）

3 年連続受講となり希望者も多く楽しく受講し交流を深めた。

### ・お楽しみ交流会

児童及び家族と会員、一人暮らし高齢者等との交流会、年 1 回、レクレーションによるゲームやダンス、抽選会等により交流を深めました。

### ・お楽しみ昼食会

一人暮らし高齢者との昼食会。年 1 回。

一人暮らし高齢者等を招待し福祉関係者と昼食会を実施、懇談やゲーム、カラオケ、楽器演奏等の余興等による交流で触れ合いと仲間づくりを進めました。

### ・町内会行事支援による交流

ラジオ体操、七夕祭り、子どもみこしや近郊で開催される日帰り旅行による親睦会等、年に各 1 回実施し各種行事により高齢者と地域の皆さんとの交流に努めています。

## ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・市役所

## ●事業成果

一人暮らし高齢者等の行事では、近況及び生活上の悩み等を共通の話題による、仲間意識づくりとふれあいを深めることにつなげております。

町内会行事では地域の人との交流する機会を多くすることに努めました。

## 4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 ひとり暮らし高齢者・障がい者  
(対象者数 28 人)

●目的 孤立防止につなげる地域の支え合い

## ●実施事業

・見守り、声かけ訪問活動

一人暮らし高齢者等世帯に対する日常の見守り、声かけは随時訪問により生活状況の把握を行い、健康及び生活等の現況把握に努めております。

生活上の問題点が有る場合には解決するための親身な相談に乗る等きめ細やかな対応により不安解消に努め信頼につなげています。

さらに、地域の近隣住民との協力も支え合いにつなげています。

・生活支援活動

一人暮らし高齢者世帯及び高齢者世帯等で除雪等の支援作業を実施しています。また、生活支援でゴミだし、買物等を必要と思われる場合実施を行っています。

## ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・地域包括支援センター

## ●事業成果

一人暮らし高齢者等の対象世帯の見守り声かけは、訪問もしくは機会があるごとに実施に努めており、地域住民のみなさんと地域一体となって孤立防止に努めています。

生活上の悩み等の相談には民生委員児童委員との連携をはかり迅速な解決に努めています。

# 富丘3丁目南町内会

福祉委員人数	7人	世帯数	250
--------	----	-----	-----

## 1 啓発活動(知る・知らせる)

●実施回数 4回

●対象者 町内会長・福祉委員・女性部他  
(対象者数 25 人)

●目的 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有、資質の向上

## ●実施事業

・福祉委員会、女性部合同研修会

年間及び月間行事・事業の概要検討と推進、日常の小さな情報でも研修会で発表して、情報の共有化を図った。

## ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

## ●事業成果

福祉委員同士及び女性部部員との連携強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められた。

## 2 交流活動(ふれあい・語らい)

●実施回数 21回

●対象者 町内会長、福祉委員、女性部他  
(対象者数 25 人)

●目的 福祉委員活動における委員間の情報交換・共有、資質の向上

## ●実施事業

・いどばた交流会

老人施設に寄贈する清拭用タオルを縫いながら、おしゃべり、クイズ、歌唱、お茶会を行い笑顔あふれるときを過ごす。5月に花見と12月に忘年会を実施した。

・一人暮らし高齢者へ暑中見舞い・年賀状発送  
高齢者になると年賀状を頂く枚数も少なくなることから喜ばれた。

・女性会員日帰り温泉バス旅行

送迎バスを利用し近郊の温泉で一日親睦を深めた。

## ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

参加者同士の近隣のつながりづくりに効果があった。

福祉委員及び女性部との連携強化につながり地域福祉活動が円滑に進められた。

## 富丘3丁目北町内会

福祉委員人数	4人	世帯数	161
--------	----	-----	-----

### 1 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施（18回）
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員・民生委員児童委員（対象者20人）
- 目的 地域の支え合い・連帯意識の醸成を図り孤独死防止につなげる。

●実施事業

- ・福祉委員会

高齢者、障がい者、一人暮らし世帯の状況を共有・把握するため委員会にて要支援台帳を作成（更新）し必要に応じて見守りや声かけを行います。

- ・見守り・声かけ訪問活動

日本赤十字・赤い羽根・歳末助け合いの募金の回収など福祉委員が中心になって行い、日常的な見守りや安否確認、健康状態の変化等の把握に努めます。

- ・いきいき百歳体操の実施（月2回 第2・第4金曜日）

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会

●事業成果

福祉委員、民生委員の連携強化につながり情報の共有ができた。町内会全体の福祉に対する意識向上につながった。

### 2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 2回

- 対象者 75歳以上の高齢者・子ども・子育て中の夫婦（対象者数120人）
- 目的 町内会に対する長年の功績への感謝・長寿の祝い・親睦交流・小学生以下の子供と親のゲーム・カラオケ・ツリーの飾りつけ

●実施事業

- ・敬老会

9月27日は平日でしたが30人集まり女性部の手作り料理を喜んでくれました。実家に帰ってきたようにうれしいとの言葉に、長寿を喜び合いました。

- ・子供クリスマス会（1回）

12月3日町内会の小学生以下の子供と幼児と両親を招いてゲーム、ツリーの飾りつけ、サンタさんからのプレゼント、カラオケなど大いに盛り上がりました。子供23人、大人18人。

- ・見守り声かけ訪問活動

一人暮らしの高齢者世帯や高齢者夫婦世帯に対して日常的な見守りや定期的な声かけ訪問を行い安否確認と世帯状況や健康状態等の把握に努めた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

高齢者の方々には大変喜ばれ、町内会への理解も深まった。

子ども達も若い世代の大人も一緒になって盛り上がりました。

定期的な福祉委員会での活動により福祉委員同士と民生委員との連携強化につながり意識向上にもなった。

## 富丘4丁目東町内会

福祉委員人数	7人	世帯数	200
--------	----	-----	-----

### 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 4回
- 対象者 町内会長・福祉委員

民生委員児童委員（対象者数 11人）

●目的 福祉委員活動における役員間の情報交換、共有、資質向上

●実施事業

・福祉委員会（年4回実施）

福祉活動の協議・検討及び見守り世帯等に関する情報交換、福祉活動間に発生した問題について町内会長、民生委員児童委員と話し合いを共有した。

・福祉イベント等の案内

4月定期総会時及び総会終了後の各家庭への回覧板で福祉委員、民生委員児童委員の周知イベントの実施前は全会員宅に回覧板をまわす。（一人暮らし高齢者宅は個別配付）。町内会行事、親睦会等へ福祉委員が参加の声かけを実施。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

町内会長、民生委員児童委員及び福祉委員間の連携強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められるようになった。

福祉活動に対する関心が役員間でも高まり、関係者の資質向上につながりました。

## 2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢世帯 障がい者世帯（対象者数 80人）

●目的 要支援者世帯の状況把握、一人暮らし高齢者の孤独死防止につなげる

●実施事業

・要支援者台帳の作成（更新）

日常的な支援が必要な一人暮らし高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握するため、要支援者世帯台帳を2回作成（更新）し、年間を通じて見守りや声かけを行いました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・市役所

●事業成果

要支援者世帯等の状況把握により、日常の見守りや声かけ訪問が円滑に行われるようになり、胆振東部地震の際は安否確認、避難所への誘導等がスムーズに行われた。

## 3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 60回

●対象者 65歳以上高齢者、障がい者、子ども（対象者数 240人）

●目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり地域のつながりづくり

●実施事業

・介護予防サロン

いきいき百歳体操、毎週水曜日、年50回実施。

参加者合計 547名

茶話会・ゲーム 体操終了後年3回実施。

参加者合計 51名

・ふれあいサロン

高齢者を対象とした介護予防教室（テーマ：介護保健施設、高齢者施設の選び方）

講話終了後：食事会、カラオケ等を実施 年1回  
参加者 32名

・おたのしみ交流会

町内会行事（一人暮らし高齢者や子供たちとの交流を重視、会員相互の親睦交流を深めた）

夏休みに町内会の公園を利用して、子供たちと高齢者でラジオ体操会。7日間実施

女性部でふれあい日帰り旅行：施設見学・入浴・昼食会 年1回実施

町内会親睦会（カローリング）を実施後親睦会 年1回実施

餅つき：餅つき終了後に昼食会、茶話会、カラオケなど。 年1回実施

●連携・協力機関及び団体

地域包括支援センター

●事業成果

一人暮らし高齢者等の安否確認や健康状態等の把握につながりました。

参加者（会員）同士の交流により、近隣のつながりができ、高齢者の閉じこもりが少しずつ解消

されていきます。

## 4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者、障がい者(対象者38人)
- 目的 地域の支え合い、連携意識の醸成をはかり孤立防止につなげる。

### ●実施事業

- ・見守り、声かけ訪問活動

一人暮らし高齢者世帯等に対して、日常的な見守りや定期的な声かけを行い、安否確認と世帯状況の把握に努めました。

- ・生活支援活動

一人暮らし高齢者及び障がい者世帯の状況把握に努め、買物、病院の送迎、除雪等要望のあった支援に対して可能な範囲の生活支援を行いました。

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・地域包括支援センター・社会福祉協議会

### ●事業成果

近隣住民(会員)にも協力をいただき、会員同士のつながりもでき、一人暮らし高齢者等の孤立防止につながりました。

町内会も高齢化が進み、支援希望者は増加していますが支援協力者は少なく、一部の支援協力者に負担がかかり、今後は町内会活動による支援活動がますます難しくなると考えられます

## 富丘西町内会

福祉委員人数	5人	世帯数	155
--------	----	-----	-----

## 1 啓発活動(知る・知らせる)

- 実施回数 4回
- 対象者 町内会長・民生委員・福祉委員  
総務部長(対象者数8人)
- 目的 福祉活動における各種情報交換及び情報の共有
- 実施事業

- ・福祉委員会

一人暮らし高齢者に対する情報交換等を実施しました。

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

### ●事業成果

一人暮らし高齢者に対する情報交換を共有することができました。

一人暮らし高齢者の孤立防止につながりました。

## 2 調査活動(実態把握)

- 実施回数 6回
- 対象者 高齢者(対象者数25人)
- 目的 ひとり暮らしの高齢者の見守り
- 実施事業 家庭訪問及び声かけを実施しました。
- 連携・協力機関及び団体 民生委員児童委員
- 事業成果 安否確認ができました。

## 3 交流活動(ふれあい・語らい)

- 実施回数 1回
- 対象者 町内会員(対象者数42人)
- 目的 町内会員相互の融和親睦交流を深める。
- 実施事業
  - ・町内会ふれあい日帰り旅行 全世帯を対象として参加希望者を募集し観光及び食事会を実施しました。
  - ・交流会 定期総会終了後、交流会を実施し、町内会員相互の融和・親睦交流を深めた。
  - ・ささやかなプレゼントを贈呈 高齢者に対するプレゼントを通じて、安否確認、あわせて健康状態の把握を実施しました。
  - ・介護予防サロン(実施回数46回) いきいき百歳体操及びノルディックウォーキング等を実施するとともに、2ヶ月ごとに交流会を開き親睦を図りました。

・敬老会

対象者リストを整備するとともに、町内会会員間の親睦を図る。

●事業成果

安否確認及び生活状況の把握等、各種情報を収集することができました。当活動を通じて、より安心できる生活環境づくりにつながりました。介護予防サロンに参加し、「体力がついた」「外出する機会が多くなった」「知り合いが多くなった」「楽しみが増えた」など会員同士の交流が図られました。高齢者の現状（出席者 30 名）を把握することができました。高齢者と町内会員間での親睦が図られました。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 降雪時に実施

●対象者 一人暮らし高齢者（対象 8 人）

●目的 除雪支援を実施することにより、高齢者の除雪負担の軽減等をはかる。

●実施事業

・除雪支援活動

12 月上旬から翌年 3 月まで、除雪支援を実施し生活道路を確保しました。

●連携・協力機関及び団体

市役所

●事業成果

高齢者宅の除雪負担（除雪費用等）の軽減が図られました。町内会会員間での「たすけあいの精神」等の向上が図られました。

末広東町内会

福祉委員人数	8 人	世帯数	749
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 12 回

●対象者 町内会役員・民生委員・福祉委員（対象者数 30 人）

●目的 地域福祉の推進

●実施事業

・福祉会議

役員会、老人クラブの例会等の機会において役員等が出席した福祉関係の会議及び研修会等の報告を行うとともに、一人暮らし高齢者、障がい者等の情報共有を図り、必要により支援のあり方等について検討した。

町内会長及び民生委員児童委員が隔月で参加しているグループホーム末広の包括連携推進会議の内容についての報告を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・地域包括支援センター

●事業成果

福祉関係の実態把握と情報の共有化を図ることができた。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 3 回

●対象者 町内会員等、70 歳以上高齢者、一人暮らし高齢者及び子ども

●目的 幅広い年代層で健康増進と会員間の世代交流、長寿のお祝い  
日本伝統の食文化の伝承と世代間の交流

●実施事業

・ミニ運動会と懇親会

平成 30 年度の事業は中止となった。

・町内敬老会

回覧の他、福祉委員が分散して、声かけと安否確認を行い対象者宅に訪問するなどして案内を行なった。

女性部が中心となり準備した暖かい手料理や弁当を皆で食べながら楽しく交流した。

食事をとったあと、介護予防リーダーの役員を中心に、参加者全員で百歳体操も行った。

次年度以降の参加者増に向けての近隣の対象者にも声かけをしていただくよう啓発した。

・世代間交流餅つき大会（町内会館）

高齢者が子ども達に餅のつき方と作り方等を伝え、一緒に食事をする事で世代間の交流

を図った。参加ができなかった会員（一人暮らし高齢者等）に対し、福祉委員等がついた餅を自宅に届けながら安否確認をかねた声かけを行った。

●**連携・協力機関及び団体**

民生委員児童委員・老人クラブ

●**事業成果**

ミニ運動会と親睦会は台風 25 号の接近で中止した。長寿を祝う機会とともに、参加者間の交流によるつながりと健康づくりに効果があった。餅つきを通じて世代間交流を図ることができた。また、一人暮らし高齢者に餅を届けることで健康状態や暮らしぶりを確認できた。

## 末広中区町内会

福祉委員人数	8 人	世帯数	400
--------	-----	-----	-----

### 1 交流活動（ふれあい・語らい）

●**実施回数**

3 回

●**対象者**

75 歳以上高齢者（対象者 72 人）  
65 歳以上独居高齢（対象者 22 人）  
除雪支援の方達

●**実施事業。**

- ・敬老会（参加者 41 名）平成 30 年 9 月 29 日（土）  
例年同様、高齢の方々に敬意を表すために食事・余興（スコープ三味線）・ゲーム等を行い、互いに語らいふれあい楽しいひと時を過ごしていただきました。
- ・昼食会（参加者 18 名）平成 30 年 6 月 17 日（日）  
例年同様に高齢者の皆様を対象として、食事会・ゲームを実施してお互いの親睦を深め楽しいひと時を過ごしました。
- ・除雪慰労会（参加者 16 名）平成 30 年月 24 日（日）  
除雪支援の担い手の皆様の慰労並びに反省会を実施し、併せて情報交換等を行った。

## 花園町内会

福祉委員人数	9 人	世帯数	1100
--------	-----	-----	------

### 1 調査活動（実態把握）

●**実施回数**

通年

●**対象者**

ひとり暮らし高齢者等  
（対象者数 100 人）

●**目的**

一人暮らし高齢者等の実態把握

●**実施事業**

町内の一人暮らしの高齢者・障がい者等の要援護者・世帯の実態を調査・把握し、随時資料の更新を行い、地域での見守り等の体制づくりの資料として活用している。

●**事業成果**

日頃から要援護者の実態を正確に把握していることで、平常時・災害時に対応でき、見守り体制等の確立もできる。

### 2 交流活動（ふれあい・語らい）

●**実施回数**

2 回

●**対象者**

高齢者・現役と子ども達の三世代  
（対象者数 2,000 人）  
70 歳以上高齢者（対象者数 400 人）

●**目的**

三世代間交流を行うこと  
高齢者の長寿を祝いし交流する

●**実施事業**

①三世代交流「餅つき大会」

平成 30 年 7 月 7 日（土）に実施。参加者は約 150 人

臼と杵での餅つきで、子ども達も餅をついたり丸めたりして、楽しく三世代間の交流を図りました。

②敬老会

平成 30 年 9 月 30 日（日）に実施。参加者は約 90 人。

高齢者の長寿を祝い、懇親・交流を図り、アトラクション・食事を楽しんだ。

●**事業成果**

三世代の交流「餅つき大会」は三世代の交流・

親睦が図られ、敬老会では大変盛り上がり楽しいひと時となった。

## 高台町内会

福祉委員人数	15人	世帯数	435
--------	-----	-----	-----

### 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 12回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員・民生委員児童委員（対象者数15人）
- 目的 各福祉事業に対する研修及び福祉活動における役員間の情報交換・共有、資質の向上を図る

#### ●実施事業

- ・福祉委員会  
年間福祉事業計画の協議・検討・実行  
福祉活動の情報交換・情報の共有
- ・福祉研修会  
新任福祉委員の研修  
災害時要援護者避難支援プラン個別計画の周知
- ・平成30年度は毎月定例の委員会を開催し、情報の交換・共有ができました。

#### ●事業成果

福祉委員、民生児童委員間の連携が図られ、計画した福祉事業が展開できた。福祉活動への興味・関心が高まり、研修などを通じて一層の資質の向上が図られた。

福祉委員が不足しているため育成が必要である。今後も定例会が開催できるように検討する。

### 2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 4回
- 対象者 高齢者・独居・障がい者等（対象者数150人）
- 目的 要支援世帯の状況把握

#### ●実施事業

- ・要支援世帯台帳及び福祉マップの作成（更新）  
見守り世帯（高齢者・独居・障がい者等）の

個別台帳の更新。台帳更新の再調査のやり方、新規個別台帳の作成のための情報共有を行った。

#### ●事業成果

災害時要援護者避難支援プラン個別計画を毎年更新しているが、支援要請者が14名と少なく、今後は追加支援要請者の把握について調査・検討していく必要がある。

昨年の災害時要援護者避難支援プラン個別計画策定に当たり、見守り世帯の把握をしたが、把握が十分でなかったことから、継続して調査を実施する。

### 3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 5回
- 対象者 高齢者・障がい者・子ども・会員（対象者数400人）
- 目的 高齢者の孤立防止、障がい者とのふれあい、仲間作り、世代間交流

#### ●実施事業

- ・高台夏祭り・盆踊り（8月4・5日、延600名参加）

昭和35年から実施している町内最大の行事で、高齢者の孤立防止、仲間づくり、世代間交流を図った。

- ・高台ふれあいデー（11/22日帰り旅行35名参加  
3/24いも餅作り16名参加）

平成21年から高齢者との茶話会を実施し、平成25・26年は聴覚障がい者から手話の受講、平成28・29・30年度はみんなでなにかをつくる、経験者（お年寄り）からの直伝で未経験者（子供たち）に教え・伝えるコミュニケーションを図る交流を取り組みました。

- ・敬老と感謝の集い（10月28日43名参加）

平成26年から復活した事業で、高齢者の孤立防止、仲間作りに努めました。

- ・ふれあい餅つき（12月23日54名参加）

子ども達の思い出作りと高齢者から子ども達へ、餅の作り方を伝授し、世代間交流を図った。12月28日に子ども会代表から鏡餅を市長に贈呈した。

・新年会（1月20日）

花園コミセンにて70名の参加を得て開催し、世代間交流、仲間づくり、孤立防止を図った。

### ●事業成果

いずれの事業も高齢者の孤立防止、障がい者とのふれあい、仲間づくり、世代間交流を主眼に実施しており、楽しく仲間づくりやコミュニケーションが図られた。

昨年のふれあいデーは2回の開催であったが初期の目的が達成できた。

参加者をより増やすために、他の専門部とも連携し多くの人に呼びかけをする。

## 東高台町内会

福祉委員人数	1人	世帯数	86
--------	----	-----	----

### 1 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 1回

●対象者 高齢者（対象者数150人）

●目的 町内会員のふれあい、語らい

### ●実施事業

夏祭りにより帰省中の子供達とのふれあい、住んでいる人たちとの語らい、そして夏の一夜の思い出づくり。

### ●連携・協力機関及び団体

社会福祉協議会

### ●事業成果

大成功でした。各所で昔話に花が咲きました。

## 稲穂町内会

福祉委員人数	47人	世帯数	634
--------	-----	-----	-----

### 1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 6回

●対象者 町内会長・役員・福祉委員  
民生委員児童委員（対象者42人）

●目的 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有、資質向上

### ●実施事業

・福祉委員会（年5回）

福祉活動の協議・検討及び一人暮らし見守り世帯等に関する情報交換、課題の共有を行った。

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

### ●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携強化及び意思の疎通につながり、町内の福祉活動が円滑に進められた。

## 2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者  
（対象者数339人）

●目的 高齢者世帯等の状況把握

### ●実施事業

・高齢者等名簿の作成（更新）

一人暮らし高齢者世帯（65歳以上）、70歳以上の高齢者世帯及び障がい者世帯の状況を把握するため、高齢者等名簿を作成（更新）し、必要に応じて見守りや声かけを行った。

・福祉マップの作成（更新）

高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握し、日常の見守りや非常時に備えた福祉マップを作成（更新）した。

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

### ●事業成果

高齢者世帯等の状況把握により、日常の見守りや声かけ訪問が円滑に行われるようになり、災害時等の備えにもつながっている。

## 3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 1回

●対象者 高齢者・障がい者・子ども会  
（対象者数72人）

●目的 高齢者の孤立防止と三世代による地域のつながりづくり

## ●実施事業

- ・三世代交流会（1回）

敬老の日にちなみ、大正・昭和・平成生まれの三世代による交流会を実施しました。会食、芸能（舞踏等）発表、室内ゲーム、歌謡発表等を実施し敬老の日のお祝いと子供たちとの触れ合いができました。

## ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

## ●事業成果

一人暮らし高齢者等の安否確認や健康状態心配ごとの把握につながった。

## 4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者  
(対象者数 36人)

●目的 地域の支え合い、連帯意識の醸成を図り孤立防止につなげる

## ●実施事業

- ・誕生祝い贈呈、見守り、声かけ訪問活動

一人暮らし高齢者に対し誕生祝の贈呈の際、見守りや声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。

- ・安否確認組織図の作成（更新）

地震等が発生した場合の一人暮らし高齢者世帯の安否確認担当者を決め、連絡・確認手段を確立した。

- ・除雪支援活動

一人暮らし高齢者等、必要な世帯に対して冬期の除雪支援を実施した。

## ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

## ●事業成果

近隣住民にも協力をいただき、地域とのつながりづくりと一人暮らし高齢者等の孤立防止につながった。



# 清流町内会

福祉委員人数	24人	世帯数	1300
--------	-----	-----	------

## 1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 4回

●対象者 町内会長・福祉委員・民生委員児童委員（対象者数 24人）

●目的 福祉委員間の情報交換・共有、識見向上を図る

## ●実施事業

- ・福祉委員会（定例会議）

担当地区（1丁目～8丁目）での活動の情報交換、問題点の討議。福祉の現状、見守り声かけなどの課題共有を行った。

- ・福祉マップ

福祉マップでの一人暮らし世帯、高齢者、避難行動要支援者宅の把握（追加、訂正、削除など）

- ・福祉研修会などへの参加

市、社会福祉協議会主催の勉強会や講座（地域懇談会、ちとせ福祉フォーラムなど）へ出席。（数名程度）

## ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター・市役所・老人クラブは「清流親和会」と連携。

## ●事業成果

小地域の高齢者数などにも差があるが概ね情報の共有はできている。また町内会行事（夏祭り、もちつき大会、敬老会）への委員の参加協力が高まっている。

## 2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 サロンは年6回 敬老会、食事は各1回

●対象者 高齢者（延べ対象者数 190人）

●目的 ひきこもり、認知症予防  
仲間とのふれあい

## ●実施事業

・“ふれあいせoiriゆう”サロン活動

おしゃべりを中心にお茶と駄菓子で2時間余りを過ごす。(軽いストレッチ、脳トレ、漢字、ことわざ、パズルクイズなど)笑顔で楽しく過ごせる時間を共有できている。

・敬老会(年1回)

10月に実施し、会食・余興・ビンゴゲーム(景品付)で60数名の参加があった。

・一人暮らし高齢者との食事会(年1回)

もちつき大会と連動してつきたて餅の雑煮を用意。若い親子に餅のまるめ方などを教えたりして交流を図った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

サロン活動は定着し高齢者の触れ合いの場となっている。「脳トレ」に来ましたという高齢者もいて体と心の両面からのトレーニングは認知症の予防になっていると思う。

### 3 在宅福祉サービス活動(支え合い)

●実施回数 通年

●対象者 一人暮らし高齢者・障がい者  
(対象者数40人)

●目的 一人暮らし高齢者の引きこもりと孤立防止、困り事、悩み事の発見と相談、支援

●実施事業

・見守り、声かけ活動

基本的な日常活動として特に一人暮らし高齢者(障がい者)宅への訪問が中心。安否確認と緊急連絡先、救急カードなど状況把握を実施。

・一人暮らし高齢者宅訪問、食事会の実施

町内会の「もちつき大会」の日につきたて餅とクリスマスプレゼントを用意し届けている。このとき本人の近況、体の具合や除雪等の相談にのり感謝されている。(このふれあい訪問は食事会に来られなかった人を対象としている)

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・地域包括支援センター

●事業成果

孤立・引きこもり・認知症・介護の防止につながっている。安否確認、離れて暮らす娘、息子の所在等の聞き取りは緊急時の対応に役立っている。

## 青葉2丁目町内会

### 1 啓発活動(知る・知らせる)

●実施回数 月1回

●対象者 町内会長・総務部長・民生委員  
(対象者数43人)

●目的 役員間の情報交換及び各資料の配布

●実施事業

各資料の配布と同時に声かけ運動を行いました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・地域包括支援センター

●事業成果

福祉活動として関心が高まり活動が円滑に進んだ。

### 2 交流活動(ふれあい・語らい)

●実施回数 月4回(年間48回)

●対象者 60歳以上の高齢者(対象者数46人)

●目的 健康増進と孤立防止

●実施事業

いきいき百歳体操の実施と年4回の茶話会の集いの実施。

●連携・協力機関及び団体

老人クラブ・地域包括支援センター

●事業成果

閉じこもり防止及び健康状態の確認ができて他と同時に参加者の交流も生まれた。

# 青葉3丁目町内会

福祉委員人数	3人	世帯数	165
--------	----	-----	-----

## 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 3回程度
- 対象者 町内会員（対象者数60人）
- 目的 総会・敬老会・新年会等において福祉部の重要性を理解させる

### ●実施事業

多くの会員が集まる行事において福祉についての町内の抱える問題点等を周知することで、会員相互の福祉のおかれている現状を理解してもらおう機会となった。

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

### ●事業成果

福祉に対する理解浸透が図られた。福祉委員と民生委員との連携が図られる。

## 2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・独居老人（対象者数10人）
- 目的 町内に見守りが必要な会員の把握

### ●実施事業

- ・福祉委員会にて対象者の把握
- ・対象者の訪問調査
- ・民生委員との意見交換

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

### ●事業成果

町内見守り希望者を見出すことで、孤独感を少なくさせることができた。福祉の重要性を他の会員が理解するきっかけになった。

## 3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 3回
- 対象者 独居老人（対象者数10人）

- 目的 会員同士の交流により孤独感を忘れさせる

### ●実施事業

- ・一人暮らし高齢者が参加できるパークゴルフでの交流等（6/23）
- ・夏季ラジオ体操の参加（幼児から高齢者までおよそ30名参加）延べ10日間

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

### ●事業成果

高齢者が好きな運動等で顔を合わすことでコミュニケーションが図られ、町内会に対し気軽に気持ちを表すことにつながった。

## 4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 独居老人（対象者数4人）
- 目的 地域の支え合い

### ●実施事業

- ・見守り、声かけ訪問
- ・誕生日の贈り物を届け、町内行事に合わせ差し入れ
- ・日常生活の手伝い

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

### ●事業成果

声かけすることで、信頼関係が築かれた。困ったことが気軽に相談できた。活動内容を役員会議等で周知することで、福祉に対する会員の意識向上が図られた。

# 青葉4丁目町内会

## 1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 1回
- 対象者 高齢者、障がい者、子供
- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり地域のつながりづくり

### ●実施事業

- ・ふれあい日帰り旅行

温泉施設の利用を通じて入浴、飲食、カラオケ、ビンゴゲーム等で体を癒し、普段の疲れを取り楽しく会員間の融和と交流を深め合わせて高齢者世帯等の現状把握につながり大変有益な事業でした。

●事業成果

事業の目的を十分に活用・把握ができ、会員も大いに満足を得、今後の町内会活動と会員の融和につながり成功裡に終了しました。

## 青葉5丁目町内会

福祉委員人数	3人	世帯数	130
--------	----	-----	-----

### 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 15回程度
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員・民生委員（対象者数20人）
- 目的 福祉委員活動における役員間の情報交換の共有、資質向上
- 実施事業
  - ・福祉委員会  
福祉活動の協議、世帯等に関する情報交換
  - ・福祉便りの発行（老人クラブとして）  
毎月1回発行
  - ・交通安全啓発  
全員：春2回（4/10、4/11）秋2回（9/26、9/27）  
福祉委員2名：週2回子供の交通安全見守りをしている。
- 連携・協力機関及び団体  
民生委員児童委員・老人クラブ・交通安全課

### 2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者（対象者数34人）
- 目的 要支援世帯の状況把握
- 実施事業  
要支援世帯台帳を作成。高齢者や障がい者には日常的に支援をしている。
- 連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

### 3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 115回
- 対象者 高齢者、子供（対象者数48人）
- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり
- 実施事業
  - ・ふれあいサロン（老人会）毎月第2木曜日実施
  - ・いきいき百歳体操、毎週火曜日・金曜日、月8回、年間96回実施
  - ・夏休み中ラジオ体操15日間実施
  - ・日帰り旅行、一泊旅行
  - ・パークゴルフ、バーベキュー、カラオケ、ゲーム、そば打ちなど実施
- 連携・協力機関及び団体  
民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会

### 4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者（対象者数40人）
- 目的 地域の支え合い、連帯意識の醸成を図り孤立防止につなげる。
- 実施事業
  - ・見守り、声かけ訪問活動を行い、安否確認を行っている。
  - ・生活支援活動 一人暮らし高齢者や障がい者宅の雪かきや買物、ゴミ出しの支援をしている。
- 連携・協力機関及び団体  
民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会



# 青葉6丁目町内会

福祉委員人数	6人	世帯数	115
--------	----	-----	-----

## 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 20回
- 対象者 高齢者・障害者（対象者数56人）
- 目的 地域の支え合い
- 実施事業
  - ・見守り、声かけ活動  
一人暮らしの高齢者に対して日常的見守り、声かけを行った。
- 連携・協力機関及び団体  
民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会
- 事業成果  
福祉委員同士及び民生委員児童委員との連帯強化に繋がり、地域福祉活動が円滑に進められた。

## 2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者（対象者数30人）
- 目的 要支援世帯の状況把握
- 実施事業
  - ・福祉マップの更新（更新）
- 連携・協力機関及び団体  
民生委員児童委員・老人クラブ
- 事業成果  
日頃の見守りや声かけ訪問が円滑に行われるようになった。

## 3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 40回
- 対象者 高齢者、子供（対象者数100人）
- 目的 地域のつながり
- 実施事業
  - ・老人クラブ「きらく会」  
お喋り、食事、カラオケ、麻雀、囲碁
  - ・お楽しみ交流会  
夏祭り、バーベキュー、ゲーム、レクリエー

ション、ビンゴゲーム等。

- ・いきいき百歳体操  
1ヶ月、2回実施

### ●事業成果

老人クラブ、町内事業、いきいき百歳体操などに参加し、体を動かしながら楽しく活動ができた。

## 4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者（対象者数23人）
- 目的 孤立防止。
- 実施事業  
福祉サロン、いきいき百歳体操への積極的な声かけをし、一人暮らし家庭への除雪支援を行った。
- 事業成果  
高齢者への記念品の配布、事業への参加呼びかけを行い、一人暮らし高齢者への孤立防止のため除雪支援を行った。

# 青葉丘町内会

福祉委員人数	5人	世帯数	178
--------	----	-----	-----

## 1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 各年1回
- 対象者 町内会会員・高齢者（対象者数100人）
- 目的 三世代の交流、地域のつながり
- 実施事業
  - ・ふれあい屋外会食会  
屋外バーベキューを通じて、高齢者から幼児まで幅広い交流と、隣近所を誘い合い近況の確認と合わせて高齢者の出不精等の解消にもなりました。
  - ・子供みこし  
日本古来の文化を次世代に伝え、子供同士、子供を通じて保護者等の交流の場にもなった。
  - ・高齢者等会食会  
9月に胆振東部地震災害が発生しましたので、町内会会員では被害がありませんでしたが、

親戚や友人・知人が被害にあわれた会員もおられたようで自粛中止しました。

・ふれあい餅つき

高齢者の方々が持っている特技を若いお母さんお父さんや子ども達に、体験を通じて伝えるとともに、三世代の交流を図りました。また、町内会長と民生委員が 80 歳以上の一人暮らし高齢者を訪問し、つきたての餅か赤飯を届け近況や困り事がないか確認した。

・ふれあい日帰り旅行

観光施設見学やパークゴルフをした後、温泉に入るなどし心身のリフレッシュ。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・女性部・福祉委員会

●事業成果

高齢者相互の親睦と安否確認につながり、参加者間の交流が深められた。

特に 80 歳以上の一人暮らし高齢者の近況と困り事等がないかの確認をすることができました。



## 2 在宅福祉サービス活動(支え合い)

●実施回数 3回

●対象者 高齢者・障がい者  
(対象者数 80 人)

●目的 民生委員児童委員、福祉委員、女性部の福祉情報の周知。

●実施事業

・訪問、電話活動、福祉情報のお知らせ

行事への出欠確認時に困りごとや健康状態を確認することができた。

餅つき行事の際、参加できなかった 80 歳以

上の独居高齢者に食事等を届けるとともに、健康状態や困りごとの近況把握をした。

民生委員児童委員による地区民生委員だよりと救急カードの更新等の確認と啓発。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・福祉委員会・女性部

●事業成果

行事への誘いや食事等を届けた時の会話から近況・困りごとなどの有無を把握することができた。

## 住吉 2 丁目町内会

福祉委員人数	2 人	世帯数	57
--------	-----	-----	----

### 1 啓発活動(知る・知らせる)

●実施回数 10 回

●対象者 町内会長・福祉委員・民生委員児童委員(対象者数 10 人)

●目的 福祉委員活動における役員間の情報交換等

●実施事業

・福祉委員会(4回)

福祉活動の協議・検討及び見守り世帯等に関する情報交換、課題の共有を行った。

・「福祉委員会だより」発行(6回)

福祉委員、民生委員児童委員の周知、ふれあいサロン、ふれあいパークゴルフ等の開催案内、福祉関係情報を掲載して発行しました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められた。

福祉活動に関心が高まり、福祉委員等の資質向上につながった。

### 2 調査活動(実態把握)

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者（対象者数 41人）

●目的 要支援世帯の状況把握

●実施事業

・要支援世帯台帳の作成（更新）

日常的な支援が必要な高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握するため、要支援世帯台帳を作成（更新）し、必要に応じて見守りや声かけを行った。

・福祉マップの作成（更新）

高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握し、日常の見守りや非常時に備えた福祉マップを作成（更新）した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・市役所

●事業成果

要支援世帯等の状況把握により、日常的に見守りや声かけ訪問が円滑に行われるようになり、災害時等の備えにもつながった。

### 3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 18回

●対象者 高齢者・障がい者・子供（対象者数 50人）

●目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり  
地域のつながりづくり

●実施事業

・ふれあいサロン

おしゃべりや食事会、レクリエーション、健康講話、カラオケ等 9回

・一人暮らし高齢者との昼食会

カーリンコン、昼食会（1回）

・お楽しみ交流会（夏・冬）

大人のパークゴルフコンペ 2回実施

夏休み中の子供とのレクリエーション、ラジオ体操会 5日間実施

冬休みの子供とのクリスマス会（軽食、カーリンコン大会、百人一首）1回実施

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

一人暮らし高齢者等の安否確認や健康状態、心配ごとの把握につながった。

参加者同士の交流により近隣のつながりづくりになった。高齢者の閉じこもり防止につながった。

### 4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者  
（対象者数 11人）

●目的 地域の支え合い・連帯意識を強め  
孤立防止につなげる

●実施事業

・見守り、声かけ訪問活動

一人暮らし高齢者世帯等に対して、日常적인見守りや定期的な声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。

・生活支援活動

一人暮らし高齢者及び障がい者世帯の状況把握に努めた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

地域のつながりづくりと一人暮らし高齢者等の孤立防止につながった。

生活上の困りごとの相談や細やかな支援により安心して生活できる環境づくりにつながった。



# 住吉北町内会

福祉委員人数	14人	世帯数	260
--------	-----	-----	-----

## 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 12回
- 対象者 町内会長・福祉委員・民生委員児童委員（対象者数17人）
- 目的 福祉委員会会同において役員間の情報交換・共有、資質の向上

### ●実施事業

- ・福祉委員会会同  
毎月1回会同を実施して行事・活動内容を協議検討し、特に独居者・障がいのある方に対する情報を交換して、実情を把握。また研修会に参加し普及教育を実施した。

- ・情報の供給  
高齢者に対し、詐欺等の情報をその都度知らせ被害防止に努める。

- ・福祉研修会（講話）の実施  
社会福祉協議会・包括支援センター等と連携して研修会を実施し、その他各種研修会に参加した。

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

### ●事業成果

社会福祉協議会・市町連の開催する研修に積極的に参加し、福祉委員会において普及教育を実施して情報を共有した。

また、社会問題化している特殊詐欺について、手口の巧妙さ更に被害状況を折に触れ教育し、注意を促し、特に「誰かに相談する」ことを強調指導。被害状況は報告されていない。

## 2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者（対象者100名）
- 目的 高齢者を把握して事後の支援体制を確立する

### ●実施事業

- ・高齢者名簿の作成  
65歳以上の高齢者を把握して現況を把握した。
- ・独居者の緊急連絡先の把握  
独居者の不測の事態に備えた。

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

### ●事業成果

近年高齢者が多くなり、またアパートや個人情報等においては、把握が困難になっている。

特に町内会員以外（アパート入居者等）については非常に困難であり実態はつかめていない。独居者に対し緊急連絡先の見直し、再確認を行うとともに、避難困難者に対する支援者及び避難経路等を確認し不測事態に備えた。

## 3 交流活動（ふれあい・語り）

- 実施回数 30回
- 対象者 高齢者（対象者数80人）
- 目的 高齢者・独居者と福祉委員会との交流及び高齢者相互の意思の疎通、さらに心身健康の維持

### ●実施事業

- ・サロン活動（月2回）  
睦会（老人クラブ）を主体に毎月2回例会を開き、茶話会・カラオケ・囲碁・将棋等それぞれの得意分野において楽しみ、おしゃべりをして気分転換を図った。

- ・日帰り旅行  
睦会（老人クラブ）と共同で行い、小樽方面で気分転換を図った。また、福祉委員・民生委員児童委員と独居者及び伴侶をなくされた方との交流会として「札幌埋蔵文化財センター・開拓の村・藻岩山」の研修を行った。

- ・餅つき、子供会との交流（1回）  
日本古来の伝統の餅つきを通じて子ども会や町内会会員との交流を行い、伝統の継承を図り高齢者に生き甲斐を与える。（1回）

- ・健康運動（3回）  
パークゴルフ（5月～10月）やいきいき百歳体操（週1回）・室内ゲーム大会（年3回）等

を通じ、運動不足になりがちな高齢者の健康の維持増進を図り、各人の健康状態を把握する。

#### ●事業成果

サロン活動・旅行・健康運動や交流会等を行いなるべく交流の場を多く設けるよう着意し活動した。

今年は福祉委員・民生委員児童委員と独居者及び伴侶をなくされた方との交流を札幌埋蔵文化財センター・開拓の村の研修、藻岩山頂を見学した。

#### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

### 4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

●実施回数 年間を通じて

●対象者 独居者・障がい者  
(対象者数 31 人)

●目的 独居者・障がい者が安心して生活ができるよう支援する

#### ●実施事業

・見守り、声かけ訪問活動

担当を設けて、月に最低2回は訪問し、悩みごとや困りごとなどの情報収集を行い、解決策を見出す。また、話し相手をして気分転換を図り、安心して生活できるよう支援する。

・除雪支援(対象者 22 人)

冬期間除雪困難な方に、生活道路及び非常避難経路等を主体に、生活に支障のない程度に除雪支援を行い、安心・安全に生活できるようにした。高齢化に伴い対象者が多く大雪の時には福祉委員共同で巡回支援をしている。

・家庭内の小さなお手伝い

相談ごとの相手、草取り等小さなことに対し、気軽に手伝いをした。また、火災報知機の機能点検や設置の点検指導をした。

#### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

#### ●事業成果

担当の独居者宅を定期的に回り、声かけを行い世間話しながら状況を確認するとともに、情報を収集してから同時に報告した。

全委員が情報を共有しながら活動の幅を広げている。また、9月の胆振東部地震に於いては発生後直ちに独居者の各家庭を回り不安の除去に努めた。被害や負傷の状況を把握、後片付けの支援を実施した。

## 住吉4丁目町内会

福祉委員人数	12 人	世帯数	390
--------	------	-----	-----

### 1 啓発活動(知る・知らせる)

●実施回数 14 回

●対象者 町内会長・町内役員・福祉委員・民生委員児童委員(対象者数 15 人)

●目的 福祉委員活動における役員間の情報交換、資質向上

#### ●実施事業

・福祉委員会

福祉活動の協議・検討。見守り世帯に関する情報交換。茶話会において高齢者とともに介護予防体操なども取り入れて交流を図る。一人暮らし高齢者に対する詐欺などの予防、被害防止などの呼びかけをする。地域福祉に関する研修会への参加。

#### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・地域包括支援センター

#### ●事業成果

福祉委員としての関心が高まり、委員としての資質向上につながった。男性委員が多く活動に参加してもらうことができた。(若返り)

### 2 調査活動(実態把握)

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者  
(対象者数 115 人)

●目的 要支援世帯の状況把握

#### ●実施事業

・介護を必要とする世帯の把握

要支援者の見守り・声かけ及び地域包括支援センターへの連絡と実態の把握に努める。高齢者一人暮らしの世帯が多くなり、孤立防止と寝たきりにならないように介護予防サロンへの呼びかけをした。

・救急カードの更新と配布

アパート・マンションへ入居された方への配布。また町内会入会の呼びかけをする。家族構成などの把握調査をした。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・地域包括支援センター・老人クラブ

●事業成果

声かけ訪問することで健康状態などを把握することができた。

### 3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 36回

●対象者 高齢者・障がい者・町内会員  
(対象者数 100人)

●目的 地域のつながりづくり、高齢者の  
り孤立防止（介護予防サロン）

●実施事業

・春の福祉の集い

高齢者と地域住民との交流を図った。（会食、ビンゴゲーム、カラオケを実施）

・秋の福祉の集い（日帰り温泉旅行）

高齢者と町内会員との親睦と交流を図る。（パークゴルフ・会食・温泉・カラオケなど）

・茶話会、介護予防サロン

介護予防体操後のおしゃべり、脳トレ、カラオケ等で交流。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会

●事業成果

高齢者の健康状態を知ることができた。心配事等を話合い、近隣のつながりづくりになった。高齢者の閉じこもり防止につながった。参加を楽しみにしている高齢者の声が聞かれた。

### 4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者（対象者数 100人）

●目的 地域の支え合いと高齢者の孤立防止につながる

●実施事業

・見守り、声かけ訪問活動

一人暮らし高齢者世帯に対し日常的な見守り声かけ訪問等で、安否確認と世帯状況把握に努めた。

80歳以上の高齢者、障がい者を支援する家族へ町内会から贈り物を届け、併せて生活状況の把握に努めた。

・除雪支援活動

支援を必要とする世帯の状況把握に努め福祉委員の協力で行った。

・生活支援活動

支援を必要とする世帯の状況把握に努め、資源物資の運搬などをした。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・福祉委員

●事業成果

福祉委員の協力で地域の見守り、高齢者の孤立防止につながり生活上の困り事支援により安心して生活できる環境づくりになりました。

## 住吉5丁目町内会

福祉委員人数	8人	世帯数	130
--------	----	-----	-----

### 1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 定例会毎月1回、第3月曜日  
10回（7月、9月除く）

●対象者 町内会長・役員・福祉委員  
(延べ100人)

●目的 福祉活動における対象者間における情報共有と資質向上

●実施事業

・福祉委員会の定例開催

1. 毎月の定例町内会役員会の各月主要行事の実施報告と次月からの計画行事を把握した「福祉便り」を作成し、町内会行事を活用した福祉委員活動が実施できました。
2. 見守り対象世帯に関する情報交換により問題点を見つけた場合は、民生委員さんの助言で問題解決の糸口をつかみ、福祉委員それぞれが自信をもって取り組むことができました。
3. 冬季の高齢者等世帯の除雪支援状況を委員会で報告し、除雪困難世帯の状況を確認した見守り活動ができました。また、これからの除雪困難世帯等の課題の発見を行いました。
4. 救急カード事業の普及維持のため、見守り活動や募金集め等のときに、カードが配布され活用されているか、また、最新の常態か確認し救急時に役立つよう処理している。
5. 老人クラブの介護予防活動が盛んであるが、加入者の減少傾向があり今後の活動に支障となりつつある。老人クラブ加入の推進にむけて啓発文書を全戸に配布し啓蒙中です。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター・市役所・新聞記事

●事業成果

定期的に福祉委員会を開催することで、対象見守り世帯それぞれに対する現況確認が適切にでき、福祉委員活動が円滑に実施できた。

## 2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 10回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員・老人クラブ参加者（対象者数：70人）
- 目的 福祉活動における担当者との福祉情報の共有と交換・資質の向上
- 実施事業

・福祉だよりの発行・配布

1. 毎月の町内会役員会の総務事項、主要行事の成果報告と次月の具体的な行事計画を把握した「福祉だよりの発行・配布」を作成し、町内会行事を活用した福祉委員活動を目指しました

2. 冬季の高齢者世帯の除雪支援状況を報告し、委員それぞれが除雪困難世帯の状況を確認し、見守り活動ができるようにしました。
3. 各福祉委員の見守り対象世帯に関する見守りの確認と状況変化等の情報交換したことをメモ欄に記載して、問題解決の資源とし委員それぞれが自信をもって行動できるようにしました。
4. 老人クラブの介護予防体操行事等は介護予防に成果が大きい現状ですが、老人クラブ所属者が減少傾向であり、新規加入者の募集促進用の啓発文書を全戸に配布し増勢をはかっています。
5. 町内会加入の勧めと老人クラブ加入の促進等について現況、問題点を作成し関係者に配布し町内会活動の活発化、老人クラブの活性化を目指しています。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・市役所・地域包括支援センター・市民だより・町内会連合会だより・ちゃんと・全国社会保険連合会（会誌）

●事業成果

町内会等の動きを把握した諸活動ができ、また中・高年者引きこもり問題、孤独死問題等の深刻な現状を知ることができ問題提起ができた。

## 3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 12回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員・老人クラブ参加者（対象者70人）
- 目的 福祉活動における対象者との福祉情報の共有と交換、資質の向上

●実施事業

・ふれあいサロン活動の実施

1. 町内会役員、福祉委員のほぼ全員が老人クラブ会員であり、老人クラブ（寿会員）活動において老人クラブの役員として企画から実施段階のふれあいサロン活動を進め、千歳市出前講座を取り入れ介護予防講座を研修しいきいき百歳体操・ノルディックウォーキング等を取り

入れて毎週月曜日の例会の都度実施。また居住地域においても個々に自宅周りでノルディック運動をするなどそれぞれが介護予防活動につとめています。

2. 町内会において5月花壇作り、7月さくらんぼ狩り、8月公園での野外ジンギスカン、10月リンゴ狩り、12月お雑煮会、11月・3月福祉懇談会等でふれあい活動を進めた。

●**連携・協力機関及び団体**

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・市役所・町内会各世帯

●**事業成果**

寿会の高齢者が積極的にサロン活動に参加をし、介護予防、生活習慣の改善に取り組み明るい生活を目指していることを確認しています町内会全般に置いても機会を見つけて、ふれあい行事を計画しふれあい意識を高めています。

**4 在宅福祉サービス活動(支え合い)**

●**実施回数**

6回

●**対象者**

町内会長・役員・福祉委員・老人クラブ参加者(対象者数70人)

●**目的**

福祉活動における対象者との福祉情報の共有と交換、資質の向上

●**実施事業**

・要支援世帯台帳作成、対象者支援

9月の胆振東部地震の際、福祉委員が見守り対象者の安否確認にあたったが、町内会防災計画、防災訓練の現状が不十分であることから要支援者名簿を点検し、作成時からの変化を把握して特に要支援高齢者の確認により、福祉委員・町内会役員による駆けつけ要員の選定と福祉マップを作成し、震度5以上の時はすぐ安否確認ができる体制にした。また、要支援者の状況に応じて見守り活動、訪問の実施、声かけを実施した。

・福祉懇談会の実施

11月と3月に除雪に関する福祉懇談会を開催し、町内会連合会の福祉研修会における千歳市の福祉計画、社協の人と人をつなぐ支え合いの仕組みづくりと冬季の除雪困難者の除雪支

援について支援成果を研修し、積雪寒冷地における単身高齢者等の在宅生活が困難なことを認識するとともに、冬季の利雪・克雪等雪活用のアイデアが必要であることを確認し、冬季の除雪支援体制を普及した。

●**連携・協力機関及び団体**

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・市役所

●**事業成果**

予期しない震度6弱の地震を体験し、強烈な教訓を得この体験を生かしたよう支援者対策を取ることと変化に応じた体制をとることが重要なことを認識できた。町内の「人と人をつなぐ具体的活動」について参加者が認識した。今後この活動を取り入れていくことを勉強して生活の知恵を出すことが必要であることをそれぞれが会得できた。また除雪困難者の支援に取り組む重要性を参加者が会得しました。

**東郊町内会**

福祉委員人数	16人	世帯数	530
--------	-----	-----	-----

**1 啓発活動(知る・知らせる)**

●**実施回数**

6回

●**対象者**

町内会長・福祉委員・民生委員児童委員・福祉委員  
(対象者数16人)

●**目的**

福祉活動の計画協議・情報交換

●**実施事業**

・福祉委員会その他会議

福祉活動の協議及び計画、高齢者対象者の健康や生活状況等の情報交換を実施した。

●**連携・協力機関及び団体**

民生委員児童委員

**2 調査活動(実態把握)**

●**実施回数**

通年実施

●**対象者**

高齢者・単居高齢者  
(対象者数120人)

●目的 健康状況・生活状況の把握

●実施事業

・訪問活動

福祉委員が対象者宅の戸別訪問を行い、健康状況や生活状況の確認・把握と町内全体の見回りを実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

### 3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 2回

●対象者 高齢者世帯、独居高齢者  
(対象者数 120人)

●目的 生活状況健康状態の把握と高齢者間の親睦

●実施事業

・給食サービス（食事会）

福祉委員手づくりの料理にて町内会館で食事会。ゲーム・カラオケ・レクリエーション等で親

・熟年部活動支援

週2回水曜日と土曜日にいきいき百歳体操等をしている。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

交流が増え会話も多くなり参加者が増加した。

## 豊里町内会

福祉委員人数	22人	世帯数	700
--------	-----	-----	-----

### 1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 年1～2回

●対象者 高齢者（70歳以上）  
(対象者 150人)

●目的 福祉部の活動を理解してもらう

●実施事業

・福祉部だより「つながり」を発行

年間の行事や福祉部の活動内容をお知らせ

する。行事等での写真等を掲載し興味を持ってもらう。

回覧でも回しているが若い世代の家では中を見ずに次のお宅へ渡してしまうことが多いので、本人に直接手渡しをしている。

主に高齢者、独居者の情報を協力し声かけ訪問をしている。高齢者世帯の町内会脱退もあり心配している。老後、他地域から息子・娘と同居しているか方の把握がなかなかできない。年末には民生委員と福祉部と一緒に訪問している。

●連携・協力機関及び団体

老人クラブ・民生委員児童委員

●事業成果

福祉部の事業に参加をする人が増えてきている。尚一層充実させていきたい。回を重ねて恒例行事となっているのと、元気な高齢者は日頃行事に参加しているので、独居の世帯等心配な方を中心に訪問していく。

### 2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 年1回敬老の日に合わせて実施

●対象者 高齢者世帯（70歳以上）町内会役員等（対象者数 170人）

●目的 お祝い行事を通じて交流

●実施事業

町内福祉部の一大イベントとなっている「敬老会」。胆振東部地震により中止も考えたが、こういふときだからこそ皆とあつて楽しんでもらいたいと日にちを改めて開催。手づくりの料理を少し加えて会食と会談。毎年工夫を凝らしたアトラクションやゲームで盛り上げている。足の悪い方を送迎したくさんの人に参加を呼びかけている。当日参加できなかった世帯に、後日お祝いの粗品を持って訪問している。

●連携・協力機関及び団体

老人クラブ

●事業成果

参加者対象者同士で誘い合ってくれて始めて参加をする人も増えている。

# あけぼの団地町内会

福祉委員人数	7人	世帯数	180
--------	----	-----	-----

## 1 調査活動（実態把握）

- 実施回数 10回
- 対象者 福祉委員（対象者数8人）
- 目的 福祉委員会
- 実施事業
  - ・福祉に関する情報の共有  
福祉対象者の状況・情報共有
  - ・福祉部活動の協議  
事業の実施検討及び実施後の成果確認
  - ・福祉委員の資質向上  
研修会、説明会等への参加・伝達
  - ・福祉関連行事への参加  
町内会の行事、関連機関の行事
- 連携・協力機関及び団体  
民生委員児童委員
- 事業成果  
会議は全委員の出席可能な日を選んで月1回程度開催し、事業実施時の役割分担など、すべてが委員自身の問題として議論し結論を出した。また、実施した事業の反省点や改善を要する事項も、委員の反省事項としている。

## 2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 3回
- 対象者 福祉対象者（町内会員も可）  
（対象者40人）
- 目的 映画鑑賞会
- 実施事業
  - ・映画鑑賞会
  - 1. 映画鑑賞の目的  
高齢者や障がいのある方に外出の機会を確保することを目的とし、映画終了後は福祉委員の手づくりで軽食を全員で食べる。
  - 2. 映画の鑑賞  
参加者全員が一緒に声を出して笑える作品としています。例）寅さんシリーズ、釣バカ日

誌、綾小路きみまろ爆笑シリーズ。（殺人シーンのあるものや、深刻な内容のもの及び涙を流す作品は除外しています）

3. 食事中に各種情報などを提供して注意を喚起しています。（健康管理、振込み詐欺、交通事故、火の取扱いなど）
4. 11時45分頃から食事が始まり13時頃終わります。
  - ・日帰り旅行（参加人数40人）
  - 1. 福祉バスを利用して高齢者・高齢独居者・障がい者を対象として日帰り旅行を行った。
  - 2. 福祉委員及び町内ボランティア会の協力を頂く。配偶者など家族の随行をお願いする対象者も居るが、車椅子対応などはボランティアが対応している。
  - 3. 気軽に参加できるように一人1,500円を負担していただき、車中での飲食を始め入場料、保険料及び昼食等はすべて福祉部で負担。
  - 4. 移動中のトイレが一番の心配ごとと思われることから、1時間に1回程度のトイレタイムを確保。施設見学等の移動（歩行）時間は余裕を持った計画とする。
  - 5. 参加者の疲労を避けるため、強行軍とならないように配慮。（移動距離、見学時間）
- ・敬老と長寿をお祝いする会（中止）
  1. 75歳以上の高齢者に福祉委員が訪問して案内文書を手渡し「敬老の日（9/17）」に連動したお祝いを9月9日に予定したが、地震災害の後であり中止とした。
  2. 発注済みの「持ち帰り弁当」「お赤飯」「お菓子」は福祉委員が手分けして対象者宅を訪問して配布しました。
- ・餅つき
  1. 子供たちに古来の伝統行事「餅つき」を体験させ行事の継承
  2. 臼で餅をつく、餅を丸める、餡を入れて丸めるなどの一連作業について高齢者など経験者の指導を頂いて実施。
  3. 参加できなかった高齢者に福祉委員、子供会役員、小学生の子供の3名でできたての餅を配布した。（20軒）

・福祉対象者の新年交流会

1. 積雪期に外出機会の確保、仲間との語らいの場を提供することを目的に、正月気分が薄らぐ2月10日に開催。
3. 歩行困難者や車椅子を使用している者には福祉委員による送迎を行う。

●**連携・協力機関及び団体**

民生委員児童委員・老人クラブ・町内ボランティア会員

●**事業成果**

映画を楽しみに待っている方が多く人数は大体35名前後が集まっています。歩行が多少不自由な方も含めて上映時間までに集まっている。福祉対象者と福祉委員及びボランティア参加者との交流があった。餅つきは町内の子供たちが増えてきたことから、6年ぶりで実施。子供たちが高齢者の指導により伝統行事を体験した。餅つきの実施にあたりボランティアを募ったところ多くの会員が参加してくれた。新年交流会は少人数での懇親会であり、参加者と福祉委員の疎通が十分図られた。また福祉委員の「見守り活動」や「訪問活動」などが容易になった。

### 3 福祉サービス活動（支え合い）

●**実施回数** 通年

●**対象者** 高齢者・障がい者・障がい者  
(対象者数100人)

●**目的** 訪問、見守り活動

●**実施事業**

- ・町内の14班を大きく3つのグループに分け、女性福祉委員2名ずつで1班を担当し声かけや訪問して見守り活動を行っている。
- ・男性福祉委員1名は、町内全域を対象として男性高齢者宅の訪問や見守り活動を行った。
- ・民生委員児童委員をかねる福祉部長（男）は、町内全域を担当しましたが特に町内会に未加入の家庭（母子・父子家庭を含む）を担当している。

●**連携・協力機関及び団体**

民生委員児童委員

●**事業成果**

独居者からは話し相手として喜ばれている。福祉部が行う諸活動に協力をしてもらえる。

## 日の出東町内会

福祉委員人数	3人	世帯数	112
--------	----	-----	-----

### 1 啓発活動（知る・知らせる）

●**実施回数** 2回

●**対象者** 福祉委員・民生委員児童委員  
町内会三役（対象者数8人）

●**目的** 福祉委員、民生委員児童委員を中心とした役員間の情報等共有

●**実施事業**

・福祉会議

各種行事前に開催し、行事の確認・協議・検討を実施した。各種行事の参加・不参加等を把握し、高齢者・単身者・障がい者等の健康等の情報を共有した。

●**事業成果**

委員間の意思の疎通・情報の共有化を図り、地域福祉活動を円滑に推進できた。

### 2 調査活動（実態把握）

●**実施回数** 通年

●**対象者** 全町内会員（対象者数310人）

●**目的** 災害時における要支援世帯（者）及び日常の健康状況の把握等

●**実施事業**

・会員名簿の補備・修正（26年度に作成）

新たに町内会加入した会員や世帯内の健康等の変化について把握し、災害時等に活用すべく補備・修正をし最新の状態に維持した。

今年度改めて会員の家族構成、健康等について把握する予定でしたが事情により31年度に実施する。

●**事業成果**

要支援世帯（者）の把握ができ、敬老慰安会等の人員掌握等（年齢確認）にも活用できた。

### 3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 2回
- 対象者 高齢者（対象者数 75 人）
- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり
- 実施事業

- ・敬老慰安会（高齢者参加者 20 名）

70 歳以上の高齢者を招待し、食事をしながら演芸・カラオケ・ゲーム等を他の会員とともに楽しんだ。参加できなかった 50 名の高齢者には、健康等の把握を兼ね福祉委員等が「記念品の「クッキー」を宅配した。

- ・餅つき（高齢者参加者 22 名）

伝統文化継承を兼ね、高齢者・子ども達を含めて餅の「つき方」・「丸め方」等を体験し、参加者全員で会食した。参加できなかった高齢者には健康等の把握を兼ね福祉委員等が「餅のバック詰め」を宅配した。多くの子供たちが参加し高齢者と子供たちとの交流が深まった。

#### ●事業成果

参加者全員が一体となり交流を深め、高齢者の孤立防止と仲間づくりができた。

餅つきは若い家族の参加もあり、餅の「丸め方」「餡の詰め方」等を体験した。「もちのバック詰め」宅配は好評であった。初めての餅つきをした子ども達もいて親子で楽しんだ。

### 4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 通年
- 対象者 高齢者・障がい者（対象者数 85 人）
- 目的 地域の支え合いと孤立防止を図る

#### ●実施事業

- ・見守り、声かけ活動

各班長が町内会費徴収や各種募金等で訪問の時に声かけを実施し、世帯・健康状況を把握した。

- ・高齢者への「記念品」等の配布

敬老慰安会・もちつきに参加できなかった方々への「記念品」「餅のバック詰め」を宅配

するとともに、健康状況等を把握した。

#### ●事業成果

福祉委員・班長等の情報により孤立死等もなく、地域の支え合いと孤立防止を図ることができた。

## 日の出北町内会

福祉委員人数	3人	世帯数	126
--------	----	-----	-----

### 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 12回
- 対象者 福祉委員・町内会役員・民生委員児童委員（対象者数 74 人）
- 目的 福祉活動における町内会役員、福祉委員及び民生委員児童委員との情報の共有並びに協力体制の強化を図る

#### ●実施事業

- ・福祉委員会

福祉活動の検討並びに胆振東部地震もあり、緊急時の独居世帯、高齢者等の非難について話合をした。日の出小学校が避難所になっているが、体の弱い方や高齢者は 400mほどの距離を歩くのはきついで、一時的に町内しゅくぷ公園にある防災倉庫に避難してもらうなどを検討した。

30 年度総会に民生委員の活動について説明を頂き、質疑応答し理解を深めてもらった。

#### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

#### ●事業成果

情報を共有することにより、地域福祉活動が円滑に実施できた。また、大災害はこないと考えていた矢先の地震だったので、会員みんなが考えを改め防災意識が高まった。

### 2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通して実施
- 対象者 高齢者及び障がい者世帯（対象者数 47 人）

- **目的** 要支援世帯等の状況把握並びに独居高齢者等の引きこもり防止を図る

● **実施事業**

- ・要支援世帯の把握（現在除雪支援サービス世帯は4軒）
- ・独居高齢者に対する声かけ（訪問とふれあいサロン等でも声かけしている）
- ・救急カードの更新及び普及活動（回覧板にて全世帯に更新を促し必要な家庭は更新していただいている）

● **連携・協力機関及び団体**

民生委員児童委員

● **事業成果**

支援が必要な世帯を把握し、支援要領等を検討し支援者側の意思の疎通が図れた。

見守りや声かけを日常的に実施し、高齢者等の引きこもり防止が図れた。

また、救急カードの設置確認により、特に高齢者の見守りが実施できた。

### 3 交流活動（ふれあい・語らい）

● **実施回数**

1回

● **対象者**

町内子ども会・両親・高齢者等  
（対象者数 32 人）

● **目的**

クリスマスパーティーを通じて町内会員相互及び幼児等との親睦を深め、子育ての一助とするとともに世代間交流を図る

● **実施事業**

- ・クリスマスパーティー

子ども会中心でクリスマスケーキの作製とゲームを実施した。子ども、両親、高齢者の三世代間でパーティーを行った。

● **事業成果**

各世代間の交流を通じて、子育て支援及びお互いの顔と名前を確認し合えた。

独居高齢者の孤立防止に寄与した。自分の町内会に多くの子供さんたちがいることを知る機会を得て、高齢者は笑顔であった。

## 梅ヶ丘1丁目町内会

福祉委員人数	7人	世帯数	106
--------	----	-----	-----

### 1 交流活動（ふれあい・語らい）

● **実施回数**

1回

● **対象者**

町内会員（対象者数 274 人）

● **目的**

町内会員のふれあい、語り合い

● **実施事業**

8月4日、土曜日の12時から15時の間、昔の村祭りを町内の梅ヶ丘公園で実施しました。

誰でも参加しやすいように参加費を1,000円とし、18歳以下は無料で実施しました。参加者は、70歳以上のお年寄り19人、子供23人、一般34人の計76人となりました。特に、70歳以上のお年寄りには、福祉委員が案内状を直接手渡しする等工夫を凝らしました。当日は足が不自由なお年寄りには福祉委員がサポートしました。メニューはお年寄りに、おでん、焼きそば、お父さんにはビールと焼き鳥、子供には焼きとうもろこし、綿あめ、カキ氷等に舌鼓を打ってもらいました。4年まえからの恒例「流しそーめん」を本年も実施しました。これは高齢者から子供まで大変人気があり大いに盛り上がりました。お楽しみとして、大人も子供もパン食い競争を実施し、小学生以下にはスイカ割りを行い割れたスイカを皆で頂きました。一大イベントの抽選会は道産米のおぼろ月（10kg）が出たところで終了。

● **事業成果**

参加者全員が名札を付けたので、会話がスムーズに運びました。互いに町内会の人であることが理解され、「ふれあい」が深められたものと思慮します。



# 旭ヶ丘町内会

福祉委員人数	8人	世帯数	480
--------	----	-----	-----

## 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 5回
- 対象者 役員・福祉委員・民生委員児童委員（対象者数16人）
- 目的 福祉活動の情報交換、情報の共有、資質向上

### ●実施事業

- ・福祉委員会義（福祉委員）  
福祉事業活動の細部計画の検討・打ち合せと、情報交換、課題等を協議した。

年5回：4月、6月、8月、11月、2月

- ・福祉会同（役員、福祉委員、民生委員児童委員）  
情報の交換、情報の共有を図った。

年2回：6月、11月

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・祝寿会

### ●事業成果

福祉委員相互の連携のため、情報の共有化、活動の細部要領・成果の確認等。次回実施への教訓等を確認・打合せを行った。

特に高齢者とのコミュニケーションの助長と実施間の安全等の配慮・気配り等の要領を話し合うことで、委員の資質向上につながった。

## 2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年1回以上
- 対象者 救急・高齢者
- 目的 「救急カード」の見直し・確認をする

### ●実施事業

- ・「救急カード」は、もしもの時の救急搬送に備えて名前・持病・緊急連絡先を記入し、迅速な究明に向け救急隊や病院が活用するものとして丁寧に説明した。特に救急隊員の見やすいところ、場所に掲示をお願いした。
- ・救急カード配布済みのカードの修正を実施した。

・訪問時、併せて近況等をお聞きし、家族状況等の変更等を確認・把握した。

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター・市役所

### ●事業成果

町内会全世帯に対し、配布済みの救急カードの修正及び家族状況の変更等を把握し、名簿の修正と災害時の要支援者の把握につながった。

## 3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 5回
- 対象者 高齢者・町内会役員・障がい者等
- 目的 町内会パークゴルフ大会  
ふれあいサロン

### ●実施事業

- ・パークゴルフ（年2回）（対象者70人）  
パークゴルフを通じ参加者の親睦・交流をはかった。大会終了後、現地で昼食（ジンギスカン・おにぎり）を食べ交流会を実施し参加者の親睦・交流を図った。参加費一人500円
- ・ふれあいサロン（3回）（対象者数100人）

年3回町内会館でおしゃべりや食事・レクリエーション等を行って高齢者と役員等の交流を図った。

### ●連携・協力機関及び団体

社会福祉協議会・老人クラブ・祝寿会・地域包括支援センター

### ●事業成果

参加者の中には、町内会員・高齢者・障がい者（グループホーム）を積極的に招き、参加者間のつながりを持つことができた。また、いきいき百歳体操・かみかみ百歳体操は健康増進の意識向上に繋がり、毎回熱心に参加される方や参加者間で参加の呼びかけをするなど、高齢者の閉じこもり防止につながっている。

## 4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 12月～3月
- 対象者 高齢者・障がい者  
（対象者数14世帯）

## ●目的 高齢者・障がい者宅除雪支援

### ●実施事業

- ・実施前、支援者宅の状況を福祉委員・民生委員により希望等を細部調査、実施し希望を募り、町内会員からボランティアを募集し、支援者が除雪必要（10～15cm以上基準）として除雪の担当者を基本的に必用世帯1件に対し1名で実施した。
- ・福祉委員が担当地区の75歳以上の方へ年賀状により新年のご挨拶を実施した。福祉委員自ら住所及びコメントを手書きにより、本年1年の感謝と新年を祝賀する内容として実施した。

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・

### ●事業成果

除雪支援対象世帯数 14 世帯

除雪ボランティア数 13 人

除雪支援回数 280 回

延除雪支援人数 3,640 人

今年は降雪が例年より少なかった。除雪支援ボランティアはほぼ毎年同じ人であり、高齢になってきている。町内でよびかけの募集を実施した結果、自ら参加する方が増えた。

年賀状の手書きによる挨拶は好評であり、一人暮らしの身寄りのない方などからは、感謝の年賀状やお言葉を頂いている。

## 弥生町内会

福祉委員人数	11 人	世帯数	720
--------	------	-----	-----

## 1 啓発活動（知る・知らせる）

### ●実施回数

18 回

### ●対象者

福祉委員（対象者数 11 人）

### ●目的

福祉委員活動における委員間の情報交換、事業の企画・調整

### ●実施事業

- ・福祉委員定例会（月 1 回）

福祉活動計画と執行、委員間の情報交換・活動の分担、課題の共有を行った。

- ・研修会等への参加

地域福祉に関する研修会、フォーラムに参加した。

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

### ●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められた。

福祉活動に対する関心が高まり、福祉委員等の資質向上につながった。

## 2 交流活動（ふれあい・語らい）

### ●実施回数 5 回

### ●対象者 概ね 70 歳以上の高齢者及びひとり暮らし高齢者（対象者数 320 人）

### ●目的 ふれあいを深め楽しみ、学びあい、生きがいをもつ

### ●実施事業

- ・ふれあいサロン（年 3 回）

音楽鑑賞、簡単な工作、ゲーム、DVD 鑑賞、食事会等

- ・弥生町内会敬老会（年 1 回）

70 歳以上の高齢者を招待し、食事や余興を通して高齢者との交流を図った。

- ・ふれあい日帰り旅行（年 1 回）

温泉施設の利用を通して会員同士の交流を図り、併せて高齢世帯等の現状の把握に努めた。

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

### ●事業成果

一人暮らし高齢者の安否確認や健康状態の把握、参加者同士の交流により近隣のつながりづくりにつながった。

## 3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

### ●実施回数

年間を通じて実施

### ●対象者

高齢者・障がい者

### ●目的

地域の支え合い、連帯意識の醸成を図り孤立防止につなげる

### ●実施事業

・見守り声かけ訪問活動

一人暮らし高齢世帯等に対して、日常的な見守りや定期的な声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。

・生活支援活動

一人暮らし高齢者及び障がい者世帯の状況把握に努め、降雪時は除雪ボランティアを行いました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

地域のつながりづくりと一人暮らし高齢者の孤立防止につながった。また、生活上の困りごとに対する相談や細やかな支援により、安心して生活できる環境づくりにつながった。



・研修会への参加

社協主催の研修 出前講座（介護予防体操）  
認知症サポート研修、介護予防リーダー養成講座、介護リーダーフォローアップ

・町内会役員会

町内会役員からの報告、情報交換、現状について報告検討

・交通安全見守り

学童の通学時間に通学路3ヶ所で黄色い安全ベストを着用し専用誘導旗を使用しながら見守りを実施した。

・東区地域包括支援センターより高齢者の身近な相談窓口であると周知された。

・福祉施設見学等 9人の福祉委員が市内の福祉施設3ヶ所を見学し説明を受けた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会

●事業成果

・委員会の中で活動の確認、継続の必要性、新たな活動の必要性を再確認できた。

・介護予防体操の出前講座では改めて正しい体操の手技を見直す機会になった。

・学童の交通安全見守り時には子供達から元気をいただいた。

・役員会では他部所の活動、町内の動向を知り協力体制が整った。

・75歳以上の高齢者が200人を超え福祉施設の質問が聞かれるようになり、知識を深めることができた。

## 寿町内会

福祉委員人数	23人	世帯数	690
--------	-----	-----	-----

### 1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 33回
- 対象者 町内会長・民生委員・町内会役員  
福祉委員
- 目的 情報の交換・共有
- 実施事業

・福祉委員会（3ヶ月に1回）

研修参加報告、活動経過報告、問題抽出検討。  
高齢者を囲む会の準備、打合せ等。臨時委員会2回。

### 2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 町内在住者全員
- 目的 要支援者の状況把握、情報の共有
- 実施事業

・福祉マップ修正、追加

福祉委員会の中で要支援者、高齢世帯、独居世帯、災害時要支援者の把握をし、つかず離れずの距離感を持って見守り、各種活動に対応できるように町内マップに追加、調整をした。

75歳以上の在住者を把握するため民生委員と協力し、名簿に漏れがないよう作成した。

町内の茶話会、介護予防体操等でのふれあいの中で情報を収集した。

#### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・市役所

#### ●事業成果

胆振東部地震のとき緊急連絡網にそって各担当区の一人暮らしの方を中心に安否確認をした。見回りに行った私たちを見て泣き出す方がおり、不安が強かったことが感じ取れた。

### 3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 通年を通して実施

●対象者 町内会員

●目的 高齢者の健康維持・心のふれあい

#### ●実施事業

・介護予防体操

毎月第3木曜日にいきいき百歳体操やかみかみ百歳体操、脳トレなど。

・ふれあいサロン（年6回実施）

不定期に女性部の手料理をいただきながら近隣者の情報交換を行った。

・高齢者を囲む会（1回）

75歳以上の高齢者を対象に女性部の手料理などで楽しい時間を過ごしました。

・大人と子供で餅つきや七夕、夏休みには夏祭りを行った。

#### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・千歳文化団体・千歳泉沢小学校のOB会。

#### ●事業成果

特に高齢者を囲む会は台風・地震・停電と不安が募る中、元気で集まることができ地域のきずなを深めることができた。また料理を担当した女性部には大変お世話になり、役員間の信頼を深めることができました。

### 4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 町内会員

●目的 孤立防止・支え合い・災害時の安否確認

#### ●実施事業

・緊急連絡網の確認、修正

福祉委員会で委員間での情報交換。委員間の緊急連絡網を使い情報を共有しすぐ対応できるよう整える。胆振東部地震時、各担当区の独居の方を中心に安否確認訪問を行った。

・寒中見舞い葉書

冬季閉じこもりがちで町内行事に参加しない高齢者や要支援者に寒中見舞いの葉書で安否確認。

・除雪支援

除雪困難者6軒を町内ボランティアで支援各家1軒をボランティア2名で担当し除雪を行った。

#### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・町内ボランティア

#### ●事業成果

災害後の自宅訪問は対象者に安心感を与えることができた。寒中見舞いの葉書で元気ですよと返事の電話を頂き寒冷期の安否確認と事故防止を伝えることができた。町内住民が高齢化し除雪活動は大変感謝されています。



## 幌加連合会

福祉委員人数	2人	世帯数	22
--------	----	-----	----

### 1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 12回
- 対象者 高齢者（対象者数22人）
- 目的 幌加地区長寿会の交流と親睦を深める。

#### ●実施事業

##### ・月例会（茶話会）

毎月1回 計12回実施 食事会、レクリエーション、懇談、カラオケ、健康体操など実施。

##### ・社会奉仕活動

春と秋の2回、道路の空き缶を拾い、公民館周辺の清掃、草刈をおこなった。

##### ・温泉旅行

7月と11月に1泊温泉旅行、5月に日帰り温泉旅行を行った。

##### ・出前講座

泉郷駐在所長による交通安全講習を行った。

#### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

#### ●事業成果

地域の高齢者の安否確認と健康促進ができ、また、参加者同士や地域内別組織と交流が深まった。

## 協和連合会

福祉委員人数	2人	世帯数	22
--------	----	-----	----

### 1 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 月1回実施
- 対象者 高齢者・一人世帯（対象者数15人）
- 目的 対象者の状況把握
- 実施事業  
・対象者の健康・見守り・声かけ

- ・地域の民生委員との連絡を取り必要に応じて巡回
- ・老人クラブ・地域の集会等に参加し声かけをした

#### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

#### ●事業成果

定期的に巡回しているので状況が良くわかるようになりました。

## 新川連合会

福祉委員人数	2人	世帯数	40
--------	----	-----	----

### 1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 5回
- 対象者 新川老人クラブ・福祉委員・民生委員児童委員

#### ●目的

清掃・花壇づくり・ゴミ拾い

#### ●実施事業

##### ・道路周りの清掃・花壇づくり

春と秋に清掃を行い、空き缶の回収などリサイクルに参加している。

出前講座を依頼した。

##### ・花壇ロードコンクールにみんなで花壇づくりをしている。

#### ●連携・協力機関及び団体

老人クラブ・民生委員児童委員

#### ●事業成果

ゴミ拾い、花壇づくりを通じて地域住民と交流・親睦に繋がり、出前講座では講話を聞いてためになった。



## 東丘連合会

福祉委員人数	2人	世帯数	38
--------	----	-----	----

### 1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 6回
- 対象者 60歳以上の高齢者
- 目的 高齢者の親睦の輪を広げる
- 実施事業
  - ・月例会
    - 4月 寿の家周辺の清掃及びお茶会
    - 6月 パークゴルフ大会及び反省会
    - 8月 東丘共同墓地清掃及び茶話会
    - 10月 寿の家周辺の清掃と日帰り温泉
    - 12月 千歳市交通安全講習会、忘年会、ビンゴゲーム
    - 2月 1年間の反省会、カラオケ・ビンゴゲーム

- 事業成果  
会員の親睦を図り、近況報告等を話し合うことができてよかった。

## 支笏湖自治振興会

福祉委員人数	5人	世帯数	120
--------	----	-----	-----

### 1 調査活動（実態把握）

- 実施回数 4回
- 対象者 自治会役員・支笏湖小学校PTA役員・福祉委員・消防警察・青年会役員（対象者数20人）
- 実施事業
  - ・拡大福祉委員会  
子ども達との交流事業や高齢者に対しての事業、さらには防災から住民を守るために組織されている消防団との連携による福祉関連事業の打ち合わせ等年4回実施した。また、消防団が企画した自主防災組織の研修会にも多く

の参加者があり、事業に対する関心度が向上した感覚を得ました。

#### ●事業成果

福祉委員と地域団体との連携の強化につながり、消防団との連携も高齢者や子ども達の安全を考える上で大きな成果となった。

### 2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 6回
- 対象者 自治会員（対象者数150人）
- 目的 地域住民の交流
- 実施事業
  - ・早朝清掃活動（5回）

小学生・老人クラブ・青年会・自治会等各種団体に清掃活動を行った。5月と9月は、支笏湖のまちづくり団体(NPO)が主催している国道453号線のゴミゼロキャンペーンにも連動し大々的に行った。

- ・スポーツ交流会（1回）

支笏湖市民センター横の特設パークゴルフ場にて60歳以上の高齢者を中心に、支笏湖小学校の生徒とパークゴルフによるスポーツ交流を行い、18名の参加があった。

- ・なかよし集会

支笏湖小学校が中心となり高齢者を含む地域の方々を子供たちが招待し、一同で手作りのクッキーとお茶で交流会を行いその中で昔の話や遊びなどで楽しい時を過ごした。

- ・支笏湖クリスマス・大忘年会

一年の締めくくりを地元街づくり団体(NPO法人支笏湖街づくり機構Neoステージ)の協力のもとクリスマスと忘年会を町ぐるみで行った。(子供を含め75名参加)

#### ●事業成果

地域住民(特に高齢者)が支笏湖小学校の生徒とともに交流を重ねることは、地域全員で子どもを育てるという意識の向上だけではなく、子ども達の郷土愛も育まれ、さらには災害時におけるネットワークの強化にもつながっている。

また、今年には地域のホテル・旅館等の職員も参加し普段できない交流が実現した。

### 3 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者(対象者数20人)
- 目的 一人暮らし高齢者・高齢者世帯を中心に災害時の対策として

#### ●実施事業

- ・見まわり、安全確認

各家を訪問し、自分達ではできない作業(電球の交換、物の移動、物の修理など)を支援することに努めた。9月5日の台風21号の支笏湖地区の停電、更には翌日の地震と災害が続く福祉委員を始め地元町内会の役員、消防団と連携し災害対策として活動しました。

- ・高齢者への生活支援活動

当地は交通が不便であり、更には生活用品及び食料品の販売店がないため、代行して買い物などを行う活動をしたら好評であったので、今年もできる限り声をかけるように努めた。

- ・除排雪の支援活動

今シーズンは雪が例年より少なかったが、プロパンガス、ストーブの排気口など雪に覆われている箇所の除雪の出動が数回あった。支笏湖消防団や消防署の署員の協力も得られ安全な状況を作ることができた。

#### ●事業成果

昨年は起きてはならない突然の災害が起きてしまったが、日頃からの地域のコミュニケーションが発揮され、被害が全くなかった。11月に支笏湖消防団の主催により開催された自主防災組織の研修会に積極的に参加いただいたことは、本事業に参加し地域同士のコミュニケーションが根づいている証と思う。



## ゆうまい町内会

福祉委員人数	35人	世帯数	1027
--------	-----	-----	------

### 1 啓発活動(知る・知らせる)

- 実施回数 通年実施
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員  
民生委員児童委員  
(対象者数42人)
- 目的 福祉委員活動における情報交換及び共有・資質向上
- 実施事業
  - ・福祉部会  
福祉活動の協議・計画・実施・反省を行った。
  - ・福祉委員会  
救急カード事業、年間を通してカードの設置、啓蒙を行った。
  - ・福祉通信「YOU・MY・便」(年3回)  
町内会回覧
  - ・福祉研修会の実施  
各種研修会への参加
- 連携・協力機関及び団体  
民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター・市役所
- 事業成果  
福祉部会などを通じて、情報交換ができています。

### 2 交流活動(ふれあい・語らい)

- 実施回数 3回
- 対象者 高齢者・障がい者・子ども  
福祉委員(対象者数96人)
- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり  
地域のつながりづくり
- 実施事業
  - ・ふれあいサロン(年3回実施)  
5月27日:「住み慣れた地域で安心して過ごすためには」「救急について」市民病院の方のお話。  
7月8日:ミニ運動会。パン食い競争などさまざまな種目に参加。

11月11日：「いきいき学芸会」ナレーション付きカラオケで盛り上がった。

9月9日開催予定だったふれあいサロンは胆振東部地震が発生したため中止となりました。

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター

### ●事業成果

新しい参加者も少しずつ増えて、参加者同士の親睦も深まっている。

## 3 在宅福祉サービス活動(支え合い)

●実施回数 通年実施

●対象者 救急カード申込書を全戸配布  
(対象者数 1,027 世帯)

●目的 救急カード事業

### ●実施事業

- ・福祉だより「YOU・MY便」を回覧し啓蒙活動
- ・総会資料と一緒に案内・申し込み用紙を全戸配付した。
- ・町内会イベント時にPRした。

### ●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

### ●事業成果

町内会のイベント時にPRをした結果申込が増えた。

## 北陽北町内会

福祉委員人数	15人	世帯数	599
--------	-----	-----	-----

## 1 交流活動(ふれあい・語らい)

●実施回数 9回

●対象者 町内会員

●目的 地域の仲間づくり、情報交換

### ●実施事業

- ・日帰り旅行

福祉バスを利用して円山動物園に親子で参

加。(幼児、低学年対象)

また福祉バスで札幌水道記念館に親子でレクレーションを行った。

### ・サロン活動

町内会館を利用してヨガ、フリーマーケット、ミーティング、茶話会など7回行った。

### ●連携・協力機関及び団体

市役所

### ●事業成果

フリープランは輪の中に入れる人は良いが、入れない人は家族旅行になってしまった。次回は検討する。町内会員同士のコミュニケーションがとれて良かったです。今後は参加者が増えるようにイベントを考えたい。町内会に来る人は限られているので改善策を考えたい。

## みどり団地1号棟自治会

福祉委員人数	4人	世帯数	58
--------	----	-----	----

## 1 啓発活動(知る・知らせる)

●実施回数 12回

●対象者 町内会長・町内会役員・班長及び福祉委員(対象者数18人)

●目的 福祉活動の各自の情報交換・共有

### ●実施事業

- ・福祉委員会

福祉活動の検討と見守り世帯の状況報告。

(月1回)

### ●事業成果

班長及び近隣住民の協力をいただき、いち早く状況の変化を把握した。

民生委員が亡くなってから新しい民生委員がいるのがわからない。

## 2 調査活動(実態把握)

●実施回数 年間を通して

●対象者 高齢者・障がい者  
(対象者数49人)

●目的 支援世帯の把握

### ●実施事業

- ・要支援世帯の把握

支援が必要な世帯の状況の把握と見守り体制の構築。

### ●事業成果

見守り・声かけにより支援世帯の状況がわかるようになった。



## 3 交流活動（ふれあい・語らい）

### ●実施回数

9回

### ●対象者

高齢者・障がい者

（対象者49人）

### ●目的

高齢者及び障がい者世帯の孤立防止と交流

### ●実施事業

- ・ふれあいサロン

おしゃべり会・食事会・レクリエーション

- ・老人クラブ

誕生会・いきいき百歳体操

- ・バーベキュー

バーベキュー開催準備を通しての交流

### ●事業成果

高齢者・単身者の安否確認と健康状態の把握。

参加者同士の交流

## 4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

### ●実施回数

年間を通して

### ●対象者

高齢者・障がい者・一人世帯

（対象者数52人）

### ●目的

高齢者・障がい者世帯の孤立防止

### ●実施事業

- ・見守り活動

一人世帯及び高齢者世帯の声かけ及び安否活動。

- ・生活支援

歩行に不安のある方に声かけ、支援

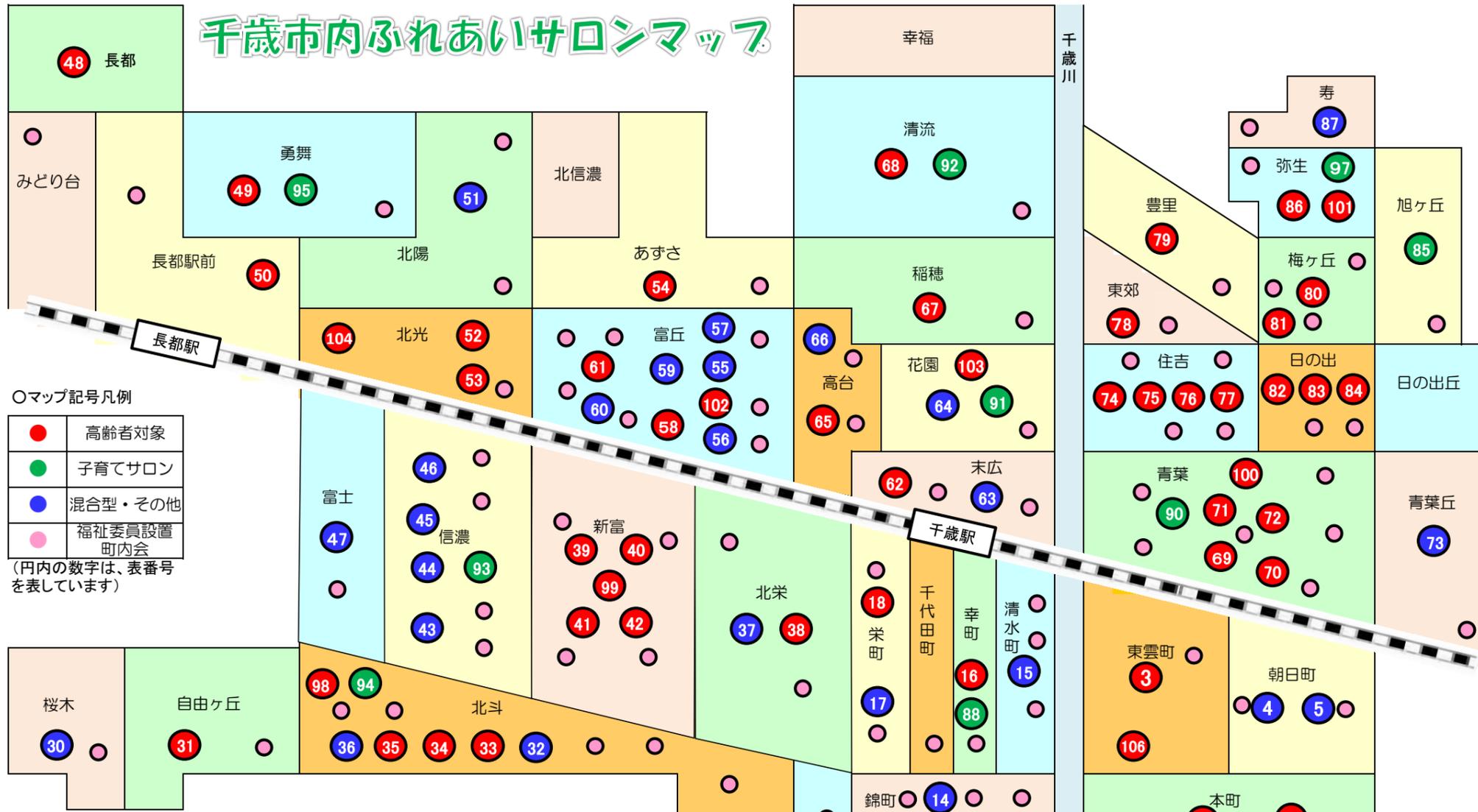
### ●事業成果

一人暮らし世帯、高齢者世帯の孤立防止。

高齢者、障がい者の生活支援及び相談。

# 資料編

# 千歳市内ふれあいサロンマップ



- マップ記号凡例
- 高齢者対象
  - 子育てサロン
  - 混合型・その他
  - 福祉委員設置町内会
- (円内の数字は、表番号を表しています)

ふれあいサロン実施町内会及びサロン活動内容一覧

No.	町内会名	サロン名・活動内容	No.	町内会名	サロン名・活動内容	No.	町内会名	サロン名・活動内容
1	本町自治会	茶話会・食事会	33	北斗2丁目	介護予防サロン	65	高台	介護予防サロン
2	本町南自治会	ふれあいサロン	34	北斗3丁目	ふれあいサロン会	66	東高台	ふれあい・語らい
3	東雲町4・5丁目	介護予防サロン	35	北斗西	ふれあいサロン	67	稲穂	介護予防サロン
4	朝日町西	木曜サロン	36	北斗北	いきいきサロン	68	清流	ふれあいせいのりゆう
5	朝日町東	会館開放サロン	37	北栄南	介護予防サロン	69	青葉2丁目	介護予防サロン
6	真々地	ままちふれあいサロン	38	北栄東	カラオケサロン	70	青葉3丁目	一人暮らし高齢者とパークゴルフ
7	若草	介護予防サロン	39	新富北	ふれあいサロン	71	青葉5丁目	介護予防サロン
8	白樺	ふれあいサロン白樺	40	新富中	いきいきサロン	72	青葉6丁目	きらく会
9	里美	介護予防サロン	41	新富西	サロン会	73	青葉丘	ふれあい会食会
10	柏陽	ふれあいサロン	42	新富東	いきいきサロン	74	住吉2丁目	ふれあいサロン
11	福住	介護予防サロン	43	信濃1丁目	茶話会	75	住吉北	いきいきクラブ
12	文京1丁目	ゆうゆうサロン	44	信濃2丁目	ふれあいサロン交流会	76	住吉4丁目	茶話会
13	文京	ぶんぶん健康サロン	45	信濃3丁目	おたのしみサロン	77	住吉5丁目	ふれあいサロン
14	錦町3丁目	観桜会	46	信濃4丁目	ホームサロン陽だまり	78	東郊	サロンえんがわ
15	清水町5丁目	懇親会	47	富士	いきいきサロン	79	豊里	いきいきサロン
16	幸町連合会	ふれあいサロン	48	長都	介護予防サロン	80	梅ヶ丘1丁目	広域サロン雀の会
17	栄町西区	さくら会	49	ゆうまい	ふれあいサロン	81	日の出北	ふれあいサロン
18	栄町東	ふれあいサロン	50	長都駅前	介護予防サロン	82	あけぼの団地	介護予防サロン
19	みどり団地1号棟	ふれあいサロン	51	おさつ団地	介護予防サロン	83	日の出南	ふれあいサロン会
20	緑町2丁目	介護予防サロン	52	ひばりヶ丘	介護予防サロン	84	日の出東	ふれあいサロン
21	春日町3丁目	あったかサロン、夕方サロン	53	静和	いきいき百歳体操サロン	85	旭ヶ丘	いきいきサロン
22	大和1丁目	なでしこ会	54	あずさ	介護予防サロン	86	弥生	やよいふれあいサロン
23	大和2丁目	介護予防サロン	55	富丘1丁目南	いきいき百歳体操サロン	87	寿	介護予防サロン
24	大和3丁目	介護予防サロン	56	富丘1丁目	ふれあいサロン			
25	やまとの社団地	やまとサロン	57	富丘2丁目	ふれあいサロン			
26	桂木1・2丁目	いきいきサロン	58	富丘3丁目南	いどばた交流会			
27	桂木3・4丁目	お楽しみ交流会	59	富丘3丁目北	いきいきサロン			
28	桂木5・6丁目	ふれあい健康マージャンサロン	60	富丘4丁目東	ふれあいサロン			
29	新里	子供と高齢者の交流	61	富丘西	いきいきサロン			
30	桜木	いきいき百歳体操	62	末広東	介護予防サロン			
31	自由ヶ丘	歌声サロン	63	末広中区	昼食会			
32	北斗	ふれあいサロン	64	花園	三世交流			

新里・蘭越・支笏湖

この資料は、赤い羽根共同募金の配分金により作成されました。



○マップに掲載されているサロンは、小地域ネットワーク活動推進事業実施報告書等より抜粋したものです。  
 ○活動内容の変更や記載漏れ、誤り等がありましたらお知らせください。  
 ○新たなサロン活動の情報も随時受け付けております。

ふれあいサロンの詳しい内容についてのお問い合わせは、  
 千歳市社会福祉協議会  
 地域福祉課地域福祉係 まで  
 TEL0123-27-2525  
 FAX0123-27-2528

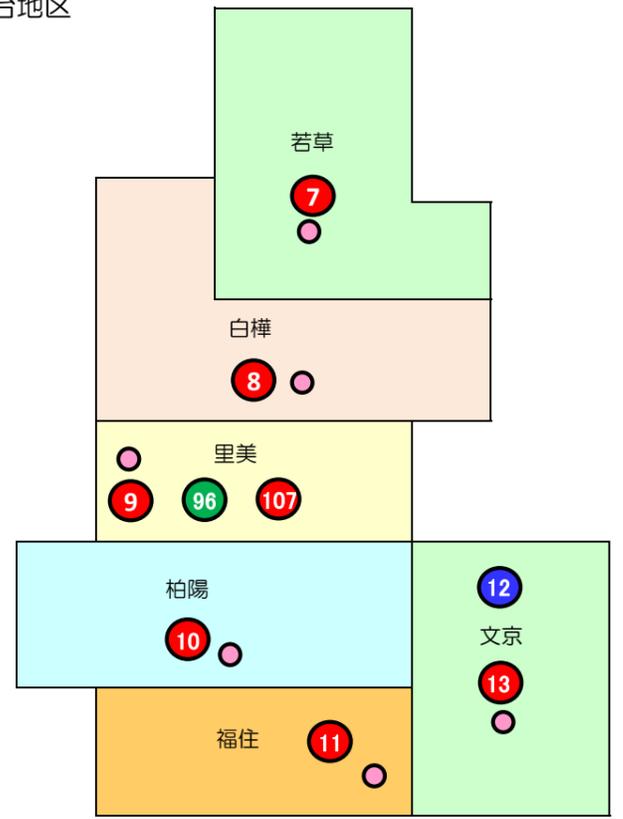
No.	地区名	サロン名	場所
88	第2地区	メリーゴーランド	千歳タウンプラザ
89	第3地区	ちびっこあつまれ	大和クラブ 桂木会館
90	第4地区	みんなであ・そ・ほ	ひので児童館
91	第5地区	子育てサロン(花園)	花園町内会館
92	第5地区	子育てサロン(清流)	せいのりゆう児童館
93	第6地区	ばるへん	しなの児童館
94	第7地区	北桜遊ひろば	ほくおう児童館
95	第8地区	ゆうまい子育てサロン	ほくよう児童館
96	第10地区	ハッピーひろば	向陽台コミセン
97	第11地区	子育て広場	祝梅コミセン

※千歳市ホームページ掲載内容より抜粋

千歳市介護予防事業「介護予防教室」

No.	開催場所	No.	開催場所
98	北桜コミュニティセンター	103	花園コミュニティセンター
99	北新コミュニティセンター	104	おさつタウンセンター
100	鉄東コミュニティセンター	105	ダイナックスアリーナ(スポーツセンター)
101	祝梅コミュニティセンター	106	総合福祉センター
102	富丘コミュニティセンター	107	泉沢向陽台コミュニティセンター

向陽台地区



## 平成 30 年度小地域福祉ネットワーク活動推進事業（小地域たすけあい福祉活動）実施要項

### 1. 目 的

いま、地域の中ではひとり暮らしの高齢者の孤独死や子どもの虐待など様々な地域課題が生まれており、その背景には地域連帯の希薄化があります。孤独死などのない社会、地域連帯にあふれた潤いのある地域社会づくりをすすめるためには、地域福祉に対する住民の意識啓発、ひとり暮らしの高齢者等の要援護者にとって身近な近隣住民による支援活動の展開こそが、最も大切になってきています。

本事業は、より一層地域でのたすけあい福祉活動の深まりと「福祉委員」活動の広がり充実を願い、各々の地域にあった創意ある福祉活動の推進をはかり、地域連帯にあふれた豊かな地域づくりを目指し、この事業を展開します。

### 2. 主 唱

千歳市社会福祉協議会

### 3. 実践主体

事業目的にご賛同いただき、福祉委員を配置している単位町内（自治）会

### 4. 実践活動の内容

町内（自治）会の福祉委員・町内（自治）会役員・地域住民の協働による小地域たすけあい福祉活動を実施するのにあたり、次の事項を留意していただいた事業展開をお願いします。

#### ①対象者

ひとり暮らしの高齢者や高齢者を介護する家族、障がい者や子育て家庭等に対する支援活動や活動の啓発、普及にかかわる実践活動を対象とします。

#### ②実践活動事例

具体的な事例としては、他に多くの活動が考えられますので、この事例にこだわることなく地域の実情を反映した活動を進めて下さい。なお、社会福祉協議会や保健センターなどの社会資源を有効にご活用ください。

#### 1) ひとり暮らしの高齢者や障がい者等との会食会・茶話会・交流会

孤独になりがちな方とのふれあいを深めたり、仲間づくりを進めるために、会食会や茶話会等を実施し、暖かい人間関係をつくっていきます。一品持ち寄り会食会なども考えられます。

#### 2) お年寄りと子どものつどい

お年寄りの長年培ってきた豊富な知恵や知識を活かした子どもとの交流を通じてお年寄りの生きがいと子どもに福祉の心を育んでいきます。

#### 3) 子育てサロン

核家族化が進む中、家族や地域の中で助けたり助けられたりしながらの「子育て」ができるよう支援するため、子育て中の親たちが集えるサロンづくりに取り組みます。

#### 4) 住民福祉懇談会

町内会による懇談会をひらき、住民の福祉への理解を深めるとともに、地域のひとり暮らしの高齢者や高齢者を介護する家族、障がい者等に要援護者を町内会としてどう見守っていくかなどを話し合います。

#### 5) 訪問活動

地域の中で孤立しがちなひとり暮らしの高齢者、高齢者を介護する家族、障がい者宅を近隣住民が定期的に訪問し、交流を深めるとともに、日常生活上の相談、買い物や家事の手伝い、安否の確認等をしていきます。

#### 6) 福祉だよりの発行

福祉に関する情報、行事の案内、お手伝いの募集などタイムリーな情報を継続して伝え、住民の福祉への理解や意識を高めていきます。

#### 7) 緊急時の連絡網づくり

地域のひとり暮らしの高齢者、障がい者等の緊急時に対応するため、近隣に人がすぐ駆けつけたり、保健師、ホームヘルパー、民生委員等に連絡したりする連絡網をつくります。

#### 8) 町内会たすけあいチームづくり

地域のひとり暮らしの高齢者、障がい者等が安心して生活していくため、町内会の役員、福祉委員、民生委員、近隣の人等がメンバーとなり、緊急時に対応できるたすけあいの組織づくりを進めたり、連絡会議などを開催します。

#### 9) ボランティア教室

町内会で在宅福祉サービスに参加するボランティアを養成するボランティア教室を開催したり、手話講習会等を開催して町内の聴覚障害者等との交流を図ったりします。

#### 10) 地域のひとり暮らしの高齢者マップ調査やニーズ調査

町内のひとり暮らしの高齢者、障がい者等の要援護者世帯を調査して、地域で見守る体制づくりの資料として活用したり、希望や困りごとを調査して地域で安心して生活できるように対策を検討していきます。

### 5. 活動費の助成

助成基準額は、別表のとおり町内（自治）会均等割り・世帯構成員割〔世帯数に応じて〕・福祉委員人数割〔福祉委員人数に応じて〕の3区分を合計した金額を交付させていただきます。（別表を参照願います）

なお、福祉委員の助成額については35世帯に1人を上限とさせていただきます。

（問い合わせ先）

千歳市社会福祉協議会 地域福祉課地域福祉係

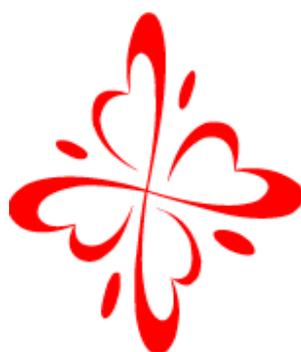
〔住所〕千歳市東雲町1丁目11番地

〔電話〕27-2525      〔FAX〕27-2528

別表（第4条関係）

助成整理区分	助成基準		助成額
①町内会均等割	小地域ネットワーク活動実施町内会		15,000 円
②世帯構成員割	世帯数		助成額
	1 ～ 100 世帯		15,000 円
	101 ～ 300		20,000
	301 ～ 500		25,000
	501 ～ 1,000		30,000
	1,000 ～		35,000
③福祉委員人数割	世帯数区分	福祉委員配置数上限	助成額上限
	1～100 世帯	3 人	3,000 円
	101～200	6	6,000
	201～300	9	9,000
	301～400	12	12,000
	401～500	15	15,000
	501～600	18	18,000
	601～700	21	21,000
	701～800	24	24,000
	801～900	27	27,000
901～	30	30,000	

- 備考 1 助成額が各整理区分に基づき①+②+③の各単価を合計した額を交付する。
- 2 福祉委員割の助成単価は、基本的に 1,000/1 人による。
- 3 福祉委員の上限は、35 世帯に 1 人を助成額算出基礎とする。なお、福祉委員人数割りにおいて実際の人数がこの上限の人数より下まわるときは、その実数をもって助成の対象とする。



## ふれあい・ささえあい・ネットワーク

発行 社会福祉法人 千歳市社会福祉協議会（担当：地域福祉課地域福祉係）  
〒066 - 0042 千歳市東雲町1丁目11番地  
TEL (0123) 27 - 2525 / FAX (0123) 27 - 2528

発行日 令和2年1月

印刷・製本 北海道千歳高等支援学校

この報告書は、赤い羽根共同募金の配分金により作成されました。

